

# 奈良市女性の仕事と生活に関するアンケート調査 集計表

奈良市・奈良女子大学

2024年3月

# 目次

1	はじめに	3
2	基本属性	4
2.1	配偶者	4
2.2	世帯人員	4
2.3	子ども	4
2.4	年齢、最後に卒業した学校	6
2.5	現在の居住年数、15歳時の居住地域	6
3	就業状態	7
3.1	就業の有無、就業場所	7
3.2	仕事の種類（職業）、就業形態（従業上の地位）	7
3.3	1週間の労働日数、1日あたりの労働時間	8
3.4	家を出る時刻、帰宅時刻	9
3.5	通勤手段、通勤時間	10
3.6	年収、就業調整	10
4	離職経験	12
4.1	離職経験について	12
4.2	直前に離職した仕事	12
4.3	離職理由	13
5	求職活動経験	14
5.1	求職活動経験の有無	14
5.2	求職活動時の末子の年齢	14
5.3	求職時に希望した仕事	15
5.4	求職活動を始めた理由	15
5.5	求職活動で利用したもの	16
5.6	求職活動で苦労したこと	16
5.7	求職期間（再就業者のみ）	17
5.8	今後3年間に希望するライフスタイル	18
6	家事・育児の分担	19
6.1	配偶者との分担	19
6.2	勤務前後、通勤途中に定期的に行う用事	19
6.3	配偶者との分担の満足度	20
6.4	子どもの送迎	20
6.5	子どもの習い事	21
6.6	家族のサポート	22
7	満足度	22
8	奈良市に期待すること	23

9	配偶者が行う家事・育児（自由記述）	23
10	理想の就労環境（自由記述）	24

## 1 はじめに

本冊は 2023（令和 5）年度奈良市・奈良女子大学共同研究「奈良市の育児期女性と地域労働市場」において実施した「子育て期女性の仕事と生活に関するアンケート調査」（育児期女性調査）の集計表である。

育児期女性調査は住民基本台帳 2023 年 8 月 1 日時点で、(1) 本人の生年月日が 1973 年 7 月 31 日～1998 年 8 月 1 日（25～49 歳）で、(2) 続柄が「妻」または「妻（未届）」または「世帯主」または「子の子」または「子の妻」であり、かつ (3) 生年月日が 2005 年 8 月 2 日以降（18 歳未満）である「子」または「子の子」と同居する女性 23703 件を母集団とし、ここから層化確率比例抽出法（1 歳階級年齢と 42 小学校区で層化）により 6000 件を抽出し、当該の女性宛てに調査票ウェブサイトの URL 及び QR コードを記載した調査依頼状を送付して実施した。調査期間は 2024 年 2 月 4 日～2 月 19 日であり、有効回収数 1550 件、有効回収率 25.8%を得た。

調査項目は回答者本人と配偶者の属性（年齢、最後に卒業した学校、15 歳時居住地（回答者のみ））及び就業状況（職業、従業上の地位、収入）、労働日数・時間（回答者）、通勤時間（回答者・配偶者）、通勤手段、家を出る時刻と帰宅時刻、職業キャリア（離職、求職、再就職の状況と意識）、家族の状況（子どもと習い事）、配偶者及び親からのサポート、居住環境、将来に関する意識等である。

## 2 基本属性

### 2.1 配偶者

あなたには、現在、配偶者がいますか。配偶者には、内縁の夫等のパートナーを含みます  
配偶者は、現在、あなたといっしょにお住まいですか

表1 配偶者の有無

	度数	%
配偶者がいる	1454	94%
同居	1325	86%
別居（単身赴任など）	110	7%
その他	3	0%
無回答	16	1%
いない（離婚・死別）	90	6%
いない（結婚したことがない）	3	0%
合計	1547	100%
無回答	3	
合計	1550	

### 2.2 世帯人員

現在、あなたといっしょに住んでいる方は、あなたを含めて全員で何人ですか。一時的に別居している方は除いてご記入ください

表2 世帯人員（本人を含む）

	度数	%
1人	56	4%
2人	484	32%
3人	682	45%
4人	221	15%
5人	58	4%
6人	14	1%
7人	1	0%
合計	1516	100%
無回答	34	
合計	1550	

### 2.3 子ども

お子さま一人ひとりについて、出生年の早い順に満年齢を教えてください

お子さま一人ひとりについて、出生年の早い順に現在の同居の有無を教えてください

お子さま一人ひとりについて、出生年の早い順に、現在の就学・就業状況を教えてください

あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか

今後、「子どもがほしい」というご希望はありますか。さらに何人子どもが欲しいですか

表3 現在の子どもの人数

	度数	%
1人	475	31%
2人	769	50%
3人	235	15%
4人	45	3%
5人	6	0%
合計	1530	100%
無回答	20	
合計	1550	

表4 理想の子どもの人数

	度数	%
0人	4	0%
1人	104	7%
2人	780	53%
3人	516	35%
4人	55	4%
5人	22	1%
6人以上	3	0%
合計	1484	100%
無回答	66	
合計	1550	

表5 今後の子ども希望

	度数	%
ない	1161	76%
ある	280	18%
1人	210	14%
2人	33	2%
3人	2	0%
4人	1	0%
無回答	34	2%
その他	91	6%
合計	1532	100%
無回答	18	
合計	1550	

表6 同居の有無

	1番上の子		2番目の子		3番目の子		4番目の子		5番目の子	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
同居	1447	96%	1013	98%	274	99%	49	100%	5	100%
別居	60	4%	19	2%	4	1%	0	0%	0	0%
合計	1507	100%	1032	100%	278	100%	49	100%	5	100%
無回答	23		23		8		2		1	
合計	1530		1055		286		51		6	

表7 就学・就業状況

	1番上の子		2番目の子		3番目の子		4番目の子		5番目の子	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
未就学・未就園	109	7%	110	11%	41	14%	9	18%	3	50%
保育所・幼稚園・こども園	295	20%	255	25%	67	24%	11	22%	1	17%
小学校（公立）	503	34%	380	37%	104	36%	15	30%	2	33%
小学校（私立）	24	2%	12	1%	0	0%	1	2%	0	0%
中学校（公立）	175	12%	123	12%	39	14%	10	20%	0	0%
中学校（私立）	32	2%	15	1%	4	1%	1	2%	0	0%
高校（公立）	97	7%	54	5%	12	4%	0	0%	0	0%
高校（私立）	80	5%	45	4%	8	3%	2	4%	0	0%
専修学校・各種学校	8	1%	7	1%	1	0%	0	0%	0	0%
短大	6	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%
高専	3	0%	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%
大学	86	6%	17	2%	1	0%	0	0%	0	0%
大学院	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
働いている	36	2%	12	1%	3	1%	0	0%	0	0%
無職	9	1%	3	0%	2	1%	0	0%	0	0%
その他	22	1%	4	0%	2	1%	1	2%	0	0%
合計	1486	100%	1039	100%	285	100%	50	100%	6	100%
無回答	44		16		1		1		0	
合計	1530		1055		286		51		6	

## 2.4 年齢、最後に卒業した学校

あなたの 2023 年 12 月 31 日時点の年齢をご記入ください

配偶者の 2023 年 12 月 31 日時点の年齢をご記入ください

あなたが最後に卒業した学校は次のどれにあたりますか

配偶者が最後に卒業した学校は次のどれにあたりますか

表8 年齢

年齢	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
30 歳未満	49	3%	32	2%
30～35 歳未満	190	12%	134	9%
35～40 歳未満	346	22%	271	19%
40～45 歳未満	453	29%	359	25%
45～50 歳未満	482	31%	417	29%
50～55 歳未満	30	2%	186	13%
55 歳以上	0	0%	37	3%
合計	1550	100%	1436	100%
無回答	0		18	
合計	1550		1454	

表9 最後に卒業した学校

最後に卒業した学校	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
中学校	9	1%	16	1%
高校	124	8%	180	13%
専修学校・各種学校	204	13%	157	11%
短大	293	19%	12	1%
高専	9	1%	17	1%
大学	822	53%	857	60%
大学院	76	5%	192	13%
その他	2	0%	2	0%
合計	1539	100%	1433	100%
無回答	11		21	
合計	1550		1454	

## 2.5 現在の居住年数、15 歳時の居住地域

あなたは現在のお住まいに通算で何年くらい住んでいますか

あなたが 15 歳の頃どちらにお住まいでしたか

表10 現在の居住年数

	度数	%
5 年未満	472	31%
5～10 年未満	471	31%
10～15 年未満	310	20%
15～20 年未満	164	11%
20 年以上	106	7%
合計	1523	100%
無回答	27	
合計	1550	

表11 15 歳時の居住地域

	度数	%
奈良市内	535	35%
奈良県内の他市町村	287	19%
大阪府	223	14%
京都府	88	6%
兵庫県	62	4%
和歌山県	28	2%
滋賀県	24	2%
三重県	22	1%
上記以外の地域	272	18%
合計	1541	100%
無回答	9	
合計	1550	

### 3 就業状態

#### 3.1 就業の有無、就業場所

あなたは、ふだん、収入をとまなう仕事についていますか

配偶者は、ふだん、収入をとまなう仕事についていますか

あなたが主にお仕事をなさっている場所はどこですか

配偶者が主にお仕事をなさっている場所はどこですか。※ 配偶者が休職中の方は休職前の状況についてお答えください（以下、同じ）

表12 就業の有無

就業の有無	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
ついている	1126	73%	1408	98%
休職中	109	7%	13	1%
ついていない	315	20%	15	1%
合計	1550	100%	1436	100%
無回答	0		18	
合計	1550		1454	

表13 就業場所

就業場所	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
自宅	79	6%	61	4%
奈良市内	683	56%	333	24%
奈良県内の他市町村	182	15%	262	19%
大阪府	193	16%	509	36%
京都府	76	6%	104	7%
兵庫県	5	0%	20	1%
和歌山県	0	0%	3	0%
滋賀県	1	0%	8	1%
三重県	0	0%	17	1%
上記以外の地域	9	1%	96	7%
合計	1228	100%	1413	100%
無回答	7		8	
合計	1235		1421	

#### 3.2 仕事の種類（職業）、就業形態（従業上の地位）

あなたの仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。。2つ以上仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください（以下、同じ）

配偶者の仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか

あなたの就業形態をお答えください

配偶者の就業形態をお答えください



表14 仕事の種類（職業）

仕事の種類（職業）	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
看護師・保育士・教員	238	19%	92	7%
専門的職業	150	12%	163	12%
技術者	37	3%	215	15%
管理的職業	28	2%	207	15%
事務職	354	29%	127	9%
営業職	39	3%	193	14%
販売職	98	8%	47	3%
介護職	52	4%	26	2%
サービス職	110	9%	54	4%
運輸・通信的職業	5	0%	40	3%
保安職	6	0%	63	4%
生産工程・技能工・労務作業	29	2%	81	6%
農林漁業作業者	0	0%	4	0%
その他	86	7%	83	6%
わからない	0	0%	17	1%
合計	1232	100%	1412	100%
無回答	3		9	
合計	1235		1421	

表15 就業形態（従業上の地位）

就業形態（従業上の地位）	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
会社経営者・役員	33	3%	110	8%
正社員	565	46%	1181	83%
パート・アルバイト	501	41%	7	0%
契約社員・派遣社員・嘱託	68	6%	15	1%
自営業・フリーランス	55	4%	85	6%
その他	12	1%	16	1%
わからない	0	0%	2	0%
合計	1234	100%	1416	100%
無回答	1		5	
合計	1235		1421	

### 3.3 1週間の労働日数、1日あたりの労働時間

現在、あなたの1週間の労働日数は何日くらいですか

現在、あなたは1日あたり平均して何時間働いていますか。残業時間・休憩時間も含めたおおよその時間でお答えください

表16 1週間の労働日数

	度数	%
1日未満	1	0%
1～2日未満	15	1%
2～3日未満	43	4%
3～4日未満	165	14%
4～5日未満	158	13%
5～6日未満	764	63%
6日以上	65	5%
合計	1211	100%
無回答	24	
合計	1235	

表17 1日あたりの労働時間

	度数	%
3時間未満	17	1%
3～5時間未満	127	10%
5～7時間未満	302	25%
7～9時間未満	510	42%
9～11時間未満	227	19%
11～13時間未満	31	3%
13時間以上	8	1%
合計	1222	100%
無回答	13	
合計	1235	

### 3.4 家を出る時刻、帰宅時刻

あなたが家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください

配偶者が家を出る時間と帰宅時間をお答えください

表18 家を出る時刻、帰宅時刻

時刻	家を出る時刻 (回答者)		帰宅時刻 (回答者)		家を出る時刻 (配偶者)		帰宅時刻 (配偶者)	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
5時以前	7	1%	20	2%	54	4%	24	2%
6時台	38	3%	6	1%	282	23%	5	0%
7時台	408	37%	5	0%	564	46%	18	2%
8時台	478	43%	2	0%	261	21%	27	2%
9時台	127	11%	1	0%	45	4%	26	2%
10時台	22	2%	0	0%	5	0%	11	1%
11時台	7	1%	1	0%	6	0%	7	1%
12時台	11	1%	12	1%	3	0%	3	0%
13時台	4	0%	47	4%	2	0%	2	0%
14時台	2	0%	45	4%	3	0%	2	0%
15時台	5	0%	93	8%	3	0%	7	1%
16時台	2	0%	102	9%	1	0%	4	0%
17時台	1	0%	215	20%	0	0%	39	3%
18時台	0	0%	353	32%	0	0%	185	15%
19時台	1	0%	140	13%	2	0%	253	21%
20時台	1	0%	37	3%	0	0%	239	20%
21時台	0	0%	13	1%	1	0%	167	14%
22時台	0	0%	7	1%	1	0%	122	10%
23時以降	0	0%	1	0%	0	0%	59	5%
合計	1114	100%	1100	100%	1233	100%	1200	100%
無回答	121		135		188		221	
合計	1235		1235		1421		1421	

### 3.5 通勤手段、通勤時間

あなたの主な通勤手段について、あてはまるものをすべて選択してください（多重回答）

配偶者の主な通勤手段について、あてはまるものをすべて選択してください（多重回答）

あなたの通勤時間は平均すると片道どのくらいですか

配偶者の通勤時間は平均すると片道どのくらいですか

表19 通勤手段（多重回答）

通勤手段	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
鉄道・バス	380	33%	654	48%
自家用車・バイク	570	49%	604	45%
自転車	249	22%	117	9%
徒歩	189	16%	188	14%
その他	5	0%	27	2%
回答者計	1152	100%	1350	100%
無回答	83		71	
合計	1235		1421	

表20 通勤時間（片道）

通勤時間	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
30分未満	673	59%	342	26%
30分～1時間未満	301	26%	405	30%
1時間～1時間30分未満	148	13%	409	31%
1時間30分～2時間未満	20	2%	126	9%
2時間以上	5	0%	30	2%
わからない	0	0%	22	2%
合計	1147	100%	1334	100%
無回答	88		87	
合計	1235		1421	

### 3.6 年収、就業調整

あなたと配偶者の昨年1年間（1月～12月）の収入は、次のうちどれに近いですか。税金・社会保険料などを差し引いた後の手取り金額でお答えください（配偶者がいない場合は配偶者の欄は空白のままお願いします）

あなたは配偶者控除や社会保険料の適用を理由として、就業調整を行っていますか

表21 年収

年齢	回答者		配偶者	
	度数	%	度数	%
0円（収入はない）	232	19%	9	1%
1円～50万円未満	124	10%	12	1%
50万円～100万円未満	191	16%	8	1%
100万円～150万円未満	157	13%	6	1%
150万円～200万円未満	63	5%	26	2%
200万円～300万円未満	144	12%	67	6%
300万円～400万円未満	129	11%	147	14%
400万円～500万円未満	77	6%	195	18%
500万円～600万円未満	53	4%	185	17%
600万円～700万円未満	13	1%	95	9%
700万円～800万円未満	13	1%	70	7%
800万円～900万円未満	9	1%	57	5%
900万円～1000万円未満	5	0%	47	4%
1000万円～1500万円未満	8	1%	60	6%
1500万円～2000万円未満	0	0%	10	1%
2000万円以上	0	0%	7	1%
わからない	0	0%	52	5%
答えたくない	8	1%	19	2%
合計	1226	100%	1072	100%
無回答	324		382	
合計	1550		1454	

表22 就業調整の有無

	度数	%
している（していた）	356	29%
していない	871	71%
合計	1227	100%
無回答	323	
合計	1550	

## 4 離職経験

### 4.1 離職経験について

あなたが最後に学校を卒業または中退してから現在までのお仕事の経験について、あてはまるものを選択してください

あなたが直近に離職したお仕事は、最後の学校を卒業または中退して最初に就職した仕事ですか

表23 離職経験の有無

	度数	%
離職経験あり	1197	77%
初職である	323	21%
初職ではない	874	57%
離職経験なし	339	22%
仕事についたことがない	10	1%
合計	1546	100%
無回答	4	
合計	1550	

### 4.2 直近に離職した仕事

あなたが直近に離職した仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。2つ以上仕事をお持ちだった場合は、主な仕事についてお答えください

その仕事の就業形態をお答えください

表24 離職した仕事の種類

	度数	%
看護師・保育士・教員	163	14%
専門的職業	149	13%
技術者	27	2%
管理的職業	3	0%
事務職	354	30%
営業職	59	5%
販売職	137	11%
介護職	45	4%
サービス職	154	13%
運輸・通信的職業	5	0%
保安職	2	0%
生産工程・技能工・労務作業	29	2%
農林漁業作業	2	0%
その他	63	5%
合計	1192	100%
無回答	5	
合計	1197	

表25 離職した仕事の就業形態

	度数	%
会社経営者・役員	7	1%
正社員	530	44%
パート・アルバイト	467	39%
契約社員・派遣社員・嘱託	163	14%
自営業・フリーランス	17	1%
その他	11	1%
合計	1195	100%
無回答	2	
合計	1197	

### 4.3 離職理由

離職をした理由として、あてはまるものをすべて選択してください（多重回答）

表26 離職理由（多重回答）

	度数	%
出産・育児のため	479	40%
結婚のため	262	22%
収入・労働条件が良くなかったため	234	20%
キャリアアップ（転職・起業など）するため	155	13%
自分の健康上の理由で	89	7%
配偶者の転勤のため	73	6%
子どもの習い事のため	47	4%
解雇もしくは退職勧奨のため	39	3%
家族の介護・看護のため	22	2%
その他	155	13%
回答者計	1193	100%
無回答	4	
合計	1197	

## 5 求職活動経験

### 5.1 求職活動経験の有無

あなたは直近の離職後、求職活動をしましたか

表27 求職活動の有無

	度数	%
求職活動を行って再就業した	644	54%
求職活動を行ったが再就業しなかった	88	7%
求職活動は行わなかった	461	39%
合計	1193	100%
無回答	4	
合計	1197	

### 5.2 求職活動時の末子の年齢

求職活動を始めた時、1番下のお子さん（末子）は何歳でしたか。お子さんがお一人の場合はそのお子さんの年齢をお答えください

表28 求職活動時の末子の年齢

末子の年齢	再就業した		再就業しなかった	
	度数	%	度数	%
3歳未満	154	30%	27	36%
3～6歳未満	127	25%	14	19%
6～9歳未満	133	26%	18	24%
9～12歳未満	56	11%	11	15%
12歳以上	48	9%	4	5%
合計	518	100%	74	100%
無回答	126		14	
合計	644		88	

### 5.3 求職時に希望した仕事

あなたが求職活動中にもっとも希望していた仕事の種類を1つ選択してください

あなたが求職活動中にもっとも希望していた就業形態を1つ選択してください

表29 希望した仕事の種類

就業形態	再就業した		再就業しなかった	
	度数	%	度数	%
看護師・保育士・教員	123	19%	9	10%
専門的職業	96	15%	6	7%
技術者	12	2%	3	3%
管理的職業	2	0%	0	0%
事務職	205	32%	42	49%
営業職	5	1%	0	0%
販売職	46	7%	9	10%
介護職	30	5%	1	1%
サービス職	49	8%	9	10%
運輸・通信的職業	2	0%	1	1%
保安職	0	0%	0	0%
生産工程・技能工・労務作業	18	3%	4	5%
農林漁業作業	3	0%	0	0%
その他	40	6%	2	2%
合計	631	100%	86	100%
無回答	13		2	
合計	644		88	

表30 希望の就業形態

就業形態	再就業した		再就業しなかった	
	度数	%	度数	%
会社経営者・役員	2	0%	0	0%
正社員	254	40%	18	21%
パート・アルバイト	344	54%	63	72%
契約社員・派遣社員・嘱託	20	3%	3	3%
自営業・フリーランス	7	1%	3	3%
その他	7	1%	0	0%
合計	634	100%	87	100%
無回答	10		1	
合計	644		88	

### 5.4 求職活動を始めた理由

あなたが求職活動を始めた理由について、あてはまるものを2つまで選択してください（多重回答、2つまで）



表31 求職活動を始めた理由（多重回答、2つまで）

就業形態	再就業した		再就業しなかった	
	度数	%	度数	%
生計を維持するため	231	36%	17	19%
家計の足しにするため	221	35%	35	40%
子どもの教育費のため	174	27%	23	26%
自分の能力や資格を生かすため	149	23%	16	18%
将来に備えて貯蓄するため	116	18%	17	19%
自分で自由に使えるお金を得るため	107	17%	18	20%
家庭以外の社会との関わりを持つため	102	16%	24	27%
視野を広めたり、友人を得るため	20	3%	4	5%
その他	20	3%	2	2%
回答者計	635	100%	88	100%
無回答	9		0	
合計	644		88	

## 5.5 求職活動で利用したもの

あなたが求職活動中に利用したものをすべて選択してください（多重回答）

表32 求職活動で利用したもの（多重回答）

利用したもの	再就業した		再就業しなかった	
	度数	%	度数	%
インターネットの求人情報	406	64%	68	77%
ハローワーク	283	45%	54	61%
転職エージェント	104	16%	13	15%
知人からの紹介	93	15%	12	14%
新聞の折込チラシ	83	13%	19	22%
求人情報誌	82	13%	18	20%
とくに利用したものはない	28	4%	0	0%
店頭の人広告	20	3%	4	5%
市や県の就職支援イベント	20	3%	0	0%
その他	21	3%	3	3%
回答者計	635	100%	88	100%
無回答	9		0	
合計	644		88	

## 5.6 求職活動で苦労したこと

あなたが求職活動で苦労したことについて、あてはまるものをすべて選択してください（多重回答）

あなたが求職活動で希望する条件に合わなかったことについて、あてはまるものを3つまで選択してください（多重回答、3つまで）

表33 求職活動で苦労したこと（多重回答）

苦労したこと	再就業した		再就業しなかった	
	度数	%	度数	%
希望する条件に合う仕事が見つからない	275	44%	59	68%
とくに苦労しなかった	267	43%	6	7%
求職中に子どもの面倒を見てくれる人がいない	75	12%	29	33%
希望する仕事に必要な資格や技能がない	60	10%	15	17%
子どもが小さいために断られてしまう	54	9%	21	24%
自分の経験や能力を活かせる仕事が見つからない	44	7%	7	8%
家族の理解が得られない	13	2%	7	8%
その他	28	4%	10	11%
回答者計	626	100%	87	100%
無回答	18		1	
合計	644		88	

表34 希望する条件に合わなかったこと（多重回答、3つまで）

条件に合わなかったこと	再就業した		再就業しなかった	
	度数	%	度数	%
勤務時間が長かった	155	56%	39	67%
土日祝の出勤が必要だった	137	50%	35	60%
勤務地が遠かった	103	37%	21	36%
給与が少なかった	87	32%	11	19%
希望していた就業形態ではなかった	57	21%	12	21%
仕事の内容にやりがいを感じられなかった	24	9%	4	7%
リモートワークができなかった	11	4%	4	7%
その他	24	9%	4	7%
回答者計	275	100%	58	100%
無回答	0		1	
合計	275		59	

## 5.7 求職期間（再就業者のみ）

再就職にあたって、求職期間（お仕事を探し始めてから、再就職するまでの期間）はどのぐらいでしたか

表35 求職期間

	度数	%
2週間未満	136	22%
2週間以上1ヶ月未満	121	19%
1ヶ月以上3ヶ月未満	184	29%
3ヶ月以上半年未満	96	15%
半年以上1年未満	57	9%
1年以上2年未満	23	4%
2年以上	8	1%
合計	625	100%
無回答	19	
合計	644	

## 5.8 今後3年間に希望するライフスタイル

今後3年くらいの間、あなたはどのようなライフスタイルを選択しますか

表36 希望するライフスタイル

	度数	%
求職活動をして、正社員として働きたい	56	10%
求職活動をして、正社員以外の形で働きたい	173	31%
独立して事業を始めたい	42	8%
子育てや家事に専念したい	94	17%
その他	80	14%
わからない	109	20%
合計	554	100%
無回答	10	
合計	564	

## 6 家事・育児の分担

### 6.1 配偶者との分担

あなたと配偶者は、日ごろ、家事や子どもの世話をどれくらい分担しあっていますか。全体を100%とした場合、あなたと配偶者の方の分担の割合をパーセントでお答えください

表37 配偶者との分担の割合（平日）

割合	家事 (回答者)		家事 (配偶者)		育児 (回答者)		育児 (配偶者)	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
2割未満	91	7%	840	64%	87	7%	857	65%
2～4割未満	19	1%	244	19%	10	1%	268	20%
4～6割未満	125	9%	186	14%	118	9%	162	12%
6～8割未満	197	15%	34	3%	165	12%	20	2%
8～10割未満	533	40%	9	1%	554	42%	6	0%
10割	369	28%	4	0%	398	30%	0	0%
合計	1334	100%	1317	100%	1332	100%	1313	100%
無回答	120		137		122		141	
合計	1454		1454		1454		1454	

表38 配偶者との分担の割合（休日）

割合	家事 (回答者)		家事 (配偶者)		育児 (回答者)		育児 (配偶者)	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
2割未満	90	7%	570	43%	99	7%	400	30%
2～4割未満	44	3%	348	26%	66	5%	286	22%
4～6割未満	228	17%	327	25%	412	31%	512	39%
6～8割未満	292	22%	57	4%	285	21%	95	7%
8～10割未満	467	35%	19	1%	326	24%	27	2%
10割	212	16%	3	0%	143	11%	2	0%
合計	1333	100%	1324	100%	1331	100%	1322	100%
無回答	121		130		123		132	
合計	1454		1454		1454		1454	

### 6.2 勤務前後、通勤途中に定期的に行う用事

通勤（帰宅時も含む）途中もしくは勤務時間前に定期的に行うことについて、あてはまるものをすべて選択してください（多重回答）

配偶者が通勤（帰宅時も含む）途中もしくは勤務時間前後に定期的に行うことについて、あてはまるものをすべて選択してください（多重回答）

表39 勤務前後、通勤途中に定期的に行う用事（多重回答）

行う用事	回答者 (自宅勤務)		回答者 (自宅外勤務)		配偶者 (自宅勤務)		配偶者 (自宅外勤務)	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
特になし	14	18%	317	28%	21	35%	1010	75%
子供を（保育園等）に連れていく	36	46%	359	31%	12	20%	123	9%
子供を（保育園等）に迎えに行く	39	49%	413	36%	14	23%	72	5%
（家庭用の）買い物	40	51%	575	50%	8	13%	161	12%
その他	17	22%	19	2%	27	45%	20	1%
わからない	0	0%	0	0%	2	3%	52	4%
回答者計	79	100%	1143	100%	60	100%	1342	100%
無回答	0		13		1		18	
合計	79		1156		61		1360	

### 6.3 配偶者との分担の満足度

あなたは配偶者とじゅうぶん会話をしていますか

あなたは配偶者との家事・育児の分担について満足していますか

表40 配偶者と会話をしているか

	度数	%
している	506	35%
どちらかといえばしている	577	40%
どちらかといえばしていない	231	16%
していない	134	9%
合計	1448	100%
無回答	6	
合計	1454	

表41 分担の満足度

	度数	%
満足	301	21%
どちらかといえば満足	525	36%
どちらかといえば満足していない	348	24%
満足していない	269	19%
合計	1443	100%
無回答	11	
合計	1454	

### 6.4 子どもの送迎

お子さんの習い事の送迎は主にだれが行っていますか（行っていましたか）

表42 子どもの送迎担当

子どもの送迎担当	有配偶者		無配偶者	
	度数	%	度数	%
自分	1034	80%	2	100%
配偶者	145	11%	0	0%
自分の父母	33	3%	0	0%
配偶者の父母	4	0%	0	0%
お子さんだけで通っている	48	4%	0	0%
その他	32	2%	0	0%
合計	1296	100%	2	100%
無回答	19		0	
合計	1315		2	

## 6.5 子どもの習い事

お子さんは今までに学校以外の塾や習い事、スポーツクラブ、通信教育・教材などを利用したことがありますか

お子さんの1ヶ月にかかる（かかっていた）習い事の費用の合計を教えてください

今までにお子さんがしたことがあるものをすべて選択してください（多重回答）

表43 習い事を利用したことがあるか

	度数	%
ある	1317	86%
ない	220	14%
合計	1537	100%
無回答	13	
合計	1550	

表44 1ヶ月にかかる費用

	度数	%
10,000 円未満	202	16%
10,000 円～20,000 円未満	275	22%
20,000 円～30,000 円未満	213	17%
30,000 円～40,000 円未満	193	15%
40,000 円～50,000 円未満	133	10%
50,000 円～60,000 円未満	128	10%
60,000 円～70,000 円未満	40	3%
70,000 円以上	93	7%
合計	1277	100%
無回答	40	
合計	1317	

表45 子どもが経験した習い事（多重回答）

	度数	%
スイミングスクール	933	71%
学習塾	668	51%
定期的に教材が届く通信教育	633	48%
体操教室・バレエ・ダンス	590	45%
音楽教室	559	42%
地域のスポーツチーム	426	32%
英会話教室	367	28%
習字	273	21%
そろばん	161	12%
幼児教室	140	11%
絵画教室や造形教室	124	9%
プログラミングスクール	122	9%
家庭教師	44	3%
その他	108	8%
回答者計	1316	100%
無回答	1	
合計	1317	

## 6.6 家族のサポート

あなた及び配偶者の家族のうち、次の助けを期待できる方はいますか。あてはまる選択肢をすべて選択してください（多重回答）

表46 家族の手助け（有配偶者）

助けが期待できる家族	悩みの相談		子どもの世話		家事の補助		経済援助	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
回答者の父	29	2%	61	4%	19	1%	202	14%
回答者の母	876	61%	641	45%	424	30%	203	14%
配偶者の父	4	0%	15	1%	1	0%	125	9%
配偶者の母	108	8%	181	13%	95	7%	116	8%
いない	417	29%	537	37%	892	62%	789	55%
合計	1434	100%	1435	100%	1431	100%	1435	100%
無回答	20		19		23		19	
合計	1454		1454		1454		1454	

あなたの家族のうち、次の助けを期待できる方はいますか。あてはまる選択肢をすべて選択してください（多重回答）

表47 家族の手助け（無配偶者）

助けが期待できる家族	悩みの相談		子どもの世話		家事の補助		経済援助	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
回答者の父	3	3%	4	4%	1	1%	13	14%
回答者の母	58	64%	60	66%	46	51%	17	19%
いない	30	33%	27	30%	43	48%	61	67%
合計	91	100%	91	100%	90	100%	91	100%
無回答	2		2		3		2	
合計	93		93		93		93	

## 7 満足度

あなた自身の所得・収入の満足度について、当てはまるものを選択してください

あなたの生活全体の満足度について、当てはまるものを選択してください

表48 満足度

満足度	自身の収入について		生活全体について	
	度数	%	度数	%
満足	187	12%	311	20%
どちらかといえば満足	559	37%	848	55%
どちらかといえば不満	505	33%	288	19%
不満	277	18%	94	6%
合計	1528	100%	1541	100%
無回答	22		9	
合計	1550		1550	

## 8 奈良市に期待すること

あなたは、奈良市にどのような取組を期待しますか。あてはまるものをすべて選択してください

表49 奈良市に期待すること（多重回答）

	度数	%
求人情報の提供	582	44%
働く市内女性のためのコミュニティづくり	308	23%
キャリアカウンセリング	278	21%
DX スキルなどのリスキリング講座	225	17%
コワーキングスペース等のリモートワーク可能な場所の提供	213	16%
起業したい方へのセミナー	154	12%
就職活動準備のためのセミナー	152	12%
起業のための個別相談	133	10%
合同企業説明会（オンライン）	96	7%
合同企業説明会（リアル会場）	85	6%
その他	244	19%
回答者計	1318	100%
無回答	232	
合計	1550	

## 9 配偶者が行う家事・育児（自由記述）

【配偶者は普段どのような家事を行っていますか】（回答者数 1363）

（掃除関連）

- ・掃除 (226)
- ・掃除機をかける (41)
- ・トイレ掃除 (41)
- ・お風呂掃除 (279)
- ・ゴミ捨て・集め (437)
- ・その他（庭掃除、布団、水回り等） (43)

（炊事関連）

- ・料理・食事の準備 (354)
- ・食事後片付け (58)
- ・食器洗い (436)

（洗濯関連）

- ・洗濯 (353)
- ・洗濯物干す (123)
- ・洗濯物畳む (72)
- ・洗濯物取り入れ (38)
- ・その他（アイロン等） (10)

（他）

- ・買い物 (121)
- ・その他（車、ペット、家計、修繕） (45)



【配偶者は普段どのような育児を行っていますか】(回答者数 1324)

(身の回りの世話)

- ・お風呂入れる (351)
- ・食事(料理・準備・補助・ミルク) (135)
- ・オムツ・トイレ補助 (101)
- ・歯磨き・仕上げ (85)
- ・朝起こす (14)
- ・着替え (63)
- ・寝かしつけ (115)
- ・子守り、あやす (29)
- ・世話・身支度 (27)

(送迎)

- ・保育園・学校の送迎 (62)
- ・習い事の送迎 (178)
- ・その他の送迎 (106)

(コミュニケーション)

- ・子どもの話を聞く (94)
- ・遊ぶ (365)
- ・外遊び (173)
- ・室内遊び (65)

(教育)

- ・勉強を教える・宿題の確認 (134)
- ・絵本読み聞かせ (19)
- ・行事参加 (12)
- ・しつけ (7)

(他)

- ・全般 (54)

## 10 理想の就労環境 (自由記述)

あなたが働く上で、どのような環境が理想で、また、どのような生活サイクルであれば就労可能だと思いますか。あなた自身や女性一般の仕事等について、ご意見をお聞かせください(回答数 1239)

・理想な環境は、安心して子供を預けられるサービスの充実。また日本社会の意識改革。生活サイクルは、4時半ごろまでには仕事を終える。小さな子にとって、母と離れる時間が長過ぎるのは社会問題。母子共に気持ちに余裕のある暮らし方をすることにより、より円滑に社会が成り立っていくと思う。保育園時代に経験した気持ちは大人になっても変わらない。みんなが満足した気持ちで育つ子になってほしい。大人の仕事中心にばかり考える事はよくないと思う。子どもの為にどんな働き方ができるのか?みなさんに考えていただきたい。

・子供の習い事もありますしその送り迎えなど考えると仕事も週3が限界でどうしようもないと思います。大きくなって安心して子供だけで通えるほどの年齢になってくれたら仕事も入りやすくなるんだろうなと思っています。

・預け先がなく、子どもが急病した時に仕事を休まないといけないので、そういう点で融通がきく職場。

・(組織で働く場合(初職での経験から))育児休業や時短勤務に対する理解の促進、プライベートに踏み込まれず仕事を休める環境(休みの理由や子供の病気を説明することへの苦痛、休んでも迷惑にならない余裕のある人員配置)、週5日8時間勤務にとらわれない正社員の体制、休暇制度を使っても自分が苦しくならない

(勤務時間に伴い仕事量が減る)体制、責任を個人に追わせない組織づくり。(独立起業する場合)収入が安定しない時期に無条件で保育園・学童に通わせられる。(共通)職場が近いまたは在宅ワークが可能、学校や保育園での親の負担の軽減(毎日の水筒持参、絵具セットを家で洗う、など)、子供が感染症にかかりにくい体制づくり、親自身が本格的に体調不良になる前に(つまり診断書がなくても)長期休暇が取れたり、保育園に通わせたりできる権利。発達障がい児の診断を受ける前でも、子育てに困難を感じる場合に保育園に通わせるなどして親が休息することができる権利。

・社員だと残業や希望休の日数が限られているため休みがとれなくなる。8:30-17:30で週5の8時間勤務出来るが職場は早遅勤務があり、変則勤務や残業が出来ないためパート勤務でボーナスが無い短時間で正社員扱いの職場が増えて欲しい。職場が近い。急な休みに対応可能な職場

・アルバイトの最低賃金UP・高校も給食がある、もしくは食堂完備・病児保育や病後児保育施設の充実

・完全週休二日制かそれに近い代休・休暇がもらえる。(有給が付与されるという意味ではなく、実際に休みがとれるという意味で)・夫婦どちらかは毎日定時帰宅が可能。・少なくともこどもが保育園～小学生の間は6時間/日くらいの勤務でも正社員同等の社会保障や勤務時間相当の給与・賞与等がもらえる(現実的には休日の出勤や1日の勤務時間制限するとパートタイムでの就労になり、同じ仕事内容でも社会保障や賞与がもらえない)女性管理職の割合が定められた職場で望まず管理職になった上司を過去の職場で見してきたが、祖父母など家庭で夫婦以外に子どもの養育を分担できる人が乏しいケースで、子どもが若年で妊娠したり非行にはしるケースが少なからず複数いた。子育てと仕事がテーマの話だと子育てしながらのキャリア形成や保育園の充実とかが大切と言われがちだけど、やはり家庭での家族との関わりや見守られている感覚が乏しい子どもは、家庭以外に依存できる場所を探してしまったり、自分が大人になって家庭を持った時その感覚や経験を元に子育てをしてしまうと思うので、夫婦どちらかは少なくとも家庭を犠牲にしなくてもいいライフワークバランスで働けるのが望ましいと思う。(配偶者が仕事をセーブできたり、祖父母が手厚く支援できる状況でバリバリ働きたい人はもちろん自身の自己実現のために働いてもらったらとは思う)

・希望の保育園に預けたいが定員割れで厳しい・企業内託児所・職場が近く保育園送り迎えに時間を要しない・フレックス制度、短時間勤務

・子どもの行事や病気の時に気持ち良く休みをくれる環境が理想。ただ当たり前休めるんじゃないという気持ちはもっとくべき。実際にはどこかにしわ寄せがきてるわけで、その時頑張ってくれた誰かがいることは忘れてはならない。休みをもらった分、勤務の日には頑張るという精神、持ちつ持たれつの精神で仕事ができる環境が良いと思う。・勤務場所は通勤時間が30分以内が理想。特に子育て中は何が起こるか分からないし、帰宅後には家事全般やることが多いので、できるだけ通勤に時間を掛けたくない。また実家が近いのも理想。

・昇進がしやすく、能力に見合った給与がもらえる。・職場が近い。・職場環境が良い(スタッフ同士仲が良い、パワハラがない、立場に関係なく対等に意見が言える等)。

・職場と学童や保育園が自宅から近い・自宅での在宅ワーク・産休や、子の病気など急な早退や休みの際に、抜けても影響がない組織運営がなされていると働きやすいと思う。産休や育児中の社員のサポートする周囲の方が評価される仕組みがあることにより、理解が得られるのではないか。・配偶者(男性)の長時間残業が当たり前前の状況のため、女性の就労が制限されているように思う。男女問わず、全世代で定時帰宅が当たり前になるとよい。・家事サービスを手軽に利用出来ると就労しやすいように思う。・学童や保育園で惣菜の販売があるとよい。ハウス食品のタスミィのような。・ライフステージに応じて、正社員を辞めても希望すればすぐ同程度の条件の正社員に再就職が容易な労働環境になることが理想。

・土日祝日休み(プラス平日にも1日休みがあれば尚可)・残業ありきの社会ではなく、ほぼ定時退社できる(夫婦ともに)→夫も育児参加する時間が増える・子どもが何歳でも時短正社員を希望すれば出来る・自宅近くに職場がある・能力に見合った給料(年功序列ではなく、仕事が出来なければ給料が上がらないだけでなく給料は下がり、仕事ができる人にはそれに見合うように給料を上げて欲しい)・単身赴任をしたとしても2~3年で一旦自宅から通えるエリアに帰って来られる(連続して何年も単身赴任が続かない)・小学校のバンビホームは夏休みなどの長期休暇中のみでも利用できる・バンビホームで夏休みなどの弁当の注文が出来るの

は助かった・保育園で希望すれば夕食も提供してくれる（これをしてくれたら子どもが小さい頃だしぶ楽になったと思う）・ファミサポの送迎で大人のいるところから大人のいるところというルールはなくし、小学生の子どもが留守番している家から習い事先までやバス停までなどの送迎も依頼できるようになる（親が働いて不在だから送迎を頼みたいのに利用できない）・子ども専用の送迎タクシーやバスなどがある・育児・家事の外部委託への補助金がある・有給は1時間単位で取得可・就職当日より有給休暇取得可・男性でも料理・掃除・洗濯ひと通りできる・男性は育児を手伝うのではなく一緒に当たり前に出来る・補助金の所得制限をなくして欲しい（子どもたちを差別しないで平等に支援して欲しい）

・能力や仕事内容に見合った給料がもらえる。保育士は責任の重さの割に給料が低い。それよりも問題なのは担任の負担が多すぎて、急に休んだり定時に上がれないこと。保育士の配置基準を見直し複数担任にすることで1人に対する負担も減り休みも取りやすい。尚且つ給料や有給日数、補償も安定するなら子育て世代の働き手も増えるはず・定時に帰宅が可能。有給が取りやすい遅くまで預かってくれる保育園＝それだけ遅くまで働く保育士がいるということになるので、遅くまで預けると言うよりかは、定時に上がれて子どもの急な体調不良にも対応できる職場の理解が必要・急な体調不良にも対応できるサポートが欲しい子どもが体調不良の場合、夫婦どちらかが有給を取れるのが1番だが、どちらも外せない仕事が入っていた場合、当日に病児保育に預けるのは不可能な為、急な対応も可能な預け先があれば安心して働くことができる

・病児保育をもっと気軽に利用できる環境がほしい。（事前申し込みや受信履歴が必要などの条件が多く、定員も限られているため結局利用できない。）・職場には、もっと産休育休を歓迎する雰囲気があればいいと思う。また、急な休みや遅刻早退に理解があればありがたい。・土日に一時保育してもらえる場所があれば（少し休憩時間が欲しいなどの仕事以外の理由で、）もう少し心に余裕をもって子供たちと向き合えそう。両方の両親が遠方にいる為、土日も休む時間はほぼなく、疲れてます。。・生活サイクルの理想は、19時には夫婦ともに帰宅して家庭の時間を円滑に進めたい。

・夫と家事を分担する・有給が取りやすい・定時に帰宅できる・ワークライフバランスがとれている・子育て世代が、時短制度を利用しても、申し訳ないと思わなくていい・時短をとった職員がいても、他の職員に、時短のための負担が強いられない職場・いろいろな制度を利用でき、人が潤っている

・復職を希望するタイミングで保育園に入園できること。会社では育休期間を延長できるような制度を拡充しているのに、育休延長すると上の子が退園させられたり復職の際に希望の保育園に空きがなかったりで結局0歳児の間に入園させて復職するしかなかった。保育課ではとにかく書けるだけ希望を書くよう促されたが、車で通勤しない者にとって通える範囲は限られているし、上の子と別々の園に送迎し市外で正社員として就労継続することなど不可能。入園できれば何でもいい訳ではない。・子の看護休暇、時間休など休暇制度が充実しており周囲の理解や協力が得られる職場であること。・就業促進を目指すなら家事代行のサービスを安く利用できるような制度を整えてほしい。元々家事・育児の負担が少なかった配偶者に新たな負担を求め家庭内で解決しようとするのは限界がある。

・有給が取りやすい職場であってほしい。・専門職や変則勤務の人達の為に、託児所の充実、時間などの優遇がされてほしい。

・1、残業よりも帰ってからの家事育児の方がキツイという事を、家事をしない残業組に分かってもらいたい  
2、ひとりになれる時間がほしい  
3、睡眠時間が足りない。取れない。お昼寝時間がほしい。

・16:00には帰れて、生活できるだけの収入がある。

・16歳の我が子に障害があり現在特別支援学校の高等部に通っていますが、家で留守番が無理なので、長期休暇時や普段も時間的な制限が多く、家族など周りのサポートも受け難い状況の為、私の就業が厳しい状況です。一般の子育て中の就労以上に、障害のある子どもを持つ母親にとっての就労については多くの課題や問題を抱えているので、その現実を目を向けていただき、支援を今後ぜひご検討いただきたいです。

・1歳の子供でも預けやすいように保育士の人数が増えて預ける枠が広がって欲しいです。企業内託児所に預けて働いてはいるのですが月に2万ほどもっていかれてなんのために働いているのかわからなくなってきます。

・1人に仕事が片寄らない環境。週休2日制就業後に研修が、入らない環境有給が使いやすく、休む日に変わりに仕事をちゃんとこなしてくれる人がいる環境

・1日2〜3時間の勤務で、子供が夏休みや冬休みのときに休みやすい環境。

・1日あたりの働く時間が短く、休日が多い。

・1日の勤務時間が短い。能力・生産性に見合った給料柄もらえる。

・1番は自宅で自分自身企業などをできるのが理想ですが、子どもがいて外に出て働くのであれば時短で午前からお昼過ぎ（14時前後）などで上がる職場を増やして欲しいのと子どもの体調がすぐれない時に休みやすいか又は職場に連れていける、早退をしてもぐちぐち言われない職場又は内職など自宅でできる仕事を増やしてほしく内職の給与をもう少し上げてほしいです。

・20時まで預かってもらえる市立保育園があること。土日祝も仕事があるので、土日祝も対応可能な保育園があると復職のハードルがさがる。子供が小さいと新たに求職活動をして正社員では急に休むなどの理由で雇ってもらえず、キャリアが途絶える。今年からバンバーホームに入所するが、そこも19時で終了するので正直厳しい。男性と肩を並べて同じ仕事量をこなしたいのに18時退勤ではいつまでたっても正社員になることはできない。子供が小さいうちは母親の仕事はセーブしろということでしょうか。

・5年任期の縛りがなく、残業せずに働ける場所。休みが取りやすい。

・いわゆる小1の壁を乗り越えるのが最難関に感じるため、子が小学生になってからも、時短やフレックスを利用できればかなり就労を続けやすいのではないかと。そのうえで、夫婦どちらかは少なくとも定時で帰宅可能なら育児と両立できると思う。また、それが難しい場合や夏休み等のために、気軽に利用できる学童などのサービスも非常に大切だと感じる。

・お休みが、取れる（代わりの方がいる）事が、一番大事です。子供が、小学生のうちは急にインフルエンザやコロナで学級閉鎖があってお昼ご飯の用意やお留守番の心配があるので。

・きちんと評価され、昇進もしやすい環境。また制度として時短はもちろん、土日祝休みをもらえ、子の看護休暇や早退が認められること。夫婦ともに土日祝休みと定時帰宅でき、家から近いと理想。

・こどもが自分のことは自分でできるようになり、1人にさせても大丈夫になれば仕事も考えたい。特に私が働かなくても生活していけるからそのように考えられるのだと思う。

・こどもが小学生のうちは正社員であっても4時上りの時短勤務ができること。小学生の習い事は親が連れていかないと危ない時代だと思う。

・こどもが病気になる時に気軽に休める、在宅ワークができる環境。すみませんと言わなくてよく、嫌な顔されない環境。子の都合で休むのは母親、ではないのが当たり前の風土。男女や学歴の関係ない給与体系。小学校行事に参加しやすい働き方

・こどもに優しい。理解がある。介護休暇、育児休暇に理解がある。最近ではコロナが流行し、こどもの学校などの急な休みがあった。私は母親にこどもをみてもらえるが、そうでない方は、大変そうだったし、急な休みで、会社も人手不足で大変そうだった。

・こどもの休みに理解がある職場が理想。こどもが複数人いれば家族の体調不良で休むことも増え、有給が足りない。晩婚化が進み、キャリアアップの時期に子育てをしなければいけない事が多くなっていると考え。仕事も子育てもストレスのかからないような社会になれば良いとおもう。

・こどもの行事や急な体調不良でも気兼ねなく休むことができる環境。気軽に利用できる一時預かり。大阪市のような小学生の学童があれば良いと思う。

・こどもの体調不良や帰宅時間、土日祝長期休み等こどもの休みや都合に合わせてられる職場環境が理想なので正社員ではなくパート希望。職場が近い。

・こどもの熱などで帰らせてくれる、こどもの急な休みに嫌な顔をしないこと残業がなくても収入が十分にあること

・こども園からの呼び出しにすぐ対応できる急な休みもとれる15時までに終わる在宅ワーク

・こども園への送迎ができる時間帯での勤務。在宅での仕事。

・このアンケートで子どもが病気になった等の時に世話をする（急遽欠勤するのは夫妻どちらか？）の質問がない。質問を設定してない時点で、調査するまでもなく、奈良市の考えは、子の看病や世話をするのは母である女性がして当然となっていないでしょうか。理想を聞くとあるが（でもでもや理想を並べて活動も多少あるでしょう）その意見を集計したところで、もし宝くじが当選したら何をかう？並に使えない資料になるし、文章を読んで集約するよりも、実際に出ている応募条件を調べて、アンケートをとった方が、働く側が何を重要視して就職活動をしているのかが分かり易いのでは、ないでしょうか。私は、お子様の急な発熱対応可、短時間、土日休み、時給単価が高いところで探しています。

・この先介護も必要になってくるかもしれないので、在宅、隙間時間に出来る仕事など...

・コミュニケーションがとりやすい職場、協力し合える家族、分かち合える友達。一人の時間が確保できる環境。融通が効くことは大事。

・コロナ禍では生活基盤を維持するのが大変でしたが、ようやく安定した生活を送れている環境で良いと感じています。

・サービス業なので日曜祝日年末年始に休まなければいけないのが働き辛い。保育園のお迎え時間があるので残業しづらい。それがなんとかかなれば働きやすいし、仕事の選択肢が広がると思う。

・しばらくは子どもの通学時間に合わせて働きたい。平日週2日～3日程度で子どもの下校時間までに帰宅できるなら働きたい人は多いと思う。同じ条件を望む人とペアになり、お互いの予定に合わせてシフトを組めるようになるとよい。給与は安くても、もう少し働きたい人の希望に沿うような、自由で柔軟な雇用形態が増えると働きやすいと思う。

・シフトが自由で子どもの体調不良など急な休みも大丈夫な職場。

・シングルなので雇用保険や退職金のある職場で働きつづけたいが昇進はせず残業がなく子育てに向き合えたらいいとおもう。慣れた職場で慣れた仕事をしたい。子供が大きくなるにつれ、自身の親も老いてくるためサポートが望めなくなるので、親の送迎の負担が大きすぎる。電車もないし、バスも値段が高いし本数も少なく本当に不便。正社員で昇給し責任のある仕事（残業等）は無理だし、そういう働き方は望まない。パートで雇用保険があるところをどうやってみつけたらいいかわからない。9時から16時か17時までで働けたらと考えているが、介護士だとまず無理なきがするし、家計をささえる収入がえられるかは不安。土日祝休みでゆったり仕事がしたい。

・そもそも、子供が小学生くらいまでは働かずに家にいるのが理想。夫の給料から引かれる税金が大きすぎるので手取りが少なく出ざるを得ない家庭で子供を育てるのは立派な仕事だと思う。母子を離して外で働かそうとする風潮は嫌い。扶養の子が22歳までは累進課税をやめて一律5%くらいにして欲しい。障害のある子がいるが、所得制限でほぼ何の手当も無い。学校の後療育、通院に連れて行くのは時間、気力、体力必要。仕事して体力減らしたくないが、税金高い、手当も無いので手取りが少ないので働きに出ないといけない。夫は、時間も体力も気力も全て仕事に集中しているためこの収入を得ている。なので、家事育児は私に丸投げされている。そんな中働きに出ないといけないのは不幸である、という事を前提にして、どんな職場なら働きやすいかという、休みやすい。体力を使わなくていい。短時間。週3。時給は高い。家の近所。何かあったらすぐ学校に行ける距離。扶養の壁は市民税、所得税、社保も200万まであげてほしい。学生の壁も200万まで上げて欲しい。保育園、幼稚園の先生の質を上げる。人数を倍に増やす。大人数を1人でみるような園を無くす。子供が病気や怪我した時、先に診て欲しい。疲れて次の日からの仕事に差しつかえる。どこの病院も老人が多すぎて待ち時間が長い。日本の全人口のうち子供が産める年齢の女性の割合は少ない。その方々に産みたいと思ってもらえるのだろうか。少なくともうちの娘は結婚も出産も育児もしたくない。仕事はしたいと言っている。仕事だけで精一杯だと。家庭と仕事の両立なんて無理だと。どうやったら働きやすいか、生涯独身で自分のためだけに時間も体力も使えるなら、どんな職場でも働きやすいのでは。対策すべきは、働く環境を整える以前の問題で若者が結婚、出産してもいいなど思える世の中作りからではと思う。勝手に結婚して子供産んでくれるやろ、は違うかなと。

・たくさんの稼ぎ

・デスクワークの正社員のお仕事は拘束時間が長く、奈良は特に給料が安いので子育てと両立させようとするコストが悪い。かといって、就業先を遠方で探すと幼稚園の預かり保育時間のお迎えに間に合わない。なのでやりがいは感じないが融通をきかせてもらえるパート勤務で事務職をしている。就きたい仕事の求人があっても、毎回断念している。職場が近く有給が取りやすい環境で給料は安くなるのは多少仕方がないが、時短で正社員で雇ってもらえるところがあって欲しい。子供に手をかけてあげながら働きたいが、「社員で働くなれば子供に手をかけられない」・「子供に手をかけるなら、時短のパートで雑用に近い軽い仕事しか任せてもらえない」のどちらかの選択しか今はない。出産するまでどちらかと言えばバリバリ働いていたのでとても辛いです。正社員の拘束時間がとにかく長いです。正社員になりたいけど、子供を育てながらは無理です。女性なら独身でないと。もしくは子供に手をかけないときっぱりと割り切った人じゃないと。やっぱり女性で子供を持って仕事をバリバリできる世の中になんてならないですね。諦めてますが悲しいです。

・とにかく103万円の壁とかいらぬ。そんな低額の所得を気にしてでも働く自分が情けない、というのが本音。好きなだけ働けて、事情があればフレキシブルに働き方を変えられるなんてただの理想。所詮、近所に自分の元気な母親がいてくれる人が一番強い。そういう人は公務院でも正社員でも辞めない。子供も二人以上持てると思う。わたしは近所に身内がいなかったのが、面接一つ受けるのも大変でした。うちは主人が早朝に出勤、夜8時かそれ以降にクタクタで帰宅です。そんな主人に家事、育児してくれない、なんて不満はありません。実社会の厳しさを年々痛感しています。若い人は育児休暇を申請しますが、50代の主人は残った仕事を一手に引き受けて、かわいそうです。

・とにかく今は物価も高い、働けど働けど税金が高く手取りが少ない。子育てを頑張って未来を支える子ども達にきちんと教養の場を与えたくても、生活がギリギリでとにかく叶わない。今まで扶養内で働いていたが、103万以内に抑えて生活を維持するのが難しく、仕方無く扶養を外して自分も社会保険に加入し働いているが、社会保険料厚生年金料で引かれる金額が多く、深夜まで働いているのに収入が満足に無い。主人と子どもに障害があり私が家庭の管理をしているが、睡眠を削って働いて体をボロボロにしながら生きている。せめて、扶養に入れる年収を上げてほしい。税金がとにかくつらい。本当はもう一人子どもが欲しいが、こんな状況で産めるわけがない。頑張って働いた分、生活が豊かになる世の中、という当たり前が叶わない日本だなと日々思う。

・とにかく子供が病気の時に休みにくい。休むと口では仕方ないよと言ってくれるが、裏で色々言われている。病児保育や保育園へのお迎え代行などの制度を充実させて欲しい。

- ・パート（短時間）でも、働きやすい環境が理想。また、子供の体調が悪い時は、休みやすい状況。
- ・パートタイマーの時給アップ保育園・学童の利用にあたっての書類が多すぎる
- ・パートであっても病気の子供の世話ができる職場環境づくり土曜日の出勤があるなら土曜日にも預けられる施設の増設ファミリーサポートの充実子供が何人目でも保育料の免除
- ・パートでの勤務が前提として、学校行事等での有給がとりやすい。職場が近い。
- ・パートでも学童が利用できる勤務時間や日数を自由に選択できる預かり保育代などの補助金がある
- ・パートでも能力で評価されたい。能力が無くても査定されてボーナスが貰える常勤が羨ましい。家庭の事情でパートにしているが、評価も査定も無ければボーナスも無いため働きがいがない。だったら、時間だけ過ぎるのを待ってお金貰える楽や働き方を選んでしまう。
- ・パートで週2回午前勤務、が理想です。
- ・パートなど子育ての状況に合った働き方をするためには急な休みに対応してもらえることが必要不可欠だと思う。
- ・パートや派遣社員、正社員の別にかかわらず子供の体調不良などの急な休みでも気を使わずに欠勤でき、子供の成長に伴い就業時間や形態（リモートや時短 → 出社、フルタイムなど）を変えることができる、子育てに理解のある就業環境。

・パート希望。子育て重視。子供との時間を大切にしたいので、学校のある時間だけ働きたい。親としては子供が病気の時はお休みして看病したいけど多子だとうつしあって最後の子が完治まで10日かかる時もある。

親は高齢で病気は預けにくい。運動会や参観にも行きたい。でも働くには無責任な希望なので...責任の少ない、迷惑にならない、代わりのきく仕事があれば、働きやすいです。フルタイムの人は本当に迷惑してると思うから、迷惑のかからないシステムを作って欲しいです。お願いします！

- ・バンビーホームが自宅の近くにあること。遅くまで預かってもらえることは助かる時もあるが、こどもの生活リズムを考えると頻繁に遅くに迎えに行くことはできないので、移動距離が少ないことが望ましい。小学校（バンビー）の統廃合によりお迎えが間に合わない回数が増えた。移動に時間がかかると家で過ごせる時間も短くなり、こどもの生活に影響するので、そのようなことにならない状況だとストレスなく働けると思う。また、こどもが病気のときや、病気でなくても学級閉鎖のときで、どうしても出勤しなくてはいけないようなときにサポートしてもらえるような制度があれば働きやすいと思う。

- ・バンビホームの申請期間を一律に決めず柔軟に対応してください。子供の学校行事や病気のための休暇等、企業側にも子供をもつ女性の状況についての理解。

- ・ひとり親で親が高齢かつ仕事もしているに関わらず、祖父母と同居というだけで学童に入れなかった。子育て支援に力を入れるという割には、あまりにも非協力で現代に見合わない状況にがっかりした。お金をばら撒くよりも、そういった周りのサポートを手厚くする環境を作ってもらわないと仕事と子育ては両立できず、もちろん出生率低下も加速すると思う。保育士や先生へ手厚いサポートも必要になると思う。

- ・ブラック企業でなく、一定の収入があればそれでよい（やりたい仕事ができれば満足）。

- ・ブランクがあり 40 歳を越えると、能力があっても特殊技能がない限り、低賃金での仕事しか特に奈良では見つからない。子育ても一段落し、これから社会復帰してキャリアアップしたいと思っている女性に対し、企業や社会からの理解が欲しい。

- ・フルタイムで働く人へのサポートは手厚いのに、子供に負担のない範囲（送迎や習い事）で働きたい場合、働ける場所も限られ、預ける場所の条件に満たない。バンビーホームは有料施設なのに、条件が厳しいが、フルタイムにとっては都合よく 1 日あたりの金額も安くなるのが不公平。

- ・フルタイム勤務、17 時までで、週 4 日出勤奈良の求人は介護職や医療事務が多くあまり選択肢がない。

- ・フレキシブルに休める。子供の体調不良で突然のお休みが、職場になんの気遣いもなく取れないと厳しい。学校の行事も出席したいので、自由に休みが取りたい学校が長期の休みには私も休みたい。

- ・フレックス、リモートワーク可能（週に数回でも）。休みが取りやすい雰囲気であること。出来高制であると勤務時間が変則的になってしまっても対応しやすく、気持ちが楽でもあります。

- ・フレックスタイムで裁量が大きい仕事。ワークライフバランスを確保できる仕事。

- ・フレックスタイムで仕事ができる。仕事効率化（リモートワーク含）で、男女ともに無駄な仕事を減らし、短時間の勤務でいけるようにする。家事、育児は女性がするものと言う意識の変化。

- ・フレックスタイムの導入。

- ・フレックスタイム制。

- ・フレックスなど勤務時間に融通がきく。職場以外でも自宅などで勤務できる。休みが取りやすい。家族以外でも子どもを預けられる場所。保育や教育にお金がかからず子どもが教育を受けられること。女性が輝くには、女性だけに育児や家事をさせずにパートナーも平等に担うこと。男性も長時間労働の是正や、育休の取得が必要。子どもの成長に合わせて大人も柔軟に生活を変えたり選択できる仕組み。

- ・フレックス制やリモートワーク、時短勤務などの柔軟な働き方が可能な仕事があれば嬉しいです。出産があり退職してしまいましたが、経済的な理由から、本当は働きたいです。今は子どもが産まれたばかりで難しい状況ですが、保育園に預けられるのなら預けて就職活動～就労したいです。でも保育園が激戦の地区なので退職済みの自分は保育園に預けることができないと思います。あとは奈良には企業が少ないため、求人の多い大阪まで働きに出る、となると通勤の時間もかかるので、なおさら就労が難しいと感じています。また、前職がそうでしたが残業が前提の会社でも難しそうです。それも含めてリモートワークや、フレックス制度のある会社があれば助かるなどと思います。

- ・まず、子どもが小さいと体調を崩しやすく、すぐに有休がなくなってしまう。自分の為の有休ではなくて

子供の為の有休になってしまうのがすごく負担。それから、子どもがいるだけでお金がかかるのに、給料が低いのでモチベーションも上がらないし、女性も男性と同じ立場になって働けるような仕組みにして欲しい。他県のある市では、18時以降は駅近の託児所に色々な園から子供たちが送迎され集められる。21時まで預かってくれるので、残業があったりしても安心して預けられるので是非真似して欲しい。また、学童も同じく19時以降も安心して預けられるようなシステムが導入されればもっと働く女性が増えると思う。

- ・まず、小さい子供がいる場合、熱を出したりは頻繁にあるので、職場の理解がある事。能力に応じた給与アップ。職場が近く車通勤が可能である事。奈良市の最低賃金のアップ。

- ・まず、待機児童にならず兄弟が同一園に入れること。ここが、クリアされなければ実際働けません。そのうえで定時で仕事が終わらなければ子どもたちのご飯やお風呂、寝ることも遅くなり負担が増えます。親の負担はもちろんですが、子どもたちに負担がないようにすごさせたいです。

- ・まずは希望する保育園に確実に入園できるようにしてほしい。短時間勤務でも入園が確実にあれば、柔軟に働くことを検討することができると思う。

- ・まだこどもが小さいため、習い事の送迎等が必要なので、在宅ワークなどできる仕事が理想。また夏休み等のみ利用できる預り保育があるといい。

- ・まだもう少し働ける時間があるのに年収の壁がある為セーブしています年収の壁を気にせず働きたいですそうすれば収入が増え、生活にも気持ちにもゆとりができるのに、と思います。

- ・もし子供が熱を出しても勤め先に託児施設などがあり働ける環境がほしい。

- ・やはり子どもが急に病気になったときや、学級閉鎖になったときに自分が仕事を休まなければならず、職場に迷惑をかけてしまうために子育てしながらは働き辛いと思ってしまいます。正社員の夫も休める環境なら良いのですが。自分ばかり休むのは仕方ないとはいえ不公平だと感じてしまいます。どうしても今の職業だと就業時間が短く学童に入る条件を満たせません。希望者が全員入ることができたらもう少し長く働けるのにな、と思います。時給がもっと上がれば働くモチベーションも上がるので、どんなペースで給料が上がっていくのか分かりやすく示してほしいと思います。

- ・ライフスタイルにあった就業形態を選択しやすい。夫婦共に、時短やスライド勤務が取りやすい雰囲気である。有給がとりやすい。

- ・ライフスタイルに応じて柔軟に働ける環境。平日遅くまで預かってくれる保育園サービスがある。長期休暇期間に一時的に預かってくれる保育園サービスがある。

- ・ライフスタイルの変化によって一時的に時短や離職しても、復職しやすい環境。病児保育の整備。子どもの病気や親の介護時にリモートワークの活用。公立の学童も習い事や塾などと連携したスクールバスなどで、親の送迎不要になれば女性の就業時間が長くなると思う。実際、奈良市の女性にとって親の協力なしに仕事を続ける事は難しいケースが多いと感じる。子育て支援の企業が奈良に増えてほしい。

- ・ライフステージに合わせて勤務場所や時間を柔軟に変更できる。

- ・ライフワークバランスをとれる職場環境起業、副業ができる環境。

- ・リモートワーク。

- ・リモートワークが主。

- ・リモートワーク、フレックスタイム制、時短制度など働きながらも子どもとの時間が取れるような制度を多くの中小企業にも取り入れてほしい。大企業は制度は整えやすいが、中小企業は法律等で義務化しないとなかなか制度を整えてくれない。

- ・リモートワーク、有給休暇のとりやすさ、職場の理解。

- ・リモートワークがし易い環境病児保育の拡充親に頼らず休める時がないので、土日に数時間でも気軽に預けられるところが欲しい。

- ・リモートワークができるフルフレックス年間休日数が130日以上有休取得率100%子の看護休暇が有給残業がない男性の育児休業が取得しやすい環境。

- ・リモートワークができるしごとが理想です。



・リモートワークが出来て、男女関係なく仕事出来ること。夫婦ともに子供や家族の急な体調不良や用事に対して気兼ねなく仕事の調整出来ること。1時間以内の通勤圏内での異動は仕方ないが、出来るだけ子供と過ごせることなどが理想。現実、定時退社したいが、営業時間外でも営業せざるを得ないような職場環境や就業時間後にある会議など残業する前提で仕事が組まれているなど問題だと思う。土日は休めないが、平日休みなので子供の行事には参加しやすいが子供との時間は少ない。すべてにおいてパーフェクトは無いので金銭的なことを踏まえて自分で折り合いをつけている。

・リモートワークであってもなくても土日祝、年末年始、お盆は休み、8時間勤務で仕事の持ち帰りなし、子供の急病、行事等で休んでも他の人に一切蹴寄せがいかない（他の人が休んでも自分に蹴寄せが一切来ない）基本給で家族を養えるハラスメントがあれば必ず専門家を入れて検証し適切な処分がされる勤務時間外（休憩時間含む）に無理な付き合いをさせられない有給取得時に欠勤理由を書かされない正当な理由なく有給が却下されない残業前提で運営されていない定時を1分でも過ぎれば残業代が計上され、同月内に欠勤、早退、遅刻等があってもそれを理由に残業した時間を通常出勤として取り扱われない失敗しても人格を否定されない、攻撃されない曖昧な指示をされない矛盾した指導をされない相談なしの異動させられない人間として尊厳を保って就業でき、それを脅かされることのない

- ・リモートワークやフレックス制度があれば、子供の参観やPTA活動にも参加しやすい。
- ・リモートワーク推奨の企業。子供の病気など急な休みでも対応できる環境。
- ・ワークライフバランスがとれた職場。
- ・ワークライフバランスが整った休日が年に110回以上、有給消化も年に10回以上。通勤時間がみじかい。
- ・わたしにとっては育児が仕事より優先なので、週3日、1日4時間程度の今のパート就業スタイルが無理なく働けてちょうどよいと考えております。
- ・安心して子供を預けることができる保育園。職場の人員にも余裕があること。給与も必要ですが、なにより環境が仕事を継続できるかどうかの判断材料になる。
- ・安全に子供を預けられる場所や市からの援助が十分にあって、病欠や急用に対応してもらえる職場環境の充実。

- ・安定した人がいること。
- ・以前は130万円内で主人の扶養内で働いていた。今は扶養内で働くためには103万円（106万円）までしか働けない。成長期の子供にお金（塾代や食費）がたくさんかかるようになってきたのに収入が減り、生活費が日に日に苦しくなり、毎月預金通帳を見ながらストレスがたまり、イライラ、家庭内でのケンカなど...不満がたまってしまいます。だからと言って正社員で働く家事や子供のことが回らなくなり、何のための法律か...と嫌になる。一時的な給付金だけでまかなえる訳ない。ある程度は働けるのに、制限を過ぎると結局税金がかかり、今増やしたい生活費ももらえず働き損...意味わからないです。今年子供が2人も中学生になり、収入を増やしたいのに何が1番良い方法なのかまだ答えが見つからないままです。

・以前夫が働いていた仕事は、休みも少なく、帰りも遅く、睡眠不足とストレスで体調が悪くなり退職して起業することにしました。私はそれを手伝いながら別の会社で働いていましたが、出産を機に退職し、夫の会社に専念して今も働いています。3人出産し、いま4ヶ月の子どもを家でみながら仕事しています。私は夫の家族なので雇用保険に入らず、3人も産休、育休や、手当などをもらっていません。出産の翌週から仕事をしています。そういった面では大変です。ですが、自分たちの会社なので、子どもが風邪を引いたときや、休み方などは比較的自由なので起業をして良かったと思います。保育園1年目は子どもが風邪をひいて休むばかりで、私の性格上、会社勤めだったら、申し訳ない気持ちで辞めていたと思います。ただ、今会社を経営する立場から言わせてもらおうと、権利主張する以前に、きちんと責任を持って働いてくれたら、勤務時間や働き方はその人のライフスタイルに合わせてもらって良いと思っています。コロナで在宅勤務やzoomの普及で子育てママも働きやすくなったのではと思います。働きながら子育てして思うことは、病気をした時に見てもらえるところがあると助かります。いまは両親が見てくれますが、周りに手伝ってくれる人がいない場合は大変だろうなと思います。あとは家事代行などが気軽に利用できたらよいです。保育園について、仕事しているか

ら預けられることが大前提ではあるのですが月に1度くらいはママの自由時間で利用できたらいいのになと思います。平日仕事、土日子どもがいて大変で出産直後はとてもしんどかったです。

- ・医療系で働いてるのですが、正社員だと帰る時間が遅くなるため、時短勤務の正社員の採用が増えるといいなと思います。

- ・育休、産休が取りやすい。子供の病気やイベントの時に有給や取りやすい。

- ・育休を三年取得できる子供が中学生になるまでは時短勤務を利用できる、自宅近くの職場に転勤できる、または一旦休職という形でパートで就労継続し、融通が利くようになれば再び正社員としてのキャリアを積み重ねられる

- ・育休を取った際、業務負担がかかる同僚に対して得があると2人目は考えたくなる。「会社にどう思われるか」よりかは「身近な人間に迷惑がかかる」ほうが気になってしまう。

- ・育児、介護などの事情にあわせて、テレワークや時短正社員などの柔軟な就労制度 休職・短時間労働などの勤務セーブ期間におけるリスクリテイング支援 小規模企業などへのヘルプをはじめとした月数回からの定期就労斡旋があると、完全に仕事から離れずに社会と関わりを保て、しっかり働きたいタイミングを逃さずに復帰できるのでは？と思います。特に育児は年月を経ると手が離れていきます。復帰を希望するときに社会に戻りやすい仕組みがあったらいいのにと感じます。家庭や本人が希望すれば、安心して育児のウエイトを上げていける社会になるといいなと思います。

- ・育児しながら働くための制度も充実している会社で正社員として働きましたが平日は完全にワンオペで余裕がなく、残業も出来ない為に仕事の完成度が悪くなり、かと言って仕事は減らす事も出来ず、育児と板挟みになり退職しました。上司に働く女性のパイオニアになるようにと言われたのになれなかった悔しさが今でもあります。育児しながら昇進、昇給までは望みませんので、同じ会社でも正社員から一時的に責務の少ない契約社員に切り替えられる等、立場をかえられる制度があれば良かったと思います。

- ・育児に関わる欠勤に理解があり、休んでもフォローがしっかりしている。望む保育園、学童に、望むタイミングで入れる。仕事の開始時間を自分で決める事が出来る。

- ・育児に対する手当をもっと充実してほしい。

- ・育児や家事の代行サービスが、使いやすい価格設定で充実していると助かる。

- ・育児や介護で急な用事ができたときに柔軟な対応が可能な環境。

- ・育児休業終了後も家事代行サービスを受けられ、ワークライフバランスをとれること。

- ・育児時短中に、時短だからと否定され、課長昇格ができず、同期に遅れた。成果を出していたら、昇格に差をつけたい。一方で、時短中に時短者に手当増やすみたいな愚策はやめてほしい。フォローしてくれる方に齟齬がいかないようにしてほしい。民間企業なんて、建前で女性活躍しているだけです。

- ・育児自体が大切な仕事とみなされ、給料が出るような仕組み。家事代行がある。育児休暇が1年ではなく、半日?? 2年のような形態。育児休暇から、復帰のギャップが大きい

- ・一つ目は、子育ての状況に応じて、休みがとりやすい環境が必要だ。急な発熱や学級閉鎖など、休みにくく、家族がサポートがないと難しい。二つ目は、業務内の改善や、人材の確保。年々することが多くなり、職場で終えようとすると、難しいこともある。また、職場内で、自分が休むことで回りへの負担が増えるため休めない。

- ・一旦辞めても、40代でも正社員になれる求職。

- ・一般的で`はないかもしれませんが`現在の働き方が良いと思う反面、私自身子育て前の仕事へのモチベーションが保てないのが残念です。

- ・駅から近い休みや勤務時間の融通が効く残業や休日出勤がない。

- ・駅が遠いため子供達を送迎する大変さ。家賃が安く駅も近い良住宅を提供してほしい。

- ・遠方に通勤しているので、駅近くに学校や学童保育、保育園があるのが望ましい。保育園や学校はアプリを通じた連絡が充実したが、学童保育は電話連絡や連絡帳による連絡のため、忘れやすい。統一してほしい。朝登校前に子どもが一人にならないように、小学校の始業前に入れる部屋があるといい。小学校そのものでもな

くとも公民館や団地の集会所でもいい。

- ・温かい目で子育てを見守ってくれる環境。職場。子供が病気などなった場合に、まわりを気にしながら働く事が一番辛い。

- ・下の子が小学生になったらパートを始めようと思っていましたが、コロナ禍で学校の休みが増え、時期を延ばしました。高学年になった今でも体調不良で学校を休むこともあり、パートとは言え、毎回は仕事を休みづらいです。仕事が忙しいと、子供への目が行き届かなくなり、成績に影響が出るのも悩みどころです。収入は少ないですが、自分にも余裕を持てる1日4時間程度、週2日ぐらいの働き方が今の生活には合っていて、どちらかと言うと、女性が無理に働かなくても子供達を塾や習い事に行かせてあげられる経済的支援を望みます。

- ・下の子どもが未就学児の間は時短勤務が使えること。(フルタイムで上の子の学童保育と下の子の保育園の送迎をするのはとても大変でした) またキャリアアップより、子どもが高校生くらいになるまで現状のまま仕事を続けられること。いくらキャリアアップできても勤務時間外も緊急で連絡が入る可能性のある仕事内容や役職は、平日ワンオペ育児で働いている人にとって両立が難しいと考えます。配偶者には今まで通り生活費を稼いでもらいたいのでお給料が減ってまで時短して欲しいとも思えません。また保育園や学童に遅くまで子供を預けるより自分が早く帰ってご飯を作ったり話を聞いてあげたいので、遅くまでやっている託児場所が増えるよりも近くの職場で管理職以外の定時で終われる正社員職が増えるとよいと思います。

- ・何かあった時に休みが取りやすい環境がいい。

- ・何も期待してない長女が25歳～三女12歳の間良い環境だと思った事がない毎日、時間に追われ、余裕のない生活です。

- ・家から距離が近く、昇給などがあり、子育てに理解があること。

- ・家から近い子ども達が学校に行っている間に勤務して帰ってこれる子ども達の体調不良や行事などで急に休むとなっても休みが取りやすい融通がきく仕事を家に持ち込まなくていい。

- ・家から近い職場で、学校行事に時間休や半休で駆けつけることができ、土日がお休みで、納得できる対価を得ることができる。家事を分担してくれる配偶者がおり、夫婦で自立して子育てができる。どちらかの親に頼らずに子育てできる環境が理想で、そのためには夫婦で分担できるキャパシティに見合ったこどもの人数で、親子共に心身が健康で仲が良いこと。保育園や学童に預けられる環境で、学校が荒れておらず、安心してお任せできること。

- ・家から近く、日祝休み等極力学校の休みには休める。有給が取りやすい。定時帰宅(なるべく子どもが発してから出勤し子どもより少し遅めくらいまでに帰宅したい)。昇給・ボーナス・退職金・研修費用・定期健診等がある。

- ・家でも仕事ができる環境が理想です。

- ・家まで仕事の気持ちを持ち込みたく無い。

- ・家を出る時刻は、出来るだけ子どもを送り出してから帰宅時刻も出来るだけ義務教育の子どもが居るうちは下校時刻までに帰宅していたい。5年に1度でも構わないので能力が上がっている場合は昇給のある職場。自分だけでなく子どもの体調不良時に代わりを立てて貰える職場。職場は近い方が良い。

- ・家事、育児と両立ができる環境。例えば、子供を送り出してから出勤して、下校するまでに家に帰れる時間帯で働ける。子供の体調不良などでもお休みがとりやすい。

- ・家事、子供の世話をするのが基本的には女性と言う考えが無くなる。目に見える家事だけではなく、子供の予定管理、学校等に提出する書類の記入や、PTAの参加などほとんどが女性がしていると思います。そのようなことを考えず、仕事に没頭する時間が増えるべき。学校は教師の働き方改革で、授業時間を見直したり下校時間を切り上げてるが、子供の人間形成に重要な時期なので学校での滞在時間を延ばすべき。母親にもっと働いてほしいと言うなら、学童も無償で提供すべき。学校の先生の働き方改革を考えるのであれば、正規の先生を増やして時間差で子供の教育にあたるべき。子供への心配が減れば仕事へのパフォーマンスが上がると思います。

- ・家事・子育てとキャリア形成は、核家族では両立困難です。介護問題も同じです。前職の看護師でフルタ

イムで長期間働ける方は、近くに子育てサポートができる実家が近くにあったり独身の方が多かったように思います。(もちろんそうでなく頑張っておられる方もたくさんおられました)以下、極論ですが、他のお母様たちとも話していて好評な理想論なのですが、シングルマザーも増えており、共同生活で、ご飯を給食の様に提供してくれる家賃の安価なマンションなどの施設が出来れば、入居してフルタイムで仕事に出たいです。マンションの中に管理人さんや保育士、看護師など常駐でサポートする方やファミリーサポートの方、宿題をみしてくれる人がいて、母親が帰宅するまでのケアをしてもらえたら、夕飯を親子で一緒に食べて会話して家族団欒する時間ができるかと思います。母の手作り料理は週末だけでも良いかと思います。(コンパクトシティの様に習い事や美容室、リラクゼーションも近くにあり小さな範囲で簡潔できたら効率的だと思います)子どもの心の栄養は母親の笑顔と余裕のある会話で補えると思います。この様な形態は普通の共働き夫婦にも、そして、介護をしながら働く人にも助けになるシステムだと思います。コストの面でクリアできるかは大きな課題ですが、普通に見えて、周りには疲弊している人が多いです。アンケートなので、好き勝手書かせて頂きました。働きたいのに充分働けず家では働くように言われ、将来の蓄えも少なく不安です。良い意見がたくさん集まり、子育てや介護をしやすい新しい街に変わって行けるよう望んでいます。

・家事との両立が必要なため、週に2~3回、短時間の就業が理想。ただ、この働き方だと小学生の子供がいる場合、バンビーホームに入れられないため長期休暇の対応がネックとなっている。

・家事は基本的には一人がやった方が効率がいいので、平日は自分が100%で、子供が学校に行っている時間帯だけ働き、休日の夕食は夫に任せている。これで収入が足りるのであれば、これが理想的だと思う。

・家事育児、仕事も100%でやりたい。子供には視野を広く、将来の選択を広くするために手をかけたいから、私の場合は、高校を卒業するまで、もしくは、介護が始まったら職場は自宅から近く、週4日勤務が出来る正社員が理想。従業員数も自分の代わりは確保してほしい。有給休暇がとりやすくなる。実際、上記の働き方を選択出来ると前職から復帰の要請があったが、週5日勤務が基本の中、まわりの人の目や昇進の面でマイナス評価となるので、そうならない事が理想。配偶者の扶養範囲内での働き方についても、フルタイム働きたいが働けない事情があるから、調整している人もいる。選択出来るように今の制度は無くさないでほしい。仕方なく短時間しかパート勤務出来ないのにみんな働けは無理な場合もある。そうすると、生活に余裕がなくなり、子供の虐待問題が増えたりするように思う。

・家事育児と両立できる仕事環境、早めの帰宅可能。

・家事育児の合間の時間でできる範囲の仕事。

・家族が安定して豊かな生活ができるだけの給与があり、残業はできる限り少ない環境が理想。子どもにかかる費用が少なければもう一人ほしいとも思う。今は夫婦共にフルタイムで働くには祖父母の協力が不可欠だし、子どもに何かあれば母親が早退や欠勤しがちな世の中なので、父親も同等に子どものために動けるような周りの理解が必要だと思う。

・家族との時間を大切にしたいため、子供が成人するまでは時短勤務ができる職場が理想です。あるいは週5日の勤務だけでなく、週3日や4日勤務でも正社員として働ける職場が理想です。正社員という雇用形態に絞ると、週5日勤務が基本的であり、家族との時間や自分自身がリフレッシュする時間をつくりにくく、いつまでこの状況で日々踏ん張りながら就労できるか不安です。

・家族との時間を優先できる柔軟な職場。

・家族の急病にも快く対応してくれる人事や気持ちにゆとりのある職場。定時に帰宅ができる。資格取得のサポートがある。育児休暇、介護休暇などが取りやすい。

・家族の協力がないと女性は理想の仕事を出るのは難しいと思います

・家族の生活スタイルに合わせて自由に仕事を選べる事ができれば理想です。特に子どもの成長に合わせて就労スタイルも変わると思うので、子どもの成長段階に合わせた仕事にスムーズに転職出来たらキャリアを諦める事なく働けるのではないのでしょうか?私の場合は、子どもが小学校の間はフリーランスのような自分で仕事の量や時間を調整できる仕事をしていました。小学校の頃が1番働きにくいと感じました。夏休みなどの長期休み、短縮授業、学級閉鎖、学校行事への参加、地域との関わり、子どものお友達との関わり、習い事の送

迎、宿題や提出物のチェック、家族の体調不良、等々、本当に大変でした。正社員の頃は、上記の事に加え、仕事の調整や職場の同僚に対する配慮も必要で、精神的に疲れることが多かったように思います。限界を感じ、フリーランスの仕事に転職しました。中学生からは、塾の送り迎えがあるので、夕方には家に帰ることができるように調整しました。中学生以上になると、塾や部活の送迎が多くなり、早朝や夜間に動く事が多くなりました。日中に働きやすくなったように感じます。今はやっと決まった時間に働けるようになり、自分の予定も立てやすくなりました。私の個人的な意見ですが、主人の収入が安定してあることが1番重要だと感じました。安定した収入があれば、心の余裕も生まれ、長いスパンで物事を考えられると思います。

・家族の理解や、許可が出ないと働きに出られないので。自由に自分のしたいように働ける状況が羨ましいです。

・家族を大事にできる働き方。例えば、有休がありきちんと取れる。子どもの参観日や行事やPTA活動に参加できる。子どもの下校時刻に合わせて帰宅できる。リモートで仕事ができる。

・家族第一優先で考えてくれる職場（病気の時など休みやすい等）、時間の融通がきく。

・家庭の事情での急な休みが取りやすい。人間関係が良好。

・家庭を持っていると家族の体調不良や学校からの呼び出しで、どうしても急な休みを取らざるを得ない場合があるので、別の人に代わってもらいやすい代替のきく仕事内容だと大変ありがたいと思う。

・家庭第一で働きたいと思ってたので、夕方までの勤務が求人条件でした。実際10年以上同じ職場にいますが、条件は概ねクリアしていたが、最近までは理想の環境ではなかった。自分にとっての理想の環境とは『休める環境』というのが理想的だと思います。特に子どもが小学生のうちによく発熱するイベントやPTAの活動も活発なので。また安心して休めるというのは、職場の雰囲気もよく他のスタッフの理解も得れてるということに繋がると思います。ただ完璧な条件や環境は難しいので、自分にとって優先順位を決めて働くのが、心身ともに続けやすいかと思います。

・家庭優先であることを理解してもらえる。人間関係が平和な職場。

・我が家の場合、家族が同居でもバラバラで、家事はすべて私が一人でやって誰も手伝わない。近くに頼れる身内もない。何度か子どもの学校から電話がかかってくる、内容は子どもの不登校など。私自身、つらすぎて死にたくなることもある。生きてる意味がわからないほど追い込まれてる。でも、金が欲しい。子供が欲しいから。別に今後も誰にも頼ろうとは思わない。誰も信じていないから。最低賃金で働いて、稼いだ分は取られて、自分の手元にほぼ何も残らない。最近も確定申告で、1日分の稼ぎぐらいを支払った。小銭をにらめっこして生活してるが、今はこの稼ぎ方以外のことは出来ないと思うし、現状維持を長く保てるように、今日も明日も踏ん張るしかない。

・我が家の場合、家族が同居でもバラバラで、家事はすべて私が一人でやって誰も手伝わない。近くに頼れる身内もない。何度か子どもの学校から電話がかかってくる、内容は子どもの不登校など。私自身、つらすぎて死にたくなることもある。生きてる意味がわからないほど追い込まれてる。でも、金が欲しい。子供が欲しいから。別に今後も誰にも頼ろうとは思わない。誰も信じていないから。最低賃金で働いて、稼いだ分は取られて、自分の手元にほぼ何も残らない。最近も確定申告で、1日分の稼ぎぐらいを支払った。小銭をにらめっこして生活してるが、今はこの稼ぎ方以外のことは出来ないと思うし、現状維持を長く保てるように、今日も明日も踏ん張るしかない。

・我が家はもう子どもたちは小学生、中学生ですが、職場に託児所があれば、もっと早くから働けたらと思う。

・介護士という仕事の大変さを国がもっと理解してほしい。理学療法士など同じような環境で働く人達以上に体力を使う仕事なのに、お給料は半分くらいと差が激しい。だから離職率も高い。パートだとスーパーの定員より安い。やってられない。

・介護職は、給料が安くてしんどい。そのため、若い人材が集まりにくい。もう少し補助金を、出して給料をあげる手助けをしてくれたら、働きやすくなるのではと思います。

・介護職は常にスタッフが不足しているため、有給があっても気を遣ってしまい、取りにくいのが現状です。

子供の急な体調不良や学校行事で休まないといけない時は、会社に対して申し訳なく、強いストレスを感じてしまいます。

・介護職員で不規則な仕事をしている。感染症や発熱の時に仕事を休まないといけない。警報の時に仕事を休まないといけない時に預ける所があると助かる。子供の保育所代金の支払いや生活の為に働かないといけないのに休んでられない。このままでは辞めさせられるって為に常時預ける所があると助かる。遊びに行くから預ける家庭もあるから一概に良し悪しなのかもしれません。

・介護等でまとまった時間がとれなくても外出できなくても働ける環境が欲しいです。リモートワークなど、就職活動もリモートで出来て、時間帯を問わずにできる仕事があればと思います。

・会社がどうこうではない。仕事は自分で見つける。今は車でしか行けないようなところなので自家用車での通勤だが、車での通勤に時間がかかり過ぎる。住宅や人口を増やすのは良いと思うが、それに伴った道路整備など交通環境の改善にもっと気をつけてほしい。通勤に時間がかかり過ぎるということは家事や育児にかかる時間がどんどん削られるということ。1分1秒が惜しいのにとっても困ることこの上ない。ここ2年くらいだけでもかなり道路が混み合うようになり、非常にイライラする。早急に改善していただきたい。関係部署に改善の要求を出していただきたいです。

・会社で働く選択肢よりも、私の周りは自分のスキルを活かせる場を探している人が多いです。実際私も自宅でエステサロンをしています。本格的にするつもりはなく、仕事を持ちつつ、好きなことで身近な人を癒すお手伝いが出来たらと思っています。会社も副業を認めて、休みの日に自分の好きなことで収入が得れるような取り組みをしてもらえたらと思います。

・会社の協力が不可欠。女性を特別扱いせずに同等に扱ってもらえる。テレワークを続ける。リモートワークできる施設が無料で利用できる。

・会社員時代につけた技能があったので、三人目の出産を機に独立起業。元いた会社から仕事をもらったり、その関係者から依頼を受ける形でスムーズに働き方を変えることができました。ただ、最初は就業調整として役員報酬を減らしていたため、三人目の子が東京の点数基準で認可保育園に入れず、高い認可外保育園に一度入れ、上の子と送迎先も違ったりして大変でした。東京では4人目、5人目も希望保育園に入れず苦労しました。そのため、奈良への引っ越しを機に、自分の役員報酬を増やして扶養から外し、無事希望保育園に預けられました。私のアシスタントさんや、元同僚などフリーランスのママさんが周りにたくさんいますが、在宅系の仕事だと保育園に預けられなくて苦労している人がたくさんいるので、扶養控除内外や雇用形態に関らず保育園に預けられるようになればいいなと思います。在宅といえど取材などで電話もよくかけますし、オンラインミーティングもあるので、子供がいるとなかなか困難です。

・確実に家の近くのこども園に入所できること。職場が近いこと。短時間勤務ができること。フレキシブルな働き方ができること。夫婦ともに休日があること。部活未亡人がいないこと。こども園で習い事が受けられること（送迎サービス含め）。

・学校が長期休暇の時など、子どもを預けられるところがあるといいと思います。

・学校教員の定時帰宅。部活動廃止。病気疾患のある配偶者のいる家庭へのサポート体制を整える。AYA世代がん患者への就労形態の優遇をしてくれる企業を増やすこと。

・学校行事等は積極的に参加したいので、お休みの融通がきく。15時、16時までの仕事など、子供の生活を中心でも、働ける環境があれば良いと思います。

・学童が車でのお迎えが可能。4月から園と学童、お迎えが2ヶ所になるが、学童は徒歩で迎えのみと聞いて退勤時間を早めなければならない。

・学童などのサービス子供の都合に合わせて臨機応変に対応してくれる職場。

・学童に預けられる基準（労働時間）を下げてほしい。障害がある子を預けられる場所を作ってほしい。

・学童の利用の基準が下がってほしい。長期休暇のみ預かり可能など。

・学童の利用条件の制限をなくしてほしい。習い事の送迎などにより、働けない日があるので、週何日以上勤務や何時間以上就労などの制限で使えない。預け先があれば週2日でも預けられる日につながり働きたい。

- ・学童以外に子供を見てもらえる環境があること。
- ・学童保育は日祝及び年末年始は預かってもらえない。両親がサービス業などであると、幼い子供はみてもらえるところがない。曜日や時間帯がある程度柔軟に対応してもらえるような、こどもの遊び場があれば安心できる。就業に関しては、有休はあるものの働く母親は中々自分のためには使えない。学校行事やこどもの体調不良時に備えて貯めておく事が多い。小中学生のいる家庭には、特別有休的な制度があればありがたい。
- ・学童保育内のスタッフの充実と教育。職場の近さ。残業が少ない。夜勤がない。仕事に関連した資格取得時の手当の充実。
- ・学歴が低くても働ける場所。有給がとりやすい。
- ・完全リモートでいつでも子どもの送迎が可能。たまにすぐ近くに子どもを見てくれる場があり、その間に仕事ができるような環境があればなお良いと感じる。子どもの学校、園のイベントがあることから週4日～5日勤務が可能でなくてはならない。
- ・完全週休2日制、夏季休暇5日、退職まで昇給制度、有休を自分の取りたい日にちで完全消化できる。
- ・環境がそれぞれ違うので一概に言えないが、理想は家事が分担されていれば、男女ともに同じ仕事量でよいと思う。子供が小さい時は、どうしても母親の仕事をセーブせざるを得ない。保育園に在る前や、子供が体調を崩した時、自分の親やファミサポに頼れば良いが、お金がかかるとなると、母親が我慢すればいいと、母親自身もおもってしまう。子供を見てもらうのは迷惑をかけることと、限界まで我慢してしまう構造があるような気がする。もっとゆるく広く、地域で見守るようなサポートができないか、他の子供が増えている市町村の取組みを参考にしたい。
- ・環境を整えば仕事はできると思う。今の奈良市の環境下では無理。もっと育児にも障害者にも優しいまちづくりを期待しています。
- ・看護師をしているのでどこの病院にも24時間保育があって、子どもは熱をだしやすいのでそれで帰ったらなくてもいいように病児保育があればいいと思う。あとは、夜勤明け休みの時は預かって貰え無いくが多いのでそれだと疲れがとれないため、休みでも子どもを預かってもらいたい。そしたら気持ちにも余裕ができると思う。
- ・企業が働くママにストレスを感じさせる厳しい仕事をさせないこと。働くママの意見を聞いて、ちゃんと反映すること。家の近くに子供を連れて楽しく遊びや学習する場所と施設が欲しいです。
- ・企業単位で子どもが安心して過ごせる環境と融通性が提供できる職場になれば子育てしながらの就労も可能であるかと思う。パート業務は能力差による賃金差がないため、最低賃金の低いと徒労感もある。
- ・企業内、もしくは委託でも良いので託児施設があると良い。子どもはどうしても熱を出したり怪我したりで、急に仕事を休まなければならない時が多いので、休みが取りやすい環境であってほしい。そしてそれをみんなが理解してサポートしてくれるような環境であれば安心。
- ・企業内に託児施設があり、家から近く、有給がとりやすく、時短勤務しやすい。
- ・企業内に託児施設があり、託児車両があること。夫婦共に育児時短取得できること。給与がもっと上がり、物価が下がること。
- ・企業内に託児施設がある。有給がとりやすい。
- ・企業内に託児施設がある。子どもの急病のとき休みが取りやすい。定時帰宅。
- ・企業内に託児施設があること。送迎が片一方に寄らない体制（例えば今は私が時短を取得しているため、子供の送迎は全て私負担だが、週の2～3日はパートナーにも担ってもらいたい。自分も残業したいし、フルタイムで働きたい）。ベビーシッターや近所の人の活用（ご飯作ってる最中に上の子が塾から帰ってきた時に駅から自宅まで迎えに行って送ってきてくれる、というようなちょっとしたお迎えや子供が体調悪くなった時に上の子だけ病院に連れて行って、下の子だけ誰かに見といてもらう...とか、ちょっとした買い物の時に子供を見ておいてもらえる、とか。）。フレキシブルな勤務時間体制（今日はちょっと残業可能、とか今日はちょっと早く帰りたい、とか）。週休3日制（1日は家庭のことに費やせるので、掃除・家のこと・金融機関周りができる）。

- ・企業内に託児所がある。残業がない。有給休暇が取りやすい。出勤、退勤時間が自由。
- ・企業内に託児所がある。男性も育休や定時退社がしやすい職場環境。身内や信頼している人に子どもを預けられる環境。地域の下校時見守り体制（小学生になると下校時が心配、学童に入れたくない理由から仕事を続けていくのが難しい）。子どもを見てくれる施設が整ったところで、子どもにとっていい環境と思えない限り、そこに預けて働こうとは思えない。
- ・企業内に託児所がある。労働に見合った給料。職場環境が良い。
- ・企業内に託児所があるところ。自分の能力にあった給与。休みもしっかりとれるところ。職場が近く定時に帰れる、悩み相談や育児をしている親たちが集える施設も企業内にほしい。
- ・企業内に託児所の設置。子供が体調不良の際はテレワーク可能。定時帰宅。休みの日に仕事を持ち込まないで良い。子供が体調を崩した際にすぐ迎えに行ける距離。
- ・企業内託児所がある、もしくはどの企業でも在宅ワークができるのが理想です。時短勤務もすすんで取りやすい環境が理想です。
- ・希望があれば何歳からでも正社員として仕事がリスタートできるくらいの安定した求人があること。
- ・希望すれば夫婦共に3歳まで育休が取れる第一志望の保育園に入園できる全ての保育園、こども園に土曜日保育がある全ての保育園、子ども園が月から土曜日まで19:00まで保育をしている慣らし保育のための休暇がある全ての保育園に十分な駐車場がある職場が近く有給が取りやすい
- ・希望すれば保育園に入れるリモートワーク子連れ出社家事分担の負担解消子どもの世話のため（学級閉鎖や警報）の休みで有給が削られない職場自分の権利だけでなくみんなお互い様で支え合っていく気持ちが無いと無理
- ・希望の勤務時間が組める、子どもの学校行事がある際は休める、有給が取りやすい。
- ・希望の保育園に、入りたいときに入れること。子どもを安心して預けられる環境。男性も育休や有給が気兼ねなくとれ、育児に主体的に関わってくれること。ファミリーサポートや行政のサポートを気軽に使える仕組みづくり。保育所幼稚園課が親身になって話を聞いてくれること。女性ばかりが育児の負担や責任を感じなくていい雰囲気、世論。
- ・希望の保育園にいつでも預けることができる。扶養の壁がない。好きなだけ稼ぐ。
- ・希望の保育所に入れる。
- ・希望通りの部署への異動、必ず定時で帰れる、有給を取りやすい。
- ・帰宅後の家事などを手伝ってくれるサービス。特別支援校などに通う子どもでも、1人でも通学できるサービスや朝早く、夜遅くまで見てもらうことが支援、サービス。医療的ケア児に対する支援、職場の方に理解してもらえる環境。夏休みなどの長期休みの支援体制。夫婦だけでも家庭の維持ができる環境。入院時の付き添いの支援。急な学級閉鎖時にみもらえる支援場所。奈良県内で給料がしっかり確保される職場（福利厚生がしっかりしている上場企業など）。今、現在、正社員で医療的ケアがある子を育てています。しかし、正社員で働くには支援が足りなさすぎて、祖父母の手を借りないことには、仕事を続けることができません。学校にも自力で通えない、送迎すると仕事には間に合わない、夏休みには支援がなくなる。仕事を続けたくても、続けることができません。障害児を育てると、今までのキャリアや自分自身の居場所をすべて失います。障害（特に重度）のある子の親は働きたくても働くことができないこと、働けたとしても、日々の医療ケアをすべて担って、家庭が疎かになること。こんな環境で働くことができません。
- ・気に入った環境での家族との生活を考えると、現在の働き方は、資格も生かして、家からも近くて、子育てに対する理解のある会社で、収入も以前の仕事よりも満足するものです。しかし、仕事内容については、好きなことではない、忙しくて帰ってきたときには疲れ切ってしまう点に対して不満があります。コロナと育休明けの復帰のタイミング、事業所移転の予定の話が出たことがきっかけに行った転職活動は子供の保育園の送り迎えがあるので勤務時間や勤務地の制限があり、また正社員への転職は時短勤務が入社時からできないところがほとんどで、好きには選べませんでした。また、子育てについても保育園についても発熱による呼び出し、看病による仕事の休みなどで理解のある職場ではありますが安心して働ける日がないです。また休む



ことで収入が減ります。病児保育もありますが、利用しにくい点、子供のことは親の責任だと思うので利用したいと思えないので利用したことがありません。0歳から保育園に通っていて保育園でたくさん感染症をもらってきて、仕事を休んで...何度も経験しました。これをまたやらないといけないと思うと、また子供を作ろうと思えないです。・入社直後も時短勤務が選択できる会社が増えてほしい。・会社には育休明けのフォローをしっかりとしてほしい。・0歳の子供を預けて働かないといけないような社会をどうにかしてほしい。3歳くらいまではゆっくり子育てしたい。・子の看護休暇も有給にしてほしい（インフルエンザ、コロナなど出席停止になるような感染症だけでもいいので）。

- ・休みがとりやすい、体力にあった仕事量または時間。
- ・休みが取りやすい。子供が小さいうちは、週休3日制にしてほしい。在宅勤務も利用したい。
- ・休みが取りやすく、家事に差し支えない時間帯で働けるところ。昇給やキャリアアップなど、長く続けることに意味を感じられる職場。
- ・休みが取りやすく、子どもの急な発熱などでの休暇に理解がある。急な残業でも連絡すれば20時まで預かってくれる保育園が助かった。仕事も育児も頑張らないと思って、出来る限り自分でやっていたが、ファミサポなども頼ればよかったなと感じる。子どもたちが保育園～小学校の間は、とにかく時間に追われていて、「早く」が口ぐせになっていて、そんな自分も嫌と思っていた。時間と気持ちに余裕を持つことができれば、働きやすくなると思う。
- ・休みが取りやすく融通がきくところ、小学校入学まで時短勤務できるところ。
- ・休みたい時に休めない、子供が小さいと無理、男は基本的に何もしないので女性が働くのも無理、子供達に手がかからなくなるまでは普通の勤務は無理。
- ・休みやすい環境。キャリアが継続出来るような福利厚生。子供が病気等になっても、預けられる施設がすぐにある環境。
- ・休みやすく有給がとりやすい職場。給料も利益が多い方がいい。求職のための利用しやすい保育園、一時預かりがある（昔求職するのに保育園探しが大変でした）。
- ・休みや時間に融通がきく。なるべく自宅から近い。
- ・休暇がとりやすく、フレキシブルな勤務ができる。
- ・休暇制度がしっかりしている。保育園の保育時間について、就業時間に加え、通勤時間に見合った時間の預かりが可能であること。
- ・休日や勤務時間に融通が効く育休から復帰しても続けていける有給がとれるバイトでも福利厚生がある
- ・休日をとりやすい。さらに、休んだ分が単純に無給になるのではなく、振り替えて別日に働くことで給料を得ることができる。職場と保育施設が近く、参観日など、仕事を中抜けしていくことができる。働く母親への理解がある社会（子どもが遅くまで預けられてかわいそう、子どもが小さいうちは母親が家で見るものという古い価値観で苦しめられているケースが多い）。男性でも有給がとりやすい職場（旦那が有給をとって子の世話にあててくれたら、自分ももっと仕事に打ち込めるのに。）得意なこと、好きなことを仕事にして、自分らしく働きたい。
- ・急なお休みにも対応してくれる、理解のある職場があれば理想。
- ・急な家庭事情等で時間や有給等臨機応変に対応等可能な仕事。
- ・急な学級閉鎖などで帰ってくるようになった場合、仕事の都合で早退ができなく、この時だけ預かってもらえる場所があれば安心して最後まで働くことができる。
- ・急な休みが取りやすい、職場が近い。
- ・急な休みが取りやすく理解がある・職場でのスキルアップ制度がある・義務教育中や高等教育あたりに女性の働き方や女性が仕事をするうえで直面する問題を女性自身が知る機会（女性ならではの早期キャリア教育が必要だと感じる。いざ結婚出産してから知ることが多く、事前に知っておきたかったと思うことは多い）。
- ・急な休みや早退など、遠慮せずに申し出ることのできる職場。家から近い職場。
- ・急な休みをとりやすい環境。正社員の場合、毎年昇給が2パーセント以上あるとよい。有給をしっかりと

れること。

- ・急な休みを取りやすい、残業なし。
- ・急な欠勤もフォローされる子供が学校にいる間の時間帯パートタイムでも時給が安すぎない。
- ・急な体調不良でも、無条件で預かってくれる病児保育がほしい。今の病児保育は、前日までに指定の小児科に受診し、その時点で次の日利用するかを決めないといけないため、急に熱を出した場合は利用させてもらえない。
- ・急な発熱に対応できる病児保育がある園。残業がない。職場が近い。土日祝休み。有給がとれる。
- ・急な有給休暇（急病、用事の為）でも取りやすい環境職場が近い。
- ・急に子供が熱を出しても臨機応変に対応してもらえらる職場。遅い時間まで子供を預かってもらえると、仕事の幅が増えるのでありがたい。
- ・急に子供が病気になっても差別偏見なく働ける、超短時間や土日休みでも働ける、バイトでもボーナス時期に寸志が貰える。
- ・急遽休みたい時に臨機応変に対応してくれる上司がいてほしい。定時で帰れるところ。
- ・急遽休んでも変わりの人がいる状況。
- ・求職中でも学童に預けることができる。小学校でもこども園のように一時預かりが出来る。
- ・求職中でも気軽に託児にサービスを受けられる。
- ・究極は、時間と場所に縛られない仕事環境が理想です。その形を今も模索中です。子どもがいる女性に限って言うと、子どもがいることが、就労の妨げになるとあまり考えていません。子どもがいることは家族にとっても、会社にとっても、ひいては社会にとっても幸せなことです。なので、働く女性も、雇う側も、「子どもがいるから働けない」とする必要はなく、「子どもがいる働き方」をすればいいだけだと考えます。しかもその「子どもがいる働き方」をする必要があるのは、本当にたくさん手がかかる、乳幼児期～12歳くらいまでです。長くて12年間です。その間だけ、会社のみならずサポートすればいいと思います。持ちつ持たれつです。会社にとっても、母親である社員の意見は、より深く幅広いアイデアにつながるもので、貴重です。
- ・給与アップ。
- ・給与が十分にある。子供の行事等で休みやすい。職場が近い。6時間勤務が定時で、6時間で正職員になれる。
- ・給与や賞与に影響しない時短勤務制度がほしい。一時預かりを日曜や平日の遅い時間まで実施してくれる施設を拡充してほしい。
- ・給料が一律ではなく、産休・育休・子供の体調不良や行事で仕事を代わってくれた人にその仕事分の給料が自分から減額され、代わってくれた人に入ってくると、子供の有無に関わらず、フェアに働けると思う。
- ・給料が高い。子どもに合わせて出勤退勤できる。仕事の仕方に関わらず、給料の保障がある。職場が近い。子どもの体調に合わせて休みが取りやすい。
- ・給料の安定。子どもの体調不良、学校行事参加の休暇制度。習い事等の援助。車の維持の援助。
- ・給料高め。職場が近い。多様な時間帯で働ける。午前か午後のどちらかを家事育児に当てられる。多忙な月には多忙手当をつけてもらえる。人間関係が良い。夏季や冬季など一週間くらいの休みが取れる。
- ・共働き家庭で手伝ってくれる家族が近くにいない家庭は子供を育てる上で保育園しかなく、かなり辛い経験をしました。病児保育、自分の病院にいきたい時、預かってくれる市のサービスがあれば助かった。子供は中学生なので、一人で留守番もできるが、小さい時は奈良は子育てが難しい市だなあと感じていました。他の市町村からのさまざまな情報を入れて頂き、働きやすい市にして欲しいです。
- ・勤務の日、時間の融通がきく。リモートワークが可能。
- ・勤務体系がフレキシブル（在宅可能）で、その事に周囲が無理を感じていない。育児中かそれ以外かに関わらず、本人が成長を感じられる事を後押しする上司、会社風土がある。
- ・勤務地、勤務時間が選べる。子供を預ける場所、時間を選べる。
- ・勤務地が近い週3日こどもの急な病気などお休みを考慮してくれる土日勤務しなくても良い有給はしっかり

りとれる。

・勤務地は家から近い場所にある。定時に帰宅できる。有給がとりやすい。急な休みに対応しやすい。理解されている。

・勤務日、勤務時間が決まっていること。突然の欠勤に対応できる職場。自宅から勤務地が近い所。

・近い保育園に子どもを預けられる。

・近くに親族がおらず、子どもをお願いできるひとがいません。面接では、家族の理解はありますか？ときかれます。理解してくれるひと頼れる人もいない分、急な休みや早退に理解してくれる会社が多いと働きやすいです。

・近くに働ける場所が少なすぎる。システムエンジニアという職業になるのでどうしても都市集中で大阪ばかりになってしまう。私にとっての魅力的な仕事は大阪にしかなく結局所属するのは大阪しかない。奈良にSEの雇用の窓口を増やしてほしい。もう少し企業を誘致出来ないか。

・近くに両親がいたから子育てと仕事の両立ができたが、職場が何かしらの子供支援をしてくれると働きやすい。

・近くの職場、定時退社、安定した給与と賞与の支給がかなえば、理想的だと思います。

・近所の保育園に何月からでも入れれば、復職がしやすい。

・近隣でつける職場が豊富にあるとありがたい。あるいはリモートワーク対応可能な職場。

・結局は、どれだけ家族や地域などが助けてくれるか、になるかと思う。周りでもなかなか正社員フルで働いている友達はわずかです。働く場所があっても育児支援がなければなかなか女性が働くことは難しいかと。正直色々な負担が増えるだけ。

・健康であれば高齢になっても地域社会と繋がって助け合い出来る社会。

・健康上に問題があっても安心して働ける職場。自宅でも出来る仕事。

・現在、離婚調停中であり、求職中のため早く正職で働きたいです。経験不問になっているのに書類選考で落とされてしまうのは解せないです。家から通いやすく、何かあったときに休みやすい職場が増えると助かります。

・現在の環境が望ましいと考えているため、特に意見はありません。

・現在の職場では時短勤務や有給の取りやすさは大変満足している。通勤時間が短くなればさらにうれしい。

・現在育休中なのでまた仕事復帰予定だが、土日祝休みで通勤時間が今より短く、就業時間が9時17時くらいの仕事があれば多少給与が低くても転職を考える（今の職場がシフト制で土曜勤務の可能性があるので）

・現在子育てで色々な悩みや壁がある中、職場に迷惑をかけることもしばしば。色々な制限があり自由に動きづらい中無理して働くのではなく、同じような境遇の人が集まれる職場であれば、お互い共感し理解できて助け合い気持ちのゆとりができる。結果子供にも良い家庭環境にもなる。一般的な仕事はたくさんあるけれど、色々な事情がある者には諦めてしまう事が多いので。

・現在販売職ですが仕事内容にはほぼ満足です。労働時間が6時間未満、週休3日の条件で、今くらいの収入、時給にすると1500円が理想です。

・現状、子供2人とも発達障害で不登校です。上の子は母子分離不安、情緒不安でデイサービスも2人とも嫌がりずっと家で引きこもっている状態です。私自身は短時間でも外に働きに行きたいが主人の理解も得られず子供だけ留守番は難しく、働きたくても出来ません。

・現状の保育園は定員の問題で入園しにくいので、まずは入園しやすい託児施設があること。職場が近く、家庭の都合で在宅勤務がしやすい環境。

・個人の生活状況に合わせて、就労時間が柔軟に変更出来る環境（子供の病気や精神的不安な時に当たり前のように休んだり、時短勤務できる環境）どちらか一方に大きく育児家事の負担が行かない生活サイクル。

・個人の能力に見合った給与がもらえる。扶養の枠を広げてほしい時給が上がっても上限があり、もっと働きたいけれど働けない。

・個人の理想は、急な子供の病気などに伴う欠勤や早退について制度や人間関係などにおいて気兼ねをしな

いよいよ環境、学童サービスがあるなど。また、自分の周囲の女性（あるいは男性）の状況を鑑みると、出産育児に伴う離職後、独立しフリーランスになる女性（あるいは男性）が多くいることから、自営業者の社会保障の一刻も早い拡充が必要だと感じる人が多い。

・古い体制を改善し、無駄をなくしたスムーズな職場環境（持ち帰り仕事・サービス残業を無くす）能力に見合った収入。

・雇用形態に関わらず、資格に見合った収入が得られる残業が少なくても生活できるだけの年収。

・雇用形態は関係なく能力にみあった給与形態。

・午後までの数時間働いて、午後から家のことをするのが理想。収入さえ追いつけば、今は理想に近い働き方ができている。

・行事や面談などを土日に行ってもらえると助かる。急な発熱などがあっても、そのまま預かってもらえる仕組みがあると大変助かる。何かあった場合、仕事を休んだり早退したりするのは女性の方が多いと思うため、そういうことを無くしてほしい。

・高校無償化になるようですが、所得制限がかかることは不満です。年収900万以上の家庭は所得税も多く支払い、子供の学費も払うなんて。他の子の学費を払っているようなものです。奈良には大企業もあまりなく、そんなに年収900万以上の家庭があるとは思えません。ダブルインカムされている家庭も所得制限かかるようでは、無理して働く意味がないように思います。

・国立小学校に行っていますが、学童がありません。地域の学童は挫折しました。どうして国立なのに財源がないのか不思議です。おかげで仕事はできていません。行き渋りもありますが奈良市の公設フリースクールは4年からで低学年を受け入れてくれないので、行き場がありません。兄弟それぞれの対応で子育てうつ一步手前です。

・今が全てにおいてギリギリの状態です。これ以上は自分がぜったいにもたないです。今でさえもっと時間を少なくして子育てにもう少し余裕を持ちたいと考えています。でも、お金は必要なと、今の仕事場へのギリギリまでの貢献？恩返し？役立ちたい？と言う気持ちがありこの形をとりました。でも子どもが来年から小学校ということもあり今年は仕事について考え直す一年となると思います。職場は有給も取りやすく、急な子どもの病気の休みなども何も言わずに受け入れてくれています。いつも感謝しています。職場内の色々な問題はありますがそれはどこもあると思います。その問題にどうか役に立ちたいと思いギリギリの時間を働かせていただいています。旦那さんはもっと有給を取りやすいようにしてもらいたいです。保育士という仕事は責任がとてもあり、休むことにより自分を追い詰めてしまうこともあり、また職場の雰囲気もあると思いますが、その辺りもどの園もやっていかないとこれからの保育士も嫌になりすぐ辞めるし、育ちません。保育園という場所はもっと一人一人の良いところを合わせられるような形を作れたら良いのになと思います。今は何でも求められてしまい、1人1人にその何でもできないというプレッシャーがあり本当にすぐに辞めてしまったり、育ちません。今の時代にあった保育園になれるようにしてほしいです。ただ、何でも良いと言ってるのではなく、ダメなことはダメはそのまま、して良いことを増やし、1人1人の得意分野を活かせるようになったら良いのになと思います。話が少しずれます。

・今が理想の状態である。元々は定期的に曜日、時間を決めて就業していたが、家族の病気等で働きにくくなった場合はこちらの望む一定期間休ませてもらった。また、現在子供が不登校気味であるので、出勤日、出勤時間、労働時間を決めず、行けそうな時に行くという働き方をさせていただいている。他の方も家庭の都合に合わせて休まれるので、その場合は自分が多目に出勤することもあり、お互い家庭を大切にしながら働くことが出来ている。ここまで自由な状態は難しいかも知れないが、他の職場も家庭の事情に応じて柔軟に対応出来る様になれば、女性も働きやすくなると思う（前の職場は同じ職種であったが、曜日、時間が固定で、1時間もずらすことが出来なかったため現実に続けられず退職した）。

・今でも育児休業給付金をただけでありがたい限りだが、子育てに必要な費用+生活費などで手取り67%（180日後から50%）では多少なりとも生活が苦しいので、男性育休は手取り100%になるとニュースで聞いたが、女性が取得した場合も手取り100%いただけるようにしてほしい。また保育園入所後のフルタイム勤務

ではどうしても長時間保育を頼らなければならないので復帰時は時短勤務など融通の利くようになれば子育てしながらも働きやすい。

- ・今どき共働きは当たり前なので、望む人が全員当たり前前に保育園に入れるようにしてほしい。そうなると働きたい人が働けるようになると思う。

- ・今の環境でお仕事させて頂いていることに満足していますが、主人との日々の家事、育児の負担の割合は多すぎる時があります。営業職の主人は、仕事をしなければ給与は減る一方だし、お客様と会う時間帯は夜が多いので帰宅時間が遅いと家族の時間が少ないので定時に帰宅出来ることが望ましいです。

- ・今の職業を続けていきたいが働く事で生活していける給与がもらえると続けられる。保育園や学童も安心して預けられる環境がある。

- ・今の職場はいつも人手が足りず、雰囲気的に休みにくい状況です。言い出しにくく体調が悪くても平気を装って出勤しています。家庭との両立が難しいと思いつながりながら頑張っていますが気持ちに余裕が無くなり、ちょっとした事で家族に当たってしまう事も度々あり。反省したり...パートなのでもう少し隙間時間の気分で働きたいです！

- ・今の職場はやりがいもあり、実働時間も6時間と働いていて無理がないと感じてはいる。がしかし、同年齢の子育て世代の職員が極端に少なく(19時までの仕事のため)、小さい子どもが熱を出したりしても、職員が少なく不足しているため休みにくい、気を遣う。大変だよ、と理解してくれる人が少ないなあと感じる時があった(勤務するホームでも随分違う)。通常勤務が、13時から19時までなのだが、私は時間帯変更枠という、最近できた、子育て世代の方向けの時間帯で出勤させてもらっている。他の職員より1時間半早いので、気は遣う。たまってる事務や掃除などの環境整備をさせてもらいながら、周りにも何をしてるか周知しながら毎日こなしている。子育てしながら仕事を続けていくには、自分も周りも、心の余裕がないと続かないな~といつも思う。以前いた職場は、人数がさらに少なく、時間帯出勤枠を使えなかったため(職員の理解が得られなかった)、18時まで出勤していて、いつもギリギリに保育園に走っていった。クタクタになり、余裕がなくなり、異動を希望し、今の職場に変えてもらった経緯がある。

- ・今の職場は時給が安く、一年働いても給料が10円あがるかあがらないかなので、給料があがって欲しい。交通費もでないためせめてガソリン代ぐらいは出て欲しい。

- ・今の職場は働きやすいし育休も3年取れるのにも関わらず奈良市が子供が1歳になるまでに働いていないといけないという決まりから奈良市の決まりのせいで育休が取れない。

- ・今は、子供の試合(平日が多い)の都合で休みが取りやすいようにパートで仕事をさせてもらっていますので、昇給などの交渉がしにくい状態です。女性ももっと会社などに話がしやすくなればいいと思います。

- ・今はこどもが小学校低学年なので、平日の週に2日ほどの勤務(昼過ぎまで)が希望なのですが、手が離れてきたら日も時間も増やしていける職場があれば良いと思います。

- ・今は高校生しかいないので必要ないのですが、かつて小学生までを育児していた時に感じたことです。職場内に病児でも預かってくれる保育所があれば助かります。月、火、木、金で働きたい(週の真ん中の水曜日は休みたい)と思っていました。当時はまだ育児短時間勤務が採用されていなかったため、休まずに働きました。夫の留学につきそい一旦仕事をやめました、今はやめずに休む制度が設けられています。その頃は辞めざるを得ませんでした。今はかなり女性が働きやすくなっていると思います。職場の若い子持ち女性をみると、育児短時間を小学校卒業までのばすと働きやすいだろうな、と感じます。育児短時間勤務ができなくなれば常勤から非常勤にならざるを得ない、という声を聞きます。

- ・今は自宅で仕事が出来、実家も近くに引越して来たが、1番上や2番目が小さい時は実家も遠く、近くに頼れる人がいなかったため、子どもたちはよく熱を出すので働きたくても、躊躇していた。そのあたりがクリア出来る環境になれば就労しやすくなると思う。体調不良で預かってもらえる場所が拡大される、また職場の理解。

- ・今は派遣先によって通勤時間が変わるため、職場が近く保育園のお迎えなどしやすい環境が理想です。企業内に託児施設があるのもとても魅力的に思います。

・根本的な問題は配偶者控除があることだと思います。多様な価値観、多様な働き方を柔軟に認めて、男性優位の社会（一部の業種は女性多数ですが）を解消できることだと思います。女性の多い職場でも、保育園などでは子供を産む順番などが決まっていたり、予期しない妊娠によって職場を離れさせられたという話も聞きますので、福祉関係従事者への賃金をもっと上げ、余裕のない状態から脱することです。しかし、少子化が進み人手不足が解消できる見込みは薄いので、悩ましいところです。就労は、その人の能力に見合ったポジションがあれば本人の意思があれば可能だと思っています。

・最低賃金上がるからやっと思給が上がるのではなく、勤務期間や頑張りに見合った給与がほしい。子育てしながらの勤務はやはり大変。幼稚園の頃は送迎もあったし、病気になることもある。朝の家事 + お弁当作り、仕事帰ってからの食事の用意はしんどい。だからといって外食やテイクアウトの食事にしてしまうとお金がかかり罪悪感、そして自己嫌悪。我が家は夫の両親と同居なので、大変な面もあるが、子供の急な帰宅や欠席でも置いて仕事に行けるので安心だし、晩御飯を作ってもらえたりする。仕事場が近いので留守のときは学校帰りに仕事場に來れる環境ありがたい。まだ子供が小さいので優先的に日曜日を休みにしてくれる仕事場にも感謝している。

・最低賃金を大阪や京都くらいにあわせる。能力によって勤務時間を短くしたりする。

・在宅、または近場で働いて、遠方の両方の親も高齢なので、長期で休めたり、休暇が自由にしやすいといい。中国語を勉強しているので、何か役立つ仕事があったらぜひやってみたい。

・在宅・託児所等子供を近くに置いて仕事を気にせずできる環境があれば働いてる間、いつ呼び出されるかの心配なく働ける。

・在宅で仕事か、子供の学校の近くで就業。子供の学校に行っている間に仕事。子供の病気の時には気軽に休める。

・在宅ワーク。

・在宅ワークが可能で、無理なスケジュールのない仕事であれば、子どもの急病や学級閉鎖に対応しやすくなると思います。子どもや家族の心の安定のために、子どもや家族としっかりと関わっていく時間の確保を最優先におきたいと思っています。地域のボランティア活動などにも経済的価値が伴えば、一番自然な働き方なようにも思います。

・在宅ワークが主流であること。有休以外の子供の看護休暇があること。賞与があること。夫婦共に在宅勤務やフレックス制であること（定時制だと朝は父、夜は母と固定になってしまい、負担が偏り、母は常に時間制限を意識して行動することになることが負担。臨機応変に朝晩の担当を変えられるようにしたい）。

・在宅ワークや出勤をうまく組み合わせ仕事と家事育児をこなす。時間給の支払い方など評価の基準が曖昧になるかもしれない、朝から夜まで拘束される働き方は厳しい。ただ長い目で見ると昇進は期待できないので不安はある。

・在宅勤務短時間のアルバイト子供が園や小学校へ行っている間のみ可能。

・在宅勤務ができ、仕事と家庭の両立をしやすくしてほしい。3歳児クラスからの無償化ではなく、3歳を迎えた翌月から無償化にして欲しい。

・在宅勤務ができる。能力をいかせる仕事をまかせてもらえ、かつ自分の裁量で、ペースで仕事が行える。曜日や時間にしばられない。

・在宅勤務が可能。フレックス勤務などの裁量労働制。同居家族もしくはファミサポ等による送迎支援。リスキリングのために気軽に利用できる土日預かり（小学生以降も）。

・在宅勤務はフレキシブルな働き方が出来る。昇給が見込める。家庭と両立が出来る。

・在宅勤務可能。フレックス利用可。正社員で勤務地が自宅から近い。

・在宅勤務可能で、保育園や小学校が近い。希望する保育園に通園でき、学童へも臨機応変に入所可能。そして母方の実家が近い事、など。

・在宅勤務且つ土日祝日休みで、子供と過ごす時間を大切にしたい。

・昨年育休から時短勤務で復帰しました。一人目はフルタイム復帰でしたが今回の時短の楽さに感動してお

ります。今はキャリアアップよりも仕事と子育ての両立を目指したいので、そういった働き方に理解のある職場環境であるとありがたいです。

- ・残業ありきの業務量を見直し、お互いを理解し、助け合える環境が理想。
- ・残業がないこどもの行事や体調不良時に休みやすい職場が近い車で通える。
- ・残業がなく 17 時に退社できる職場。保育園が 19 時まで（18 時半からは有料）なので。
- ・残業が少ない子供の授業参観の時など休みやすい家庭の状況に合わせて正社員やパートに変更してもらえるとありがたい。

・残業が少なく、家での生活に負担のかからない仕事。  
・残業が少なく、休みが取りやすい。（人員に余裕があるか。）一緒に働く方たちが子育てに理解がある。仕事から帰宅後のご飯作りがバタバタなので、宅配サービス等の利用がすごく有難い（買い物に行かなくて良い分、子どもとの時間も増える。食材キットなどの利用で、家事負担の軽減にもなる）。

・残業が少なく、業務分担の相談がしやすい職場、学童に 18 時までにお迎えに行ける勤務地＝奈良市内。お母さんというのは家の事、子供の事を気にしながら働いています。学校から連絡があるとドキッとします。いつでも帰りやすい、業務をお願いしやすい環境があれば安心です。

・残業が少なく可能な限り定時にかえられる。また、子どもの体調不良の際など休みやすい職場。今は子どもたちも大きくなったので特に満足しています。

- ・残業と休日出勤が少ない職場であれば、私生活も充実すると思います。
- ・残業代がきちんと支払われる。育児時短勤務やフレックスタイム制度が名ばかりではなくきちんと取れる。定時に帰宅できる。有給がとりやすい。

・仕事が休みの日も 18 時半まで預かってくれる保育園。パートと社員の格差が少ない職場での勤務。育児に関して有休以外に休暇が取れる職場。

・仕事が終わったら子どもと一緒にご飯が食べられる安価で親しみやすい地域食堂があったら利用したい。お弁当の持ち帰りも可能なら嬉しい。仕事が終わってから晩ごはんの用意をするのがとても大変で疲れる。

・仕事で結果を出せば会社から待遇は良くしてもらえる必要とされる人財になればよい子どもたちと、日々話し合い、勤務時間などできる範囲で調整すればよい家にべったりいたければ、それなりの生活になることを子どもたちに納得してもらえばいい習い事や、学校に金銭的に影響が出る方が子どもたちのためにならないと思う子どもたちは、私の仕事に誇りを持っているようで、励みになるとは言っても、会社の中では残業がなく勤務時間は全国上位レベルで少ない。

・仕事と家事育児のバランスが崩れると女性に負担がかかると感じる。基本仕事をする平日はどうしても家事育児の負担は女性にかかりやすいと感じているため。2025 年には配偶者控除がなくなるかもしれないと思いますが、それでは女性が働きやすい環境になるとは思えない。逆に働くことを諦めなければならない可能性もあるように感じる。控除を撤廃するのではなく、控除の壁を広げて欲しい。例えばパートで時給が上がっても結局控除の壁があると意味がなく昇給によるモチベーションがあがることはないし、だからといって控除がなくなれば女性は手取りを得るためには仕事の割合を大幅に増やさなければならないのでそうなると家事育児がないがしろになるのが目に見えてしまう。私個人としては子供にもしっかり向き合い家族との時間も大事にしたい。ベースの考え方にそういう女性、母の想いがのった制度が作られていくことを願います。

- ・仕事のやりがいがあって、子どもの行事など休みやすい環境。
- ・仕事は今のままで満足しているが、自治会の仕事により、子供との時間や家事に支障をきたしている。公民館の運営等を行政に助けて欲しい。

・仕事をする上で 1 番悩んだのが出産と育児です（2 人目出産時に正社員を辞めざるをえなかった）。産休、育休はもちろん、子どもが小学生くらいまでは、急な子どもの体調不良等で仕事に支障がでることが本当に多いので、職場や同僚になるべく迷惑をかけず休んだり早退したりできる仕組みがあれば良いなと思いました。

・仕事内容についてはやりがいを感じているので、自分にとっては始業時間について相談できる職場が理想的だと思います。夫婦で時間をずらすことで、お互いの生活が上手いことまわっているような気がします。

・仕事内容に見合う昇給（時給アップ）有給の取りやすい環境。

・仕事量・内容に見合った給料がもらえる。職場が近く、有給が取りやすいのが理想。育メンなど男性の育休休暇取得など、とりあげられているが、ほんの一部の大手企業だけで大半はまだ簡単に取りえない現状。40代以上の男性は、両親世代が父は働いて、母は家庭を守って世帯が多いため、積極的な育児・家事参加の認識がない。そのため育児・家事に「手伝い」という言葉が入ってくる。2人の子供なのに入学前説明会や参観など、育児や就学イベント、地域・自治会活動に主で動いているのは母親であるため、共働きが当たり前の現代では圧倒的に女性が不利。家庭を持ったら、男性も家事、育児をするのが当たり前の認識の世の中になってほしい。「手伝い」じゃなく、自分の子供・家庭のために動くことは当然だと思います。その認識が広がり協力を得られると、働きやすくなると思います。

・始業時間が遅くても大丈夫で、子どもの体調で休まなくては行けない場合は制限なく特別休暇がとれる職場。働きながら育児をしていると、1人でゆっくり気分転換、ストレス発散が難しいので、土曜日の午前中や午後だけなど短い時間でいいので保育してもらえるサービス。夫婦共に定時に帰宅可能。

・子どもがまだ小さいので長く一緒に居たい気持ちが強いです。はやくお迎えにいて夕食作りを一緒にしたり、一緒に遊んだりしてからお風呂、就寝が出来るのが理想です。保育教諭をしていますが、収入は少なく、持ち帰りの仕事もある為、おうちに帰ってから子どもとゆっくりなかなかできません。保育士、保育教諭などの職種の収入が少しでも上がれば時短で働き、子どもとの時間ももう少し取れるのではと思います。これから、見直されることを願って、頑張ります。お母さんたちが、子どもたちと余裕をもって関われる未来になればと思います。この様な、アンケート調査を実施していただきありがとうございます。少しでも声が届けば嬉しいです！

・子どもが安全に生活できる環境が整えば多くの女性は働きにでたいと考えていると思います。企業内保育の義務化（街の調剤薬局みたいに地区の保育園を共有する）等、雇う側にある程度の負荷をかける事により無理な勤務形態や保育園からの要望が減少するのではないのでしょうか。

・子どもが学校に行っている間に出来る仕事職場が近く、平日の学校行事にも休みを取りやすい。

・子どもが学校に行っている時間帯、家事や用事を出来るよう週3～4日の勤務。

・子どもが学校に行ってる間だけ働きたい。

・子どもが学校に通い出してから働くことを考えていますが、そのときにはもう年齢も40なのでその歳からほとんど社会経験のない自分を正規で雇ってくれるのかと考えると正直難しいのではと思う。介護の仕事がしたいという漠然とした思いはあるものの、その頃には親の介護ものしかかってくるかもしれないし...。夫が精神的な病気で休職中なのもあり、今は生活に不安しかありません。

・子どもが急に発熱したときなどに「何も気にせず」休める環境が理想です。そのためには他の職員に躰寄せがいてしまうと「何も気にせず」休むことはできないので、次回出社したときに自分自身でカバーできる、もしくは自宅でも仕事ができるようになるなど、柔軟な働き方ができるとありがたいです。

・子どもが急病の場合や休校になった場合に、休みが取りやすい職場環境であること。また、仕事を休まなくても済むように病児保育の充実や学童保育の利用条件の拡大。奈良市の学童保育は、警報が発令されて学校が休みになると学童も閉所されてしまいます。何のための学童保育なのか...

・子どもが健康である。両親や義理両親が近くに住んでおり、健康に暮らしている。両親や義理両親と良好な関係を築けており、育児において協力を頼める。安心して預けられる保育園がある。夫婦で話し合う良好な関係が保っている。夫婦共に家事育児仕事において、全てフィフティーフィフティーで分担できる。職場が近い。土日に休める。安定した収入が得られる。私自身、夫自身がそれぞれにリフレッシュできる趣味や人間関係があり、それに費やす時間やお金が確保できる。

・子どもが好きで務めているのに、仕事が早かったり遅かったりと我が子に負担をかけていることに辛く感じる。遅くまで預けられる保育園を作るより、みんなが早く帰れる仕事の仕組みが必要。職場で預かる子どもたちにも、朝早くから夜遅くまで過ごす子がいる。家庭で過ごす時間が子どもたちにとって何よりも大切なことを忘れないで欲しい。



・子どもが小さいうちは短時間勤務。大きくなるにつれて可能性な時間勤務ができるように。能力に見合った給与・昇給。有給が取りやすい。

・子どもが小さいと病気になりやすく、仕事を休まざるを得ないのが問題。病児保育をもっとやりやすいものに充実させてほしい。

・子どもが小さい間は、短時間勤務もしくは、パートに変更可能で、余裕が出てきたら正社員に戻れるなど柔軟な対応。基本的にリモートワークができるなど。

・子どもが小さい間は十分に関わり子育てをしていきたいので、子どもの就学前まで時短勤務ができれば正職でも働きやすい。仕事がシフト制で、時短勤務が終わればシフトに入らなければならない、そうすると子どもの送迎や保育時間に間に合わない。仕事は経済的に辞められないがシフトにも入れない、ということになり正職を辞めなければならないかもしれないという不安がある。

・子どもが小さい時は子どもの安全安心を守れる環境を優先したかったので、仕事が自分一人だけであるのではなく、複数人で共有していた仕事なのでお互いに急な出勤変更ができる環境でとても助かりました。職場の理解があり学校行事なども参加できるよう、出勤時間の調整もできました。遅れて出勤する、早く退勤するなど。子どもの成長により勤務時間を伸ばしていきました。あとは配偶者控除や社会保険料などの制度が変わればもっと働き方を変えたい、勤務時間を増やしたいと思っています。

・子どもが小さな間は学校にいる時間だけの勤務。長期休みには仕事も休めるのが理想。

・子どもが小学校に行くのを見届けてから出勤し、子どもが帰ってくるまでには帰宅したい。女性だけでなく男性も家族のために休みを取りやすい環境が良い。妊娠中などは出来るだけ在宅で仕事をしたいが、せっかくテレワークを取り入れた企業も、コロナが5類に変更されてからは結局出社するよう指示してくる。通勤時間がもったいない。冬場などは体調も崩しやすい。子育て世代の女性がフルタイムで働くには、子育てを誰かに丸々依頼しないと難しい。子どもの体調不良などでの急な欠勤は昇進すればするほど不可能に近い。しかし親世代もまだ働いていることが多く、別居なためフレキシブルな対応は難しい。男性は女性以上に仕事を休めない。結果的に女性が勤務時間を調整するか、退職することで対応する。子育てしつつ、家事も負担し、さらにフルタイム勤務は不可能。そのためパートタイムや時短での勤務になる。せめて税収が減ればと思うが...1人育児なためまだ何とか貯金などもできているが、2人目を育てられる自信がない。

・子どもが小学校に通っている間は時短勤務が可能であり、また時短勤務をしていることが昇級の妨げにならないこと。普段子どもと過ごす時間が限られるため、休日に子どもとリフレッシュするようにしているが、奈良には子どもと遊べる施設、公園（大型遊具などがある）が少ないと感じる。

・子どもが小学校や幼稚園に行っている間に働きたい夏休みなどの長期休みの時に休みがとれる仕事があればいいなと思います。

・子どもが小学校を卒業するまでは、子どもと過ごす時間を大切にして、育児に専念したいです。時間の融通の効く環境だと良いと思います。

・子どもが小学校中学年くらい（自分である程度生活出来る）までは、時短勤務が自由に取れる。夫婦共に定時帰宅が可能。

・子どもが小学生のうちは、仕事と家庭がうまく両立する程度の働き方を続けたい。子どもの急な体調不良の際、休みを夫婦で分担して取れており、とても助かっている。また自分自身も資格を活かした職につき、勉強も継続することで、今後自分を取り巻く環境が変わっても、柔軟に進んだり止まったりできるような力をいつも身につけていたいと思っている。

・子どもが小学生までは、子どもと同じ土日休みで、子どもの用事や急な発熱などでも休める環境。旦那が交代勤務なので平日の用事やごはん作りを頼めることも大きいです。子どもが中学生になり、土日に働きやすくなりました。子どもの成長とともにこちらが動きやすい時間帯も変わるので、それに合わせて働けたらと思います。

・子どもが生まれてからの就職経験がなく、この先社会復帰するのは不安しかありませんが、休みが取りやすいことと急な休みでも対応してくれるような職場であれば小さい子どもがいても就職できるのと思っています。

ます。そうなると同じようなママさんばかりの職場になるのかなと漠然と考えております。

- ・子どもが体調を崩した時、気軽に休める環境。能力に見合った給料。バンピランチの充実。警報がでたさい、バンピホームでお迎えまで預かってほしい、すぐにお迎えに行けない為。

- ・子どもが体調不良の場合、快く休みを取らせてもらえる。急な学校の行事に対しても、有休を使って休みを取りやすいように配慮してもらえる。男性にも積極的に育児に関わってもらえる環境を会社が推進する。

- ・子どもが体調不良等で休みの取りやすい、または人間関係のよい職場がたくさんあると、育児中の女性でも働きやすいと思います。

- ・子どもが乳幼児の間は、短時間勤務でも十分な補助金がもらえて、長時間母親が働かなくともお金に困らない環境が必要だと思います。1歳児が朝の7時から夜の7時まで保育園に預けられている環境では、母子の愛着関係も定着しにくく、その後の子育てに苦労され、子どもの成長にも影響が出てくるであろうと危惧しています。

- ・子どもが熱などで急に休まないといけなくなった際にも、気軽に連絡でき、職場内でお互い助け合える環境が理想です。

- ・子どもが熱を出した時等に代わりの方がすぐに見つかり、しっかりお休みを頂ける環境、有給が取りやすい。風通しが良く、意見が言いやすい職場。意見が反映しやすい職場。お互いに信頼し合い、フォローし合える環境。新しい内容等、常により良い方向へバージョンアップしていこうという向上心や挑戦を応援する職場。

- ・子どもが病気の時に預かってくれる病院や施設。中学生になると預かってくれるところがない。

- ・子どもが病気の時休める。定時で帰宅。職場が近い。

- ・子どもが風邪などで学校を休んだ時に、配偶者か両親など、一時的にでも子どものことをみてくれる人がいる環境。

- ・子どもが風邪をひいたりしたときに休みやすいか預けるところが完備されてるところがある職場がいいです。

- ・子どもが夜の時間帯でも私がいなくても大丈夫なくらいに成長しなければ、私は働けない。かと言って夜にどこかへ預けてまで働こうとは思わない。

- ・子どもタクシー。職場が近い。子育てに理解のある職場。食事の宅配（Uber）などが充実している。子どもが安心して遊べる学童以外の場所。

- ・子どもとの時間が足りないため、夫婦ともに時短勤務や定時帰りができる環境。子どもが中学生になるまで時短勤務可能な環境。子どもの病気での休みなどは病気休暇などが欲しい。学童保育の充実。

- ・子どもとの時間をある程度確保しながらも働ける環境（時短でも持ち帰り仕事しなくても良い職務内容）。

- ・子どもと家庭を優先する働き方を理解して頂ける職場環境正社員雇用優先ではなくてパート勤務やフリーランス勤務でも預けやすい保育園がある。

- ・子どもと過ごす時間も大切にしながら自分の能力を社会で活かせる場所で働きたい。職場は自宅から近い所が良い。家族の状況変化にも対応し就業時間を変えることが出来るとありがたい。

- ・子どもにまだ手がかかるので、私は在宅または、小学校が終わる時間までに家に入れることが理想。

- ・子どもに何かあったらすぐに迎えに行けるような職場。誰かが抜けても仕事をカバーし合える職場。

- ・子どものことを、もっと広い定義で見守ってもらえる環境。最近物騒で、1人で通学させるのも怖い。家事をアウトプットできて、女性だけが抱え込まなくても良くなって欲しい。今でも、食事は母親の手作りが理想だと言われすぎて、みんなしんどくなっている。作りたい時は作ればいいし、しんどかったら宅配や惣菜でもいい。だから、もっと栄養面を考えたデリバリーがあったらいいのに、と思います。しんどい時は、ちょっと贅沢だけど栄養面に気を遣っているものを頼めたら、罪悪感も減るかもしれません。あと、ワークホリックになる職場環境の改善を求めます。夫は在宅で仕事できるようになり、実質、以前よりも仕事をしています。給料の額や家事の負担割合でイライラするのではなく、夫婦がお互いに感謝を伝えあえたら、もっと家族や社会活動が上手くいくと思います。率先して「ありがとう」と言えるようになったらいいのに。

- ・子どものための休みが取りやすい。賃上げを期待できる。能力を高めるための研修制度がある。

・子どもの学校（特に長期休暇）の都合で気兼ねなく休みをとらせてもらえる職場。長男をバンビーホームに預けていた時期もありましたが、せめて小学校中学校の時期はやはり母親はできるだけ家にいて子どもに「おかえり。」と言ってあげられる環境がベストだと思う。子どもも安心できるだろうし。なので、働く母親も子どもが学校行っている間に働き、帰ってくる時間には終業できるような時間帯で働くのが今はベストだと思う。将来的には実家の山間部で農業をしたいという夢も持っている。（自身の老後の為にも）そういう勉強もしたい。

・子どもの学校の予定や体調に合わせて、有給取得や早退がしやすい職場環境であること。

・子どもの学校行事に参加のことなどを相談しやすく、仕事のキャリアアップにも自主的に取り組みやすい環境。

・子どもの学校行事や下校時間に合わせて働いているので、就業時間や休みがある程度自由にできる職場がありがたいです。

・子どもの急な体調不良時にも安心して仕事が休める環境。また参観や懇談にも参加しやすい休みの体制。学校側もお知らせや決定を早くしてくれることで、体制が作りやすいと思う。働く側も意見が言える人と言えない人で、差がついてしまう。言ったもん勝ちにならない職場の環境づくりも必要だと思うし、働く側も主張し過ぎないようにする必要があるように思います。

・子どもの急な体調不良等の休みにどれだけ周りがフォローしてくれる体制があるかどうか。子どもの世代が同じだと休みなども被ってしまうが、色んな世代がいてとフォローしてもらいやすい

・子どもの急な熱などで、仕事を休まないといけない時に休みが取りやすい環境。

・子どもの急な発熱等で休まなければいけない時、快く対応してくれる職場。遅くまで開園・開所している保育園や学童。身内だけでなく、安心して利用できるまわりのサポート体制。

・子どもの急な病気やケガの際に早退できたり休みが取れる職場。

・子どもの急な用事などに対応しやすい。周りに子育てに協力してもらえる環境が整っている扶養控除の130万円の壁を気にしなくて良いリモートワークなどが充実している。

・子どもの急病などで気まずい思いをせずに早退や欠勤を受け入れてくれる環境。

・子どもの行事や体調不良での休みに対応してもらえる。中学卒業までは定時での帰宅。

・子どもの就学中は学校行事や夏休み、病気など子どもの生活サイクルに合わせて休暇や預け先がある。通勤時間が短い。預け先と職場、子どもの就学先が近い。定時退社が可能。女性だけでなく男性も同様の環境であること。

・子どもの習い事などを通わせながら働きたいが、小学低学年の子どもは昼過ぎに帰宅する上、その時だけバンビの利用をすることもできない。民間でもいいので低学年児童を預かってくれるサービスや、働く時間が自由に選べるようになれば働きやすくなると思います。

・子どもの小学校入学を期に、非常勤勤務としました。在宅勤務&時短でないと子どもに手をかけられないと感じたからです。実際に、意外と学校行事、学級閉鎖...対応を迫られます。子育てだけでなく、介護や看病、自身の通院等、男女問わず生活と仕事を分断せずに働けると理想だと思います。

・子どもの世話の負担があり、時間も限られ自分が好きな仕事ややりたいことが見つけれられないし、あきらめて見つけようともしていない。そのような負担や時間の制限を取り除いてくれるような柔軟な考え方の経営者や自治体、国になって欲しいと思っています。年寄り中心の政策ばかりの現状にがっかりして、毎日が楽しく過ごせません。

・子どもの体調が悪いとき、休みやすい職場環境が理想です。

・子どもの体調が悪い時に、休みを取りやすかったり早退しやすい環境が理想。保育園勤務だが、「休みが取れないから」と、しんどそうな子どもを預けなければいけない人や子どもが39度の熱を出しているのに、迎えが遅くなってしまったり...。しんどい時は尚更、家でゆっくりしたいのに、賑やかな環境で1日を過ごさなければいけない子どもがあまりにも多く、胸が痛い。安心して仕事を休める環境が整っていただけたい。

・子どもの体調不良でも、休める環境がほしい。自分一人がいないとまわらないギリギリの人数での労働環

境はしんどいので、ゆとりがほしい。働き盛りと、子育てと二重になってしまうので、どっちつかずになってしまうところを行政でもカバーして欲しい。

- ・子どもの体調不良など、急な休みの申請も気兼ねなくできる。延長保育料がかからなければいいのに。平日に仕事が休みでも気兼ねなく保育園に預けられればいいのに。リフレッシュしてくださいと言ってくれると嬉しいし、気分転換にもなる。

- ・子どもの体調不良や警報などで休まざるをえない時に嫌な顔をされない。有休を取りやすい。職場に子育てに関して理解してくれる人が多くいること。9時始業の会社が多いが、10時始業の会社が増えると良い（お店ではなくて会社）。冬は暗くなるのが早いので、学童にいてる子どもがひとり帰りをするのが危険なので、時短で仕事できたら良い。奈良の会社で、一週間に3日在宅ワークで、2日は出勤などのバランスで仕事できたら嬉しい（完全在宅だと社会との繋がりを感じにくい）。最低賃金をもっと上げてほしいし、子育てにお金がかかるので、働ける時間はガッツリ働きたいが、103万の壁があるので、結局働くことができない。

- ・子どもの都合（病気、学校行事など）に合わせることが可能な職場環境。フレックスタイム制度。
- ・子どもの都合で柔軟に勤務時間を調整できる。
- ・子どもの都合に合わせて休みやすい。安価で預けられる場所。
- ・子どもの突然の病気時に休みが取りやすい。子どもが帰宅するときには家にいれるような勤務時間。
- ・子どもの発熱などの急なお休みでもとりやすい、短時間勤務、週2,3日程度の小日数勤務、Wワークでも税金関係の手続きが簡単。

- ・子どもの発熱などの急なお休みに対応してもらえると。できれば17時に退社できるところ。
- ・子どもの発熱などの時に、気兼ねなく休む事が出来る環境。
- ・子どもの放課後の時間を子どものサポートに使いたいため、学校に行っている時間に合わせて働きたい。また通勤時間はなるべく短いほうが良い。低学年の子どもが学校から帰る15時に家にいられるような、勤務時間を増やしてほしい。休憩や昼ごはんは不要なので、9時10時から14時で働けたらと思う。求人を見てみると時間応相談というものもあるが、上記の条件を出すと嫌な顔をされるのではないかと、実際働き始めると肩身の狭い思いをするのではないかと思ひ、応募に二の足を踏んでしまう。

- ・子どもの預かり先などのサポートについて、体制は整ってきているし、子どもからは手が離れてきたように感じるが、それでも自分が思う存分に働けないのは、家庭内の家事の多さにある。就業前も後も家事が控えていることを思うと、フルタイムではとても体力が持たない。結局夫の収入がメインになるし、夫の職場環境により、自分が時間に融通をきかせ、労働時間をセーブするしかない状況である（夫のサポートをあてにできない状況）。女性の社会進出を促進するための仕組みづくりも大事だが、男性側の意識、企業の意識が、女性が働きやすい環境づくり、雰囲気作りに向けて行けばもっと働く女性が増えるのではないかと感じる。

- ・子どもの幼稚園や小学校の時間内で働けて、子どもの学校行事や急な体調不良でも休みが取りやすい。
- ・子どもの用事で休みを取りやすい環境。
- ・子どもを安心して預けられる場所とそれにかかる費用の軽減。希望の保育園に入れず、一時預かりを利用していますがとにかく高い...働いても意味がない。

- ・子どもを安全に任せておける場所があれば働きやすいと思う。働く時間を可能な限り聞いてくれる会社が増えたら働きやすくなると思う。

- ・子どもを生活の中心に考えても、許される環境。熱を出したらすぐ迎えに行ける、休みをとりやすい、勤務時間を調整できる、など。

- ・子どもを優先して働ける職場がもっとあれば。子どもを持つ親が偉いわけではなくて、理解をしてもらえる環境が増えればいいと思います。

- ・子どもを預けなくてもいい環境。共働きしなくてもやっていける年収があればいいのになと思う。せめて中学生になるまで。または子どもを遅くまで預けなくても働ける環境。私は自分で子育てするべきと考えたので配偶者だけの収入でなんとかやってこれた。これでももちろん蓄えなどできるわけではない。それでも最後まで自分で育てあげられたことに後悔はない。子どもたちといろいろな経験を共にできたとし、子どもにはかなり手

はかかったが、不満はない。仕事を言い訳に家事育児、学校行事等逃げたくはなかったのもある。それで逃げてる人が多い。子どもを預けなくてもやっていける社会なら、もっと子どもと向き合える親が増えて、子どもにまつわる社会問題なども減るのではないかと感じる。

・子ども急な発熱等でも休みやすい環境。子どもの夕方までの預かりに加え、習い事の送り迎えをしてもらえるサービスがあればパートではなく、正社員として働きたいです。・子の急病などがあった時に、休みをとることができる、ゆとりある職場の人事。たとえば3人の母親に、2人分の働きを期待する体制など。保育所の受け入れを増やしてもらおう。19時まででなく20時までなど、受け入れ時間にもゆとりをもたせてほしい。奈良県外で働く身としては、より早く職場を離れねばならず、肩身の狭い思いをしていた。

・子の体調不良等でも休みやすい・代わりに仕事が進む職場であること。遅くまで就業・就学（学校種別・在学の有無は問わず）しても預けられる園・学童があること。

・子は宝が、言葉でなく社会全体の常識であれば、嫌味も不当な扱いも無くなると思いますジェンダーやその他人権と同じく、純粋に仕事の能力で判断されたいと思っています。

・子育てしているので働く日数や時間が選べると働きやすい。

・子育てしている間は、残業が少なく有休が取りやすい、子どもの急な体調不良でも休みやすい環境であれば働きやすい（現在はほぼこのような環境）。子育て無しならば、能力や業務内容に合った給与。

・子育てしながらの仕事は、子育てに支障をきたすこともあると思います。そのあたりの整備がしてから、働く女性進出が必要だったような気がします。

・子育てしながらフルタイムで働くのは困難な為、2人で1人分位のワークシェアリングを望みます。

・子育てしながらリスクングとかいう言葉で勉強し直しを強要する時代背景は情報操作されすぎておかし。リスクングなどしなくても日々効率の向上はしている。資格で人を見ないでほしい。子育てしやすいかなんて聞くだけナンセンス。本気で政策を考えたければせめて片方の収入で十分に収入があればいいだけ。簡単。

・子育てするのになるべく多くの給与が必要だが、子供との時間もたくさん作りたい。子供との時間を多く取りたいければ、働く時間を短くすればいいのだが、生活を豊かにするにはお金が必要。とても矛盾していると思うが、自分はどちらを優先するべきなのかといつも迷っていた。今は子供も大きくなってきたので、自分の思うように働けばいいと思うが、小さなお子さんがいる家庭はやはり大変だろうと思う。高時給にしていただけ、パートで短時間でも多くの給与を得られるようになるとういなど思う。

・子育てで仕事の時間が短くなってもある程度収入を確保できる環境。子どもの体調不良などで休みやすい環境。

・子育てとのバランスが取れる。急な子どもの病気や、行事などに出勤調整がきく。就労内容にみあった給与がもらえる。職場が近すぎず遠すぎない。働きたいと思った時に、待機問題などが無く、預け先をスムーズに見つけることができる。

・子育てと仕事の両立。時短勤務などもう少し子供のいる世帯に配慮のある環境。給料と仕事内容の割が合っていない。子供中心社会ではない。ライフワークバランスが整わなければメンタルが持たない。仕事のせいで、させてあげたい習い事もできない。子供と関わる時間が主婦と就労女性で差があるのはどうかと思う。子供の経験や知能に差が出る気がする。女性に働けと言う割に環境が整っていない。看護職をしています、社会への不満ばかりです。

・子育てなど関係なく就労時間が短くなり、自分時間を持ちながら働ける環境がほしい。社会は変わりつつあるが幼少期から男女の事を知り人として学ぶべき。

・子育てに支障が出ない範囲で働きたい、ちょっと働きたい、という女性が多い。その中には能力が高い人も多いが、配偶者が高給だったりでガッツリ働く必要がない。そういう短時間なら、週に2、3日なら働きたい、という人専門の登録派遣会社などがあればいいと思います。

・子育てに対して両親の協力があり仕事を続けてきましたが、子供の年齢で時短勤務が取れなくなり、両親は高齢となり子育てや家事の協力へが負担になりつつあり、長時間勤務による私自身の体調不良の関係で28年間勤めた職場を3月末で退職することを決めました。子供の年齢に関わらず時短勤務が選択可能や長時間労

働にならないような適正な人員配置などにより仕事と子育てを両立しやすい環境、子育てだけでなく趣味や休養の時間がとれるワークライフバランスのとれた生活ができるような職場が理想です。

- ・子育てに対する理解がある。
- ・子育てに理解ある職場が理想です。男性が変わらないと、世の中良くなれないと思います。
- ・子育てに理解があり、それなりの収入がある。資格取るための補助やサービス。
- ・子育てに理解があり、休みやすい職場フルタイムではなく週3日などプライベートも充実できる勤務社会保険に入っても手取りがマイナスにならないくらいの給与。
- ・子育てに理解があり、子供が熱等の体調不良の際は自分だけでなく、旦那も迎えに行けるような環境（旦那にも有給をとらせてほしいが中小で少数精鋭で営んでいるためかなり難しい）。
- ・子育てに理解があり、子供を預かってくれる施設が充実している事、残業が無い事。
- ・子育てに理解があり、能力に見合った給与がもらえる。
- ・子育てに理解があり協力的である（子どもの体調が悪い時など速やかに早退したり休めたりする事、定時退社が保証されている）環境。週に3、4回までの勤務だと負担が無くて良い。
- ・子育てに理解のある職場。
- ・子育てに理解のある職場（時短制度や休みが取りやすい、子育て中や介護中の人それ以外の人も気軽に休みが取れる仕組みがある）で、通勤圏内で複数の選択肢があるのがベスト。
- ・子育てに理解のある職場環境。病児保育が充実しており必ず預けられる。
- ・子育てのため、定時に帰れる職場環境にするためには、サービスを精査し、残業ありきの働き方を考える必要がある。またフレキシブルタイムや在宅ワークをどの職種でも、ある程度取り入れるべきだ。また様々な形態の子どもの預かり場所があってほしい。
- ・子育ての経験をいかして小さな介助ができる仕事、農作業など少しの時間手伝いができる仕事。
- ・子育てへの理解がある、融通がきくこと。
- ・子育てや家庭を優先できる環境がある、子育てや介護をしていても力や知識を発揮できる、職場が近い、働く親のコミュニティがあり悩み相談などができる、夕食づくりの補助（配食など）。
- ・子育てや老後に不安なく給与がもらえる。配偶者に十分な収入があれば無理に働きたいとは思わない。子育て第一で時間に無理なく働けるのが理想。正社員だと17～18時定時が多く、収入が少なくとも今はパートでの勤務が妥当。
- ・子育てをしているとなかなか転勤で遠い所へは行けないので、エリアを限定して働いたとしてもそれを理由に減給されないこと。公共交通機関の利便性は重要だと思う。どこに住んでいても、どこの地域へもアクセスしやすいことは子育てしながら働くときには重要だと思う。保育園まで、駅まで、バス停まで、あちこち自転車や車で回らないと行けないのは働きながらはきつい。またスーパーやコンビニなどの商業施設が潤沢にあることも必要だと思う。住宅密集地だと余計に需要はあると思う。女性活躍社会ではあると思うが、実際はそこまで昇進を希望している人はそんなにたくさんはいないと思う。上を目指すより、今いる立ち位置でも、真面目にしっかり働いている人には子育てしていても困らないくらいの給与を補償してほしい。早退や急な欠勤、働くエリアの縮小、時短勤務などで、給与が少なくなってしまう。周りに迷惑をかけてしまっているからしょうがない事かもしれないが、それが原因で、何かを諦めなければいけない人が沢山いるならもったいない事だと思う。もちろん保育園や託児所、学童サービスが充実していて、昇格のためにバリバリ働きたい人にとっても充実した環境があることは望ましいと思う。
- ・子育てをしながら仕事に就ける環境学校の行事や急な病気、学級閉鎖などに対応してもらえる状況。パートならば学童も使わせてもらえない今の状況は働きたい主婦にとって不利でしかありません。
- ・子育て環境の充実。
- ・子育て期間（0～12歳）は子育て中心の生活がしたい。就業は在宅メインで、時間も4時間まで、その間の給与が少なくなっても、また元のキャリアに復職できるようにして欲しい。また、私自身、責任ある立場にありますが、社会的責任を負いながらの子育てには大変無理を感じます。母親が母親らしく、子育てを第一に

できる父親の経済的基盤と、社会の仕組みが必要だと思います。本当に毎日辛いと思っています。子育てと仕事の本質的な両立や、分断のない世の中になるには自分自身、何ができるか、私も考えていきたいです。

- ・子育て上の急な休みや早退にも前向きに対応してくれる会社（制度があっても環境的に取りにくければ意味が無い、仕事を続けづらいし、始めにくい）。

- ・子育て世帯の母親が働きやすい、子どもを預けやすい。保育園が充実している。

- ・子育て世代の税金を下げる。塾代助成。職場を家から20分以内にし異動させない昇進。給料担保。

- ・子育て中なので、急な休みや早退を気兼ねなく言い出すことができる職場。

- ・子育て中なので、子供に負担がかからないように、学校にいつている間の労働時間で、急な子供の体調不良などに対応してくれる職場が理想です。

- ・子育て中の女性が、家庭を犠牲にすることなく、安心して長期にわたって続けられる環境。昇進のチャンスも平等で、子育てしながら働く人が肩身の狭い思いをしなくて済むシステムを今の日本の課題として真剣に考えられる環境。

- ・子育て中の女性は、男性と違い、そのご家族の体調不良等によって仕事を休まざるを得ない事が多く、そのしわ寄せが周りに及ぶのも事実です。特にコロナ後は、インフルエンザ等の流行による欠席に加えて、精神的な理由で学校に行きづらくなっているお子さんも多く、それを支える母親が働きにくい状況になっている事も実感しております。自身も3人の子育てをしながら経営者として働く身として、「女性の雇用を生みたい、守りたい」という願望と、「休みがちなスタッフの負担を全てかぶらなければいけない」現実の間で、悩みや苦勞が絶えません。子育て中の女性への直接的な支援はもちろんの事、雇う側の立場に対しても、何かしらの支援があればありがたいと思います。

- ・子育て中の場合、学校の時間、また夏期冬季の長期休暇によって子供を優先させるとなかなか条件は厳しくなる。今後、働き手が少なくなることは周知の事実、お子さんがいる方の時間を優先させ、子育てが終わって時間に余裕があるかたは土日、夕方まで働く等譲り合っていればいいのではないかなと思う。

- ・子育て中は、子供が学校に通っている間の時間で勤務できるような環境があれば働きやすいです。

- ・子育て中は時短で働く選択をすることができる、定期的にどのような働き方がしたいのか上司と意思疎通ができる、または、自分から申告できる就労環境。

- ・子育て優先で仕事ができ、融通がきくところ。

- ・子供が1ヶ月に1回は必ず体調を壊します。それに伴い、私にもうつります。休むことが多くて働くのを躊躇っています。働きたいけど難しいです。こういう状況を快く受け入れてもらえる職場が増えてほしいです。

- ・子供がある程度大きくなったらフルで働こうと思っていましたが、夫の単身赴任や激務では家事分担は不可能です。今、家の事をするのは私しかいないので、日々の生活が楽しめる位の仕事量がベストだと思っています。物価も上がっているし、子供の教育費もかかるし、ランチ行ったり、欲しい物を購入するだけのお金の余裕はもちろん欲しいです。でも、時間の余裕も重要だと思っています。だから、半日のパートの仕事で充分だと思っています。

- ・子供がいても休めやすい環境や理解のある職場がいい。

- ・子供がいても働きやすい、時間帯休みを取りやすい、男性中心でなく女性中心の社会になるような意識改革。

- ・子供がいてるので急なお休みでも嫌な顔をせず仕事より家族を1番にと行って下さる企業。まさに今勤めている会社です。

- ・子供がいる女性も、どんどんキャリアアップできる職場。急な休みにも対応してくれればやすみやすくなる。企業内の託児所は、親が休むと預かってくれない事もあるので、何とかして欲しい。

- ・子供ができるだけ家で1人になることがないようにしたい。子供の学校が休みの時に、家以外の子供の居場所があれば、子供が小さい時にも就業できるのにも思ったことがある。また、夫や義父母は「妻が働きに出るのは、夫の稼ぎが足りないからと世間に思われる。恥ずかしいから家にいろ。保育園に預けるなんて可哀想。将来、子供から恨まれても自業自得」というズレた認識があった。子持ち女性が働くことへの前向きなイメ

ジがもっと浸透することも大事だと思う。

・子供が快適に、負担なく、学校幼稚園生活が送ることができる環境。難しいとは分かった上で理想をいうなら学童の無償化。幼稚園、学校、学童においてPTAなど保護者を必要以上呼び出さないこと。また、子供を産む以上、仕事で出世はできず、継続しづらい環境があるので、それが前提とした子供に対する資金支援がほしい。仕事しなくても生活できるだけのお金があれば三人目を躊躇いなく産める。学校や幼稚園に対して資金を回して快適な環境がほしい。学校に行かせているのに、塾が前提のような状況が辛い。習い物の送迎などのために遅い時間の仕事にいけない。

・子供が学校から帰ってくるまでの時間で、土日祝、夏休み、春、冬休みが休める仕事。子供の体調不良でも気軽に休める職場。

・子供が学校に行きやすいように学校を楽しく安全な場所にしてほしい。学校に行きにくい子供のために専用の教師を配置してほしい。調子が悪い時保健室や別室に気軽に行けるようにしてほしい。遊び時間にいじめがないよう目を配ってほしい。子供が学校に行けない日があると母親は外で働けない。

・子供が学校へ行っている間だけ働いて、土日休み。

・子供が学校へ行ってる時間に勤務。

・子供が若年のうちは人員、労働環境にゆとりがあり、周りに気兼ねなく働ければよい。子供の手が掛からなくなれば多少の負荷のある仕事もやりやすくなるため、なるべく退職しなくてもよい環境整備を希望。

・子供が小さいうちは、リモートワークできたり、近くに安心して預けられる保育園があること。毎日でも単発で預けられると助かる。それと、女性が気軽に個人事業や起業にチャレンジ出来る環境があればなお嬉しいです。何から始めるのかなど教えてくれるセミナーや、先輩起業家さんのお話を聞ける機会、交流会などの情報をもっとSNSなどで発信して欲しい。気軽に参加できる雰囲気を作って欲しいです。

・子供が小さいうちはできるだけ帰宅時間に家に居たいので学童の充実よりもリモートワークで働ける仕事を本気で探したい。また子供が病弱で月に数日学校を休むことが多く、兄弟で続くとも月の半分家で看病していることもあるため、外に働きに出ると急な休みなどの対応が多そうで職場にも迷惑がかかるため躊躇してしまうと思う。今の子供だけでなくこれからもう一人希望のため今仕事を探してもまたすぐ離職と思うとそれも億劫です。そうなるのであればどこかへ働きに出るよりリモート、在宅でできる仕事か、また自分で時間が管理できる自営業の方がトータルでいいかと思うが、それで経済的に自立ができるのか不安です。主人の平日の育児、家事参加は現状まったく期待できません。家事、育児に、加えて自分でどうにか時間とできる場を捻出するしかないと思うのでどうしたらできるのか情報収集しているがこの春にはどうにか決めたいです。

・子供が小さいうちはどうしても子供に合わせた時間帯で働けるところで働きたい、と思っても、かなり限りがあると思います。子供を保育園に預けられなかったり、見てもらえる人がいない場合は、時間帯も必要に応じて少し短くしてもらえたり、土日はある程度休みにしてもらえるなど、柔軟に対応してもらえたらいいな、と思います。あと、どうしても主婦は販売業務・サービス業になりがちですが、もっとそれ以外の仕事につける機会があれば嬉しいです。例えば、せっかく奈良というところに住んでいるので、伝統工芸とかにもたずさわれたらいいのにな、と思います。

・子供が小さいうちは時短や有休が取りやすく、在宅勤務可能、自宅から近い職場。子供が育ってからフルタイムに戻せる正社員。今の勤務が不規則なので朝早くから預かってくれる保育園が欲しかった。

・子供が小さいうちは社内や会社の近くで子供を見てくれる場所があれば就労しやすい女性が出産の際、辞めざるを得ない状況をたくさん見てきたので、キャリアが一定期間保証される仕組みができればいいと思う。

・子供が小さいと体調をくずすので、会社に理解があると働きやすい。女性の負担が重すぎる。

・子供が小さいので熱を出したりと急に休むことがあるがそれをきちんと受け止めてくださる会社。

・子供が小さい間や、家庭優先にしたい人は、時短で働く、週4で働くなど、融通がきく職場。フルタイムで働きたい人は、子供の体調不良や急な休みにも対応できる職場が良いと思います。

・子供が小さい頃は、子連れ出勤可能な職場か、在宅勤務が理想的。また、午前中の3時間のみなど、短時間の求人があれば働きやすい。



・子供が小さい内は、隙間時間に（幼稚園や保育園に行ってる間など）仕事ができるといいと思う。また、子供が病気した時に気兼ねなく休める環境がある。

・子供が小さい内は体調不良で急な休みが多いので、職場の理解がないと働きにくいです。

・子供が小学校在学中に時短勤務を取れる制度がほしい。

・子供が小学校低学年くらいのうちは1人で留守番をさせられないと思います。夏休みなどの長期の休みもあるため、それに合わせて働こうと思うとパートでもなかなか難しいのかなと断念してしまいます。

・子供が小学生になったら留守番させることは出来るが、スマホやタブレット、テレビばかり見心配なので、放課後や夏休みに勉強面や生活面をサポートしてくれる場があれば安心して就業できると思う。今はそういう場はあるが、とても高額。

・子供が多いので、朝の準備や送迎だけでも一苦労。なので9時半か10時くらいから開始の仕事だと、朝の時間帯に余裕が持てて働きやすいなあとと思う。あと、子供が風邪をひいても休みやすい職場が理想。

・子供が体調を崩したときでも休みやすい、給与減ってもいいから時短で働ける正社員、有給とりやすい、企業内に託児施設がある。

・子供が体調を崩したときに預ける施設がほしい。あっても予約制で取れなかったり料金が高い。

・子供が体調不良の時は休まなければならなかったり、急遽お迎えにいかなければならなかったりしても臨機応変にお休みがしやすい仕事（職場）が理想。専業主婦というだけで謎の負い目を感じるので仕事はしたいが、帰宅後の家事等を考えると負担が増えるだけだと思う。

・子供が大きくなった今は、時間も自由がきくようになり、自分自身のステップアップに繋がる仕事をしたいと考えています。そして、子育てが一段落し、年齢的にも仕事だけでなくしっかりプライベートも楽しんで生きていきたいと考えるので、ダラダラではなく、メリハリ、オンオフをつけて働ける職場、休みが取りやすい職場がよい。

・子供が大きくなってきたので預けないといけない心配はなくなったが、家事との両立もありあまり長時間働くのは難しいです。今は扶養内で働きたいので年収を抑えているができればもう少し収入を得たいと思っています。年収の壁がなくなるという話もあるが自分の働き方にどんな影響があるか心配です。

・子供が中学生になる迄はリモートワークやフレックス制が気軽に活用できる環境であれば正社員での就労は可能だと思います。保育園の待機児童の問題や小学校からはバンビーホームの利用可能時間帯（夏休みなどは8時からしか開かないので遅いと思います）、学級閉鎖など周りに協力してくれる人がいるか融通の効くパートでないと中々難しいなと思います。

・子供が低学年の時は、時短就業の取りやすさ。急病時の有給の取りやすさ。通勤のしやすさ（自宅から最寄駅までバスの本数が少ない。職場の最寄駅から、遠く、自家用車での通勤をしているが、通勤時間帯の渋滞が疲れる）。今は、子供達が大きくなったが、もっと習い事をさせてあげたかった。

・子供が同じ園に通えるようにしてほしい。どこの幼稚園でも預かり保育をしてほしい。子供が発熱などが出て仕事は急に休めないのが病気のときに預かれるところを増やしてほしい。子供が学校に通える間だけ働ける職が増えてほしいサービス残業みたいな風潮をなくしてほしい園や学校行事などは休ませてほしい能力に見合ったお給料がもらえる。物価上昇しているので最低賃金をあげてほしい。

・子供が熱を出した時に代わりにすぐに迎えに行ってくれる、夫婦共に定時可能、職場が近い、企業内に託児がある、常に保育園に送り迎えしてくれるシステム

・子供が熱を出しても休みやすい環境。

・子供が熱を出して急に仕事を休まなければならない時に対応しやすい環境の職場。

・子供が発達障がい等の為、送迎等で働きたくても時間が確保しづらく働けない。そういう事情の人も働ける様になればいいなと思う。

・子供が病気になった時など、気兼ねせずに休める環境があればうれしい。時短の時間にぴったり帰れる。頑張ったら給料が上がるようにしてほしい（能力に見合った給料）。病気でも預かってもらえる保育園。

・子供が病気になってもすぐ休める環境、お昼過ぎまでの仕事など。

- ・子供が病気になっても働きやすい環境。
- ・子供が病気の時は気軽に休めて、食事の準備に追われなくて良い環境があれば多くの女性の就労が可能になると思う。
- ・子供が病気の時や学校行事とかに気兼ねなく休むことができる。
- ・子供が病気の時や自分自身の体調が悪い時に気兼ねなく休みが取れると有り難いです。
- ・子供が病気持ちなので、気軽に声掛けができるような企業がいいですね。
- ・子供が風邪などを引いた時に休みづらい。子供が3人いてると順番に移ったりするのでその間働けない、収入がなくなるのでシングルマザーにとっては非常に厳しい。働かないと収入がなくなるが、生活があるので朝から晩まで働くと子供との時間がなくなる。職場が近い。
- ・子供が風邪や体調不良の時に安心して気軽に預けられる場所。小学生の子供達が帰宅する15時には就労を終えて自宅に居たい。
- ・子供が風邪を引いた時でも、働いている先で子供を預かってくれる場所があったり、夫婦共に有給が取りやすかったり、定時で必ず帰宅が可能な日があったりする。
- ・子供が預けられる場所があれば就労しやすいと思う。他の県だと就労してなくてもバンビに預けられたり、週3以上とかの決まりがゆるければみんな働きやすいと思います。
- ・子供が幼稚園や小学校に行っている間のみ勤務。行事等の場合も学校を優先できる。夏休み等長期休暇は勤務を減らせる。職場が近い。仕事のために子供を預ける等仕事優先ではなく、子供優先し、その合間に仕事をするのが理想。
- ・子供が幼稚園や小学校に行ってる時間帯に働けて、さらに体調不良などの急な休みにも、自分の仕事が休めるなどの対応をしていただけることが今の理想です。
- ・子供が理由でやむを得ず休んでも許容される職場。
- ・子供たちの学校急に休む時、困ることなく休める仕事が欲しいです。
- ・子供たちの支援や、働く時間、日数など融通がきいたり、病気の時などにも休みやすい環境であり、国や市の税金が高いので結局働いてもとられて税収でとられてしまうぶん、働きづらい。どうしても壁はこえられない。物価高にみあってない！学童サービスもパートでもつかえたり、安くで提供、夏季休暇など長時間の休みの場合、働く時間がかぎられるのでその充実をしてほしい。パートでもボーナスがでるなど、能力にみあってほしい。
- ・子供とのコミュニケーションを大切にしたいので、在宅勤務で時短で対応できる職場だったため継続できている。通勤（大阪）が必要なら継続できなかった。通勤等があると、就業前後に1時間時間が取られる。そうすると、子供の習い事をさせることができない。夫の就業時間、転勤により平日は私が全てやるしかない状態。これ以上、女性の働きやすさを議論するより、男性の働き方と育児の両立を検討してもらわなければ1日24時間の中どうにもできない。
- ・子供と過ごす時間も取りたい人が時短勤務を選択しても給料が減らないようにする。夫の育児休暇ももっと取りやすいようにする。
- ・子供と余裕をもって過ごす時間をもてるのが理想。時間や体力的に無理をして働いた皺寄せは子供にいくと思うので、平日の短時間しか働きたくないと思ってしまう。そうすると職種や雇用形態、勤務地も限られてくる。やりがいのある仕事をしたいと思うのが難しく、まず条件が優先になってしまう。
- ・子供に関して、手が足りない。持病があるので病院に通わないといけませんが、そうするとサポートもない私が正社員で働くのは厳しい。奈良市内の求人が大阪より給料面で低いことが多く、大阪で就職活動をすることも多い。通勤時間もかかるので、本当は奈良市内で働きたい方は多いと聞く。
- ・子供に合わせて休みが取れる。
- ・子供に負担をかけない時間帯での就労。
- ・子供の体調不良や発熱があったら早退や休みやすい環境が整っている。9時半以降開始の仕事であれば働きたい。

- ・子供のために休みやすい職場。義務教育期間は時短で働ける職場。
- ・子供の安全安心を確保できる環境。
- ・子供の学校の時間に合った就労時間。
- ・子供の学校の送迎があるので、時間に融通のきく仕事があればいいですが、これと言った資格などもないので、就労は難しいと思っています。
- ・子供の学校行事や看病などの休日がとりやすい仕事につく。社会保険の壁 130 万円を考えなくていいなら、ダブルワークをしたい。
- ・子供の学校行事や体調不良などでの休暇が取りやすい。基本的なコアタイムがありつつも、出退勤時間を前後ずらすことができる（タイムカードなどの縛りがない）。仕事の行き帰りにスーパーや学校、習い事に寄ることができる距離にある。
- ・子供の学校行事や体調不良の時に仕事を休める。17時に退社できる。
- ・子供の急な体調などに合わせてくれる働きやすい環境。しっかり仕事に見合った給与設定。病児保育など、少々の熱なら観てくれる様な環境。
- ・子供の急な体調不良での休みが取りやすい。長期休みの出勤を選択できる。
- ・子供の急な体調不良などでもお休みが取りやすく、理解のある環境。
- ・子供の急な発熱などで急遽欠勤しても差し支えない仕事があるとありがたい。1日2時間からの短時間からの仕事。
- ・子供の急な発熱などに快く対応してもらえて、子供が学校に行っている時間帯 8-14 時半などに働け、長期休暇は子連れ出勤やリモートワークができる職場。訳あって放課後児童クラブに入ることを拒否する子供もいる家庭もある。そういう家庭の母親は、働きたくても働けない。給食現場などは就業時間だけ見れば良い職場だが、人員がギリギリすぎて子供の急な発熱にもかかわらず休ませてもらえなかったりする。また、鳥見小は先生の働き方改革で児童の帰宅時間が早いのに、親の帰宅が 15 時以降でないとはバンビに入れられない設定もおかしい。働き方改革推進校では、親の帰宅 14 時半以降になる場合に入れるよう設定すべきである。
- ・子供の急な病気にもイヤミを言われず休暇が取れる
- ・子供の急病による急な休暇、私用についても希望が出せる環境。また週 20 時間や年間 130 万円等の縛りのない労働がしたい。職場環境や仕事内容にも大変満足していてもっと働きたいが法律上働けない。もっと働きたいのに働けない。働きやすい職場なのに転職を考えないといけないことが辛い。
- ・子供の急病や学校行事等による休みや就業時間の調整がしやすいこと、それに対する職場内の人の意識改革が必要。
- ・子供の御飯や安全の心配が無くなれば、もっと働けると思います。
- ・子供の行事、急の休みを取りやすい職場。
- ・子供の行事、病気等休みやすい環境求む。時給に見合った仕事求む。学校も働く親ばかりになっているので PTA 等必要か？なくても運営できている学校多数あり。
- ・子供の行事や突然の呼び出しなどがあっても、休みやすい仕事。
- ・子供の行事や病気など急に休みが必要になった時に気兼ねなく休める。職場が近い。有給が取りやすい。土日祝休み。
- ・子供の事や介護に理解してくれる職場。
- ・子供の事情を考慮して短時間で働ける場所を増やしてほしい。短時間勤務でも学童に入れるようにしてほしい。
- ・子供の就学時間と休日に合った就労条件の仕事。
- ・子供の就学時間内で働ける、融通のきく環境。年齢制限で一気に職種が狭まるので年齢の事。
- ・子供の習い事がしやすい環境（学童から習いに行ける、など）。職場が近ければそのほうがいい。
- ・子供の習い事の送迎が夕方からあるので、2 時頃までに終わる仕事。夏休みなど子供の長期休暇中は預け先がないため、気軽に休める環境。残業がない。

・子供の習い事の送迎などがあるので時間帯が重要。求人などを見て募集はしていますが同じかような主婦の方が多いため全然採用されない。求人の数が少なすぎる。

・子供の習い事への送迎を誰かがしてくれる（フルタイムで働いていると、習い事の送迎ができず、特に平日に習い事に通わせられない）。

・子供の小さな間は遠方への通勤や残業のため学童のお迎えに間に合わないと言った悩みが大きかったです。個別でマザーネットなどの代行サービスを利用していたため、残業をしてもそれらの支出で残業代は消え、何のために働いているのかわからない時期がありました。保育園、学童の預かり時間の延長、またはベビーシッターサービスのクーポンの配布があれば助かったと思います。

・子供の人数分、休まないといけない事が増えるので、休みやすい環境、休んでも収入が下がらない環境、働く時間が8時間でなくてもいい環境が、働きながら子供を育ていくためには必要だと思う。

・子供の成長、親の介護状況に合わせた働き方。休職も復職もしやすい環境。

・子供の成長に合わせた柔軟な対応をしてくれる職場。休みが取りやすい。育休産休が取れる。

・子供の送り迎えに合わせた時間で働ける。急に子供が病気になっても、気を使わずに休める職場。

・子供の送り迎えや行事ごとに参加できる就労形態が確立しているのであればいいと思う。

・子供の送り迎えを余裕を持ってできて、急なお迎えも可能な職場。

・子供の送り迎え及び子供の体調管理のため、在宅での仕事が理想です。しかしながら、在宅での仕事は怪しい物もあるため、どの仕事を選ぶか慎重になります。安全だと言える在宅での仕事をどう選ぶのが問題です。在宅ではない仕事も考えるが、これまで、求職活動をしてみて、当方の諸事情を理解してもらえ企業や職場環境を見つけることは難しいと感じました。柔軟に就業時間や曜日など対応してくれる職場があれば、外で働きたいとも思っています。

・子供の体調が悪い時にすぐ迎えにいけて、仕事を休める体制。母親が無理せず働ける勤務時間や勤務形態でも保育園などに預かることができ、かつ保育園の利用金額の補助がある。勤め先に託児所がある。仕事で直行直帰ができる。夫婦ともに定時に帰宅でき、有給を取りやすい。

・子供の体調が悪い時に休みが取れる。学校の参観や、説明会に行くための休みが取れる。職場が近い。残業がない。

・子供の体調が悪くなった時や学級閉鎖、警報時などの一斉下校時に、休みや早退が出来る。子供が学校に行っているタイミングの短時間での就労でも理解が得られる。

・子供の体調ひとつで働くにはハードルが上がる。あまり政策に何も期待できない。どうしても、働いていく上ではきれいごとが通用しない（パパ育休取りましょって言ったとしても…色々あるように）。夫婦間での意見のすりあわせで協力していくしかないと思っている。結局は取れない。パパの育休制度を整えたりしても取れないんだから、助成金を平等に配る方が良く思う。

・子供の体調や学校行事に合わせて休みやすい職場。

・子供の体調等による、急な休みもとりにやすい環境で、時短勤務可能な場所なら働きたいと思う。

・子供の体調不良でも仕事の都合が付きやすい環境。

・子供の体調不良などあっても気兼ねなく休める。母親ばかりに休むことを強いるのは違う。定時に帰れるのはもちろんだが、それを白い目で見る人がいるような環境ではダメ。持ち帰りの仕事が発生しないこと。土日も預かってくれる園があること、遅くまで預かってくれる園があること。家事代行を利用しやすく、園や学校からの招集が少ないこと。

・子供の体調不良などによる急な仕事の調整を受け入れられる環境と理解がある事。またその際に男女問わず責任感を持てる環境。時間だけでなく能力に見合った給与。

・子供の体調不良や園・学校行事のために当たり前前に早退、休暇を取れる。フレックスタイム制。男性が育児しやすい仕事環境。

・子供の体調不良や行事に休みやすい環境子供の手がある程度離れたら。

・子供の体調不良や子育て中、留守できない状況は多々あります。子育てをしている以上、子供に負担を

けてまで就労しようという思いはなかなか生まれません。そのような全般的にフォローできる家族構成などなければ不可能ではないかと思えます。

- ・子供の体調不良時間に休める。リモートワークができるなど柔軟な就業体制が整っている。企業内に託児施設がある。

- ・子供の体調不良等、年に何回までは、給与は引かれても仕方がないが、賞与に響かない就業規則。子供の習い事等で、小学校に上がっても、時短制度がある、仕事量をこなせば、減額なく当番制で、早引きのシステムがある。

- ・子供の都合で休みが取りやすい。取りやすい環境。短時間勤務の充実、在宅での仕事が増えたら良いと思う。できれば短時間で就労で収入もそこそこ得られたらいいなあと思えますが難しいですね。大学も出たのに勿体ないなあとは思いますが、正社員を辞めて子供とか関わられたことは良かったと思えます。何が正しいのか、私にもわかりません。

- ・子供の都合に合わせた休みが取りやすい。企業内に託児施設がある。職場が近い。時短勤務できる。

- ・子供の年齢など家庭事情を考慮してもらえる。定時に帰宅できる。女性管理職率を上げるためだけに女性を管理職にしない。人材が豊富で有休をとってもお互いフォローし合える（休んだら自分に過度の負担がかからない）職場。

- ・子供の年齢にかかわらず時短勤務可能、在宅勤務可、時短でも専門的業務を任せられる、昇給・キャリアアップ要件が明確、リスクリングのためのサバティカル休暇がとれる

- ・子供の病気など急な休みに対応してもらえる。リモートワークができる。

- ・子供の病気など急な休みに対応してもらえる職場だと働きやすいと思えます。

- ・子供の病気等に臨機応変に対応してくれる残業がない有給がとれる。

- ・子供の病欠対策!!!。

- ・子供の預け先がある。

- ・子供の預け先の心配がないこと。

- ・子供の療育施設の受け入れ時間が短いので、障害児の受け入れが出来る保育園（及び対応できる保育士）を増やして欲しい。職場が近く、子育てに理解ある職場（子供の体調不良等の急な休みや、時短勤務の期間延長など）。仕事量に見合った給料が貰える。

- ・子供より家が出るのが遅く、子供が帰ってくる時間に合わせて帰宅が可能な事。家族と休みが合わせられる事。

- ・子供を安心して預けられる場所が欲しい。

- ・子供を安全に預けられるため、保育士などの待遇を上げてほしい。命を預かるお仕事なのに一人で見える人数が多すぎて、なおかつ薄給すぎます。保育の質をあげるためにも大事なことです。また、子育てでキャリアが断絶しないために育休や復職にあたる待遇をどの会社でも当たり前できるように指導してほしい。また、結婚や出産を理由に男女の給与の差があったり昇進を妨げられたりすることは無くさなければいけないと思えます。

- ・子供を最優先できる環境。就労するということは、母親が家にいない状況です。職場が近く、何かあった時にすぐに駆けつけられる状態な望ましいと思えます。参観日や体調不良で有給が取りやすい環境が必要です。誰のサポートもなく母親は働くことができないと思えます。

- ・子供を最優先に仕事をしています。放課後の友達との約束や習い事の送迎に支障がない範囲で働くのが理想です。

- ・子供を持っていることに理解があり、残業無く帰れる会社で、給与面も平均的にいただけるなら理想です。キャリアアップも出来る職場なら尚モチベーションもあげて仕事ができる環境だと思います。

- ・子供を保育園に預けているとき、お熱や警報で帰られることが困る。警報でも、非常事態宣言のレベルなら仕方がないが、普段の少し雨がきついくらいで呼び出されては仕事にならない。保育園に手や部屋に余裕があれば、保健室のような部屋で寝させて貰えてたらとても助かる。職場の理解は結局はその人や環境である

が、子供の急な熱に対応できるような職場が望ましい。労働条件をもっと踏み込んで欲しい。子どもを育てやすい環境を整えることを、市に望む。

- ・子供を優先しつつ安定したメンタルで働ける。
- ・子供を優先して無理なく働けること。
- ・子供を預かってくれるところが沢山あるとありがたい。
- ・子供関係のことで休む場合の有給が取りやすい職場。風邪などで会社を早退する場合に時間給が取れる労働条件。

・子供第一に考えられる職場環境、休みやすい、パワハラ、マタハラがなく、女だから昇進できないという社内の雰囲気がない。男尊女卑のある古い体質の企業でなく、アルコール中毒の上司や、人の幸せを妬む上司ではなく、家庭持ちの女性社員に理解のある上司がいる会社

・子供達が学校へ行ってる間の就業、学校の行事に合わせて休み申請がしやすい職場など。また、スキルアップのできる講習があると嬉しい。

- ・子供優先で働ける社会。
- ・持ち場で働くのであれば、時間の融通がきくことが1番だと思います。リモートができるようになってかなり働きやすくなったと思います。

・死別ひとり親です。子供の行事事、子供が体調を崩した時に申し訳ない思いをせず、休みを自由に取れたらいいなと思います。今年は学級閉鎖が多く、会社に頭を下げる日が続き、少し疲れてしまいました。あと、小学生子供2人で1ヶ月1万円ほど学童保育にお金がかかってしまいます。ひとり親なので、稼がなくてははいけません。ゆえに長時間働かなければいけない、それに伴ってどうしても子供を預けなくてはいけない環境で、そこにお金がかかるのは、とても辛いです。その一万円を稼ぐために、子供と共に過ごす時間が少なくなってしまうのはとても悲しいです。物理的に、親が1人しかおらず、子供を預けなければ働けない状況で、お金がかかってしまうことが苦しいです。奈良市のご担当の方に、少しでも意見が届けば嬉しいです。よろしく願います。

・私の子ども達が小さい頃よりは、施設も制度も充実してきたと思うが、まだまだ母親の負担は大きい。発熱時の有給なども周りを気にしながら取らざるを得ないし、子どもが居ない人にとっては迷惑をかけられるという意識もあり、例えば有給を全員が平等に完全消化出来るなど、気兼ねなく仕事ができる環境が必要。保育園や小学校など、朝早く預かって貰える所は少ないので、遠方へ勤務する為にはフルタイムでの勤務が難しくなり、時短勤務を選択せざるを得ない。そうなれば昇進などへの影響もあると思う。

・私の場合、子どもの発熱や学校行事の際、気を遣わずに休めて、子どもが学校に行っている間だけ働けるような環境であれば就労可能かと思われる。自分の娘がフルタイムで働くようになったときを考えると、誰かしらによるフォローは必須。保育園などの整備含め行政によるフォローはありがたいが、痒いところに手が届いていない感が否めない。本当に細かいところなので、祖父母の手厚いフォローがある方にはわからないと思うが、一切フォローなく子育てしてきた私は復職など考えられず、最近やっと復職しようかな（というより子育てにかかるお金がかかりすぎる、なんとか手当みたいなものは年収制限でもらえず主人は夜も寝ずに働き高い税金をとられて、その税金が見知らぬ子どものなんとか手当となっていることに納得できないのだが）という余裕が出てきた感じ。

・私の場合は、地域のボランティア活動や趣味の習い事も行なっています。ですので、就労は、それらの空いた時間に行なっています。しかも、就労時間は子供が学校に行っている時間帯のみ。働くにあたって、収入よりも得意な分野で社会活動の一端を担っているという帰属意識の方を重視しています。家事との両立のため、自宅から近い場所であると、長く続けられると思います。子供を持つ家庭の主婦は、子供の成長にあわせてライフスタイルの変化が3年ごとに訪れます。また、自治会の役員やPTA活動など、年単位で多忙になることがあります。それに合わせて就労形態を柔軟に調整できる職場が理想です。

- ・私の場合は在宅勤務が理想。
- ・私は、子どもが小学4年生の終わりまで2時間の時短勤務が可能でした。祖父母など頼れる親族がいない

状態で、この制度にはずいぶん助けられました。育児時短制度が小学校卒業まで、労働基準法で定めてもらえたら（企業努力ではなく）、そしてそれを取得しやすい職場の環境があれば、フルタイム共働きも可能だと思います。

・私は自営業者であるので、出産前の悪阻の時期から仕事が今まで通りに行えず売上が一気に下がりました。出産、育児中の休業時ももちろん育休手当は無く、手持ちの資金はどんどん減りました。売上が一切無くても毎月固定費はかかり、産後の体調が中々回復しない中資金がどんどん減っていくのは精神的な負担が大きく焦る気持ちも増えていきました。配偶者がいるというだけで年金の免除は却下され、夫の扶養にも前年の確定申告で審査され、つまりは年取があったのだらうと見なされ、入れて貰えなかった事は追い討ちをかけられるようでした。このような事から、出産を機に自分の事業を諦める女性は多いのだらうと実感しました。育児中も、体調不良などして保育園に預けられないと、仕事を止めるしかなく、自営業だと有給休暇はないので売上を減らすしかありません。その為、勤めていて安定した給料を得ている女性だけでなく男性も、急な有給やフレックス勤務をもっと取り入れやすくする為の働き方や空気感を作っていってほしいと切に感じます。こちらは、事業を続けて行くためにはそこに頼るしかありません。また、男性が主体的に育児家事を行えるような価値観を持つ為にも、パートナーとの意見、価値観のすり合わせだけでなく職場でも女性も男性も関係なく、各家庭の環境や状況によって家事育児又は介護などに必要な手間がある事を前提として、それぞれに合った働き方を見つけていきやすい風潮を作っていく必要があると感じます。

・私も夫も職場が近く、リモートワークも可能なこと。企業が子育てに今以上に寛容になり、子どもの病気などの際、有給とは別に子ども休暇のような休みが取れる事。一日何時間労働と一律に決めずに、繁忙期閑散期によって労働時間が調整できる事。保育園が近い事。

・私自身の両親は亡くなっており、私自身も一人っ子、夫の実家は関東で、就業するにも習い事の送迎や家庭での見守りなど頼める人がいなく、周りにもこのようなパターンの家庭が少ないので相談する相手もおらず周りには分からない程度の孤立感があります。自分でも就職をしたいという希望があるので育児の合間に簿記や宅建など色々な資格を取りましたが、子供の習い事の送迎や食事の準備や家庭学習の見守りを頼める人が思いつかず就業はまだ叶っておりません。どこに相談していいのか、結婚後離職してしまい10年以上ブランクがあり祖父母に頼れないという詰んでしまうなどというを感じています。何か良い方法があればと思っています。

・私立幼稚園で働いていますが慢性的な人手不足で休みが取りにくいので子育て世代のパート職員が休んだ場合のみ派遣される人が欲しい！

・資格や経験年数に見合った給与がもらえる。子供が2人にもしなるとフルタイムで働くのは難しいと今感じているので保育園、学童のサービスの充実。病児保育やシッターサービスの充実。子供の体調不良による欠勤に有給休暇を使うことに限界があるのでその点の配慮。

・資格を持つ外国人はより働く職場を提供してほしいです。

・持病がある子を抱えているので、通院や急病に理解があることが条件でしたが、下の子が1人で留守番できる年齢まで就業しないことにしました。

・時間が固定されていて、残業が少なく、土日休みで、家事や子どもの学校行事と両立しやすい勤務形態。子どもの健やかな成長には、親との関わりが大切だと思うので、家族の時間がしっかり取りやすい働き方がしたい。自分のキャリアアップよりは、家庭生活を優先したい。

・時間に制約がある働き方を理解できる社会の機運情勢。学童期からのジェンダーバイアスを持たない教育。

・時間に融通がきく。子どもの体調不良や学校行事での休みや子どもの急な体調不良でも休みをとりやすい。

・時間の縛りが少ない、家が近い、急でも短時間でも気軽に預けられる学童がある（利用手続きが簡潔で単発でも利用可能である）。

・時間の融通がきく福利厚生がしっかりしている。ボーナスがある。

・時間外勤務がなく、突発的な事態が起きにくい環境が理想です。子育て中や介護中の人は自分以外の理由で休まざるを得ないことが多々ありますので、そのような時に周りがフォローできるような人的余裕をつねに

持っておいてほしいと思います。そうでないと管理職になっても責任が果たせずつらいだけです。

- ・時間外労働がなく、定時で帰れる、ライフサイクルに応じて就業時間が短くなくても収入に影響しない。

- ・時間的拘束が長いと家庭や子育てとの両立は困難になる。子供の看護や授業参観のために柔軟に休みが取れること。学童や保育園の閉園時間に間に合うように仕事を終わられる環境が最も大事だと考えます。給与の額（労働者に見合う収入）も大事ですが、子育てに忙しい時期に仕事が続けられる環境が整っている事が重要だと考えます。

- ・時給が奈良は低くて、もう少し高いところなら大阪ですが、子供の習い事やお世話があるので通勤時間に時間をかけられません。奈良市でももう少し時給が高くて、働きやすいところがあったらたすかりますが土日祝出勤でないとなかなか求人がないです。

- ・時給というよりは一人一人がちゃんと評価され、その能力に見合った給与がらえる。

- ・時給をあげて一日6時間、週3で年収200万だしてもらえれば、扶養から外れる働き方ができる。

- ・時短でも、給料を元の金額にしてほしい。

- ・時短で家族との時間も取れる。

- ・時短や休みが気軽にできる環境と、週5日程度の出勤で、リモートでも可能な環境。

- ・時短をとっていてもマミートラックではなく重要な仕事を任してもらえる。土日にも預かってくれる保育園が必要。ベビーシッターの予約が当日でも取れるほど存在していて欲しい。病児保育施設が足りなさすぎて有給がなくなりそうなので、増設を強く望む。男性も定時退社に理解のある職場。有給が勤続年数に関わらず年間20日付与される。看護休暇も有給であること。

- ・時短業務であっても大幅に給与を減額されない環境や、保育料の減額が必要である。時短で勤務すると子供の保育料とほとんど変わらない給与となり働きがいがない。

- ・時短勤務。車通勤。通勤時間が短い。参観や行事の時に休みが取れる。

- ・時短勤務が可能で17時頃には子どもを迎えに行ける。学童と提携した習い事のサービスがある。送迎ありや校庭を利用したスポーツ教室。

- ・時短勤務が現状子供が6年生まで取得可能な、恵まれた企業にいます。その後も延長してもらえると、正社員で働きつけやすいです。

- ・時短勤務が最長、中学卒業まであるリモート可能。

- ・時短勤務が取りやすい。産休育休に入った時に代わりの人材をすぐに確保できること。それによって周りに迷惑をかけると申し訳なくなる気持ちを減らすことができるのではないか。夫婦共に定時で帰宅。1年で職場復帰は早い気がする。小さい頃から預けると体調を崩してほぼ登園できなかったと友人から聞くことがあった。私自身は2年間育休をいただいたが、ちょうどよかったと思っている。ただ希望する園に入らないかもしれないリスクがあるため、どこかしら諦めないでだめだと思う。

- ・時短勤務が小学校中学年くらいまで可能なこと。各人が入りたい時期に入りたい保育園に入園できること。自宅・職場・保育園の動線が良いこと。夫婦共に子どもの体調不良があっても休みやすい職場。奈良市は最近2人目の認可園の保育料が無料になったが、認可園に入れず認可外に預ける場合もあるので認可外の場合でも補助を出すなどしてほしい。

- ・時短勤務が満三歳まででなく、小学校低学年まで時短勤務ができるような職場。また、産休や育休中に入った場合にちゃんと不足人数と考えて人員配置がされ、残された職員が大変な思いをしないようになった職場。

- ・時短勤務でも気軽に就業でき、休みを取りやすく、ライフスタイルによって職種を変えられる環境。父親も育児理由での休暇をとっても問題ないという考えを浸透させてほしい。

- ・時短勤務可能な職場が増える。突発的な欠勤にも対応可能。職場が近い。

- ・時短正社員制度の充実。子供に限らず、配偶者や家族のケアをしながら8時間働くのは大変。働きたくないひと、パートアルバイトで働きたいひとはそれでいい社会になれば良いと思う。正社員になれば、働けという無言の圧力は、しんどいひとにはしんどい。働きたいひとは誰かに環境を整えてもらわなくても働いている。

- ・自身の強みが活かせる、自身の望むライフスタイルに合った働き方ができる。【働きやすい環境】在宅勤



務が可能、休みが取りやすい

- ・自身の職場が子連れ出勤可だったので今まで勤めることができた。
- ・自宅から近い学校行事などでの休みが取りやすい。就業時間など柔軟に対応してもらえる。
- ・自宅から近い。短時間勤務。週 2~4 日シフト勤務又はリモートワーク。時給が高い。働きたい思いは山々です。育児を優先した働き方を模索するが、合うものがみつかりません。家事育児は立派な仕事であり、家事代行・ベビーシッターという仕事も世の中にはあります。母親になにも報酬がないのは疑問です。
- ・自宅から近い職場、子どもと一緒にいける職場、子どもの安全が見える職場。リモートのできる仕事ももっとあれば、子どもも母も安心して仕事ができるのではないかと思う。
- ・自宅から近く、残業なし。
- ・自宅から近くで短時間勤務。
- ・自宅から近く育児、介護休暇も取得しやすく、雇用期間なく長く働ける環境。在宅ワークが出来、コアタイム以外は比較的自由に自分のリズムで働く事ができる。時々、合同研修等パソコンのスキルアップの為の学びの場が欲しい。
- ・自宅から近く通いやすい。子どもが帰宅するまでの隙間時間に働ける。長期休暇がある。
- ・自宅から職場が比較的近く、有給が取りやすく、職場の人員も比較的余裕がある職場が理想。警報がでて子供を無理に下校させず学校などで預かってもらえる。小学校の懇談会や参観などオンラインで実施など配慮があると仕事を休む回数が少なくなる。有給が子供の学校行事以外の余暇でも休めるようになる。
- ・自宅から通いやすく、子連れでも就労可能。自宅で仕事可能。
- ・自宅で仕事。子どもが寝た後できるといい。
- ・自宅で働ける、または子供を預かってくれるサービスがある。有給が取りやすい。定時で帰宅できる。
- ・自宅と駅の近くで、質の良い教育や習い事が受けられること。兄弟とも同じ場所に預けられること。病院の待ち時間が長すぎないこと。子供の帰り道が危なくないこと。
- ・自宅に常にいる夫と長男のために格安で昼に弁当を配達してくれるサービスがあると助かります。本来は家事をせずに家の外でずっと働いていきたいので、家政婦を気軽に雇うことができる文化が根付くといいなと思います。
- ・自宅の近くもしくは職場の近くに保育園や託児所がある。職場が近くにある。気兼ね無く休みが取れる。
- ・自分が仕事の日の小学生の子どもの居場所が欲しい（長期休みの特に夏休み実家頼みになっている為）。男女平等とはいえ、家事や子育てを担うのは結局は女性。旦那さんの仕事ももっと産休、育休が取れたら女性も働きやすくなると思う。
- ・自分が来たい時間に仕事ができる。好きな仕事ができる。
- ・自分で働く時間帯を決められる。子供が熱が出た時など不測の事態の時に、休みが取りやすい。
- ・自分にとって仕事は、自分が望む生活を維持するための収入を得る手段です。今は家族（特に自立するまでの子ども）と過ごす時間が一番大切であり、仕事で体力・時間・気力が奪われて家のことが蔑ろになるような働き方はしたくありません。そのためなら収入は少なくともいいと考えていますが、こどもには平均的な現代の生活スタイル（衣食住はもちろん、持ち物や習い事、レクリエーション等）をさせてあげたいので、収入はある程度あるに越したことはありません。時給や収入がもっと上がって、短時間でもある程度の収入が得られる環境があれば嬉しいです。子どもが自立した後は、フルタイムかそれに近い条件で働きたいですが、育児が済んだ後は介護や自身の病気などの世代になるので、どの世代もが気兼ねなく休めたり快く仕事を代わってあげられるような職場がたくさんあれば嬉しいです。
- ・自分のキャリアを優先すると子供をあずかってもらえる人はよいが、誰も頼れない場合、子育てを優先すると働きたいと思うころには年齢がいきすぎてブランクも 20 年くらいになると最低時給でしか働き口がなくなる。日本社会の男性の働き方、子育てのサポートをもっと充実したものにして、子供がちいさくても若いうちから社会に戻れるようにしないといけないと感じます。
- ・自分のことだけしていれば済む生活。

・自分のこどものことは1番に考えたい。でも職場のこどもたちもとっても大事。中途半端な関わりはしたくないので、自分のこどもが大丈夫！仕事行っていいよというまでは、そばにいてあげたいし、空いた時間にできる仕事をしたいと考えています。

・自分のしたい仕事（フリーランス）で働きながら、時に副業収入があるようにしておきたいと思う。

・自分の医院で働いていますのでスタッフが、今後働きやすい環境づくりにつとめていきたいとおもっています。

・自分の決めた生活サイクルを維持できる。

・自分の好きな仕事で、賃金もよく働きやすい所がいいと思います。

・自分の仕事の環境や給料やキャリアアップなども大事なことでありますが、社会として、女性が働くという環境づくり、思考を変える必要があると強く感じます。子供達が母親が働くことで、寂しさを感じたり我慢するような環境では女性が働く社会になったとしても全く未来に魅力を感じません。女性が働かなくてはならない世の中が良いとは思いません。職場で働かなくても主婦として家にいて、日々地域を見守る役を担ったりするような人も必要だと感じます。多様性とかよく耳にしますが、それぞれの特性を活かしているいろんな職種につくことも大切だが、それだけでは豊かな世の中とは思いません。

・自分の職場環境（事務）は親戚がしている自営業なものもあり、急な休みも理解をしてくれ、自分の業務をこなしていれば出勤日、出勤日数などもほとんど自分の都合で決められるので長く続けられています（子どもの長期休み中は、平日は仕事へ行けないので配偶者が休みの土日に出勤するなど）。配偶者以外に子育てで頼れる人はいないということと、子ども自身が学童を嫌がる為、融通のきく職場でなければ自分が働くのは難しかったと思います。

・自分の親との同居。15日ごとのシフト申請制度。有給の取りやすさ。子供が小さければ、病児保育が必要。

・自分の働きたい時間帯で自由に働けて、残業無し。職場も近く、有給も取りやすい。給与も能力に見合ったものがもらえ評価をきちんともらえる。

・自分の能力に見合った給与がもらえる。残業が少ない。家から近い。

・自分の理想 → 子どもの体調が悪い時に当たり前に休みを取れる環境とフォローしてくれたメンバーに負担を強いることへの心理的ストレスで悩まされない人間関係ができていること。女性一般の仕事というのはわかりかねるが、男性しかできない仕事はほとんどないと思うので、本来は誰にとっても働きやすい職場、生活サイクルそして十分な対価が支払われれば問題はないのだと思う。今はどれも欠けていると思う。

・自分の力でキャリアを取れる上げられること。

・自分はたっぷり子育てをしてからパートに出た人なのでその目線から一言。今は働く女性にスポットが当たりすぎていて、子供を保育園に預けるのが当たり前の世の中ですが、私は子育ても立派な仕事だと思っています。子供が小さなうちはたっぷり子育てに専念出来る！そんな環境は社会に生まれられないのでしょうか？女性が大きな顔をして戻れる社会ではないので、働き続けるのではないのでしょうか？国は子育てする女性に予算をつけてもいいと思います。保育園が悪いとは言いませんが、日本は家族に費やす時間とお金がなすぎます。女性に働く環境の前に、たっぷりの時間とお金の余裕を与えてあげてほしいです。そして、子供が大きくなってから戻れる社会を作って欲しいです。

・自分個人的なことでは、子育て期か否かに関わらず、一般的な定年年齢にこだわらず、細く長く（可能なら80歳くらいまで）働きたい。子育て期が終わったらやってみたいビジネスがあるので、子育て期は、そのためのビジネススキルが身についたりビジネスの視野が広がったりする職場で働きたいです（今のところは、「子育てしやすい！」職場環境であることが職場選びの第一優先ではありません）。

・自由に出勤の時間や場所を選べる。急な欠勤に対応してもらえる。

・社会全体が子育てに寛容である環境。人々の意識が変われば働きやすい、育児しやすいと思います。男女差なく、仕事、育児、家事ができる環境。

・主人が朝出るのが早いため、毎朝3時50分には起き、3つ分のお弁当、犬の散歩、そこから子供たちを起こし出社、通学させる。体調の事も仕事のことまで気がまわらない。仕事はしたいと思うが短時間でさら

に近くとなれば難しいです。

・主人の仕事が土日も待機があり完全週休じゃないので、予定が立てにくく自分がいろいろ調整が必要なので精神的にしんどいことがある。毎週土日がきちんと休みで収入も十分あれば安心して働ける。あと扶養の壁がなかなか外して思い切り働けない。

・主婦手当が有れば良い。無理に働きに出ると子供への愛情不足となり人格形成に少なからず支障があるのではないかと考えるから。風邪をひいたり体調を悪くした子供へ仕事の段取りが上手くいかないことで当たり散らすようなことが起こりうるのであれば働くことが本末転倒となると考えるから。

・手作りのお惣菜の店があれば助かる（添加物なるべく控えた）。保育園は、買い物してからお迎えに行っても良いようにして欲しかった。

・手取り 20 万以上、完全週休 2 日、盆正月休みあり、17 時には帰宅したい。在宅ワークがしたい。今の仕事が高齢者施設向けの委託給食業者で休みが取れない。子どもと遊ぶ時間が無く淋しい思いをさせているので在宅時間を増やしたい。仕事が忙しいと、触れ合う時間が無いせいか友人関係で荒れ気味になる。

・収入や勤務日数、時間関係なくスポットで預かってもらえる園、学童サービスがある。同居、別居問わず市内在住の後期高齢者が介護や病院の送り迎えのサービスが気軽に受けられる（現状バスの便数が少ない、たまに両親の病院の送迎に時間がかかって作業を中断することがある）。

・周囲に時短勤務や子供が理由による急な欠勤に対して理解があること。ひとくくりにとまどめず、働く人それぞれの状況に対応してくれる職場。

・就業の有無に関わらず、子どもを預けたり、育児のサポートが受けられるシステム作り。また子どもが病気や介護のために仕事に出られない時のフォロー体制。

・就業時間に融通が利く。夏休みなどの長期休みは出勤できないことへの理解。長期休みの間のリモート対応。子連れ出勤への理解。

・就業時間等を柔軟にできる体制（フレックスをもっと柔軟に）、在宅勤務。

・就職の支援より、すでに働いてる人が思う存分働き稼げる制度を作ってほしい。103 万の壁はなんのためにあるのか。こえるとなぜ税金を払わないといけないのか。その税金が還元されるならいいが、何に使われているかわからない。

・就職氷河期世代のため、正社員として働く機会が少なく、ようやく正社員になっても妊娠出産もありキャリアを手放しました。非正規で働き続けてはいるものの、やはり正社員では雇用されにくい状況です。雇用条件の窓口が広く、自身の経験値に見合った賃金で働くことができれば、やる気にもつながり働きやすい環境になると思います。また保育園や学童に通う際、度々提出する書類が多すぎるため、少なくなれば間口が広がるのではとも思います。子どもを預けるためのステップが多すぎて、その時点で心が折れそうになることが多々あります。

・就労時間が柔軟である事。有給や看護休暇が使いやすい事。保育園にいつでもはいりやすいこと。私は 17 時に終業、夫も 17 時に一旦終業して、夜また 2 時間ほど仕事をするスタイルです。また、私はシフト制、夫は土日祝休み、2 人とも有給が取りやすい会社なので順番に休む事で急な体調不良を乗り切っていますが、特殊ケースなのではないかと思っています。会社には旦那さんの仕事が忙しく、やむおえず時短にしている人も多いです。皆が働きながら育児ができる環境になる事を祈っています。

・就労時間に関わらず預かりをしてくれたる学童があること。

・終業後も買い物、夕飯のしたく、片付け、子どもの世話、明日の準備などの生活があるので、あまり残業がないよう、フルタイムですがパートとして働いています。定時に帰れる正社員の仕事が理想です。

・習い事ができる学童保育（働いていると、子どもの習い事の送迎ができないため）。

・週 20 時間までしか働かせてもらえない。もう少し働きたい。保険料の壁を取って欲しい。

・週 3～4 日の就業。その内、テレワークが 1～2 日。勤務時間は 10 時～16 時。育児休業は 3 歳まで。子どもの行事や健康に関わる全般は看護等休暇適用。子どもとの時間を大切にしたいので、細く長く働ける環境が理想です。

- ・週4日の勤務、夫婦共に定時帰り。
- ・週に2.3回ほどの勤務、幼稚園に預けている時間内のできる、子供の病気など急な休みにも対応してもらえる。
- ・週に2日くらい働ける場所。
- ・週休3日1日6時間労働の正社員。多少給料が安くても夫婦で働けば食べていけると思う。パートでは収入制限の壁が問題になるので正社員でないとダメ。現状の週5日1日8時間労働では子育てと両立できない。仕事が生活のほとんどになってしまう。支援が必要なのは、未就学児のいる家庭だけではない。中高生のいる家庭もまた別の大変さがある。
- ・週休3日。定時で帰れる。働く時間を選べる。子どもが健康でも、病気であっても、すぐ受け入れてくれる場所がある。
- ・週休3日制で、フルタイムだけでなく出勤時間や休憩時間等も各自で設定できる。職場が近い。通勤方法などに制限がない。有給がとりやすい。残業=仕事している、当たり前、と言ったバブルや平成の古い考えからの脱却。昇進等は女性男性だけでなく、年齢等も制限なく審査してほしい。女性だからの優遇は可哀に感じる。やはり産休育休の分、仕事から離れていたらその分は引くべきだし、だからといって引け目に感じたり、無理に張り合うものではない。病気になったり介護等も普通にありうることなので、休みやすくしたらいいのではないだろうか。
- ・出産の為、仕事を辞め復職する時に短時間から始められると、家庭も仕事も両立しやすいと思います。特に、保育系の仕事に就く人は、復職する時に短時間、週3勤務などの働く時間があれば、働きたいという人が増えると思う。
- ・出産育児があっても役職を続けられる。有休や休みが取りやすい。急な休みに対応してくれる。定時に帰れる。病児保育や託児所が職場内にある。職場が近い。
- ・出退勤時間が、ある程度自由がきいて、子どものことを優先できる職場。
- ・出張の際に遅くまで、または登校時間前に子供を預かってくれるサービスがある。交通の便がよい。職場と自宅が近い。定時帰宅またはフレックスで、家事育児の忙しい時間帯を避けて働ける。
- ・春休み、夏休み、冬休みのみ子どもを預かってくれる保育園（普段は幼稚園）国立幼稚園でも18時頃まで預かってもらえるシステム（奈良教育大付属幼稚園は運用してるが、奈良女子大付属幼稚園は共働きでは通えない）。共働きでは国立幼稚園に行けない、もしくは行きにくいのは子どもの学力の差が出る可能性もある。国立等に通わずに仕事が出来ない、もしくは辞めないといけない。
- ・初心者でも自宅で仕事ができ子どもが幼稚園や小学校に就いている間だけの勤務時間で働ける在宅ワーク。急な子どもの体調不良等にも対応した休みやすい社会。または、月何時間等の制限がなく仕事がある場合は料金がかからずに幼稚園等の延長保育を受けられるシステム。例えば、月に20時間までは料金がかからずに早延長保育可能などの県や市の子育て支援政策があれば働いている人も自身の休みの日に罪悪感なく園に預けられリフレッシュ休暇を取れるのではないか。また週に数日働ける時間ができると人手不足等も解消されるのではないか。
- ・所得が増えると税金が発生するので、調整せず、頑張って働いて得た収入は増えた実感がほしい。累進課税で多くとられ、支援なく、収入が少ない家庭の方が可処分所得が多いのは労働意欲も減るし、納得いかない。自宅から近く自家用車で通勤可能で子供の急な体調不良でも休める。
- ・女性1人で育児家事仕事をする人が多いと思いますので、家事支援や仕事先の代替人員があれば仕事を辞めずに続けられるのではないのでしょうか。育児はやはり自分や家族の元でしたいです。例え保育園が早朝や夜遅くまで預かってくれても、子どもの生活リズムは狂い、2度とない育児の機会を奪われ罪悪感が残ります。
- ・女性が当たり前責任ある立場で働く。また管理職等の責任ある立場に就いても、男女とも基本的に残業のない働き方ができる。働きに見合った給与がもらえる。有給が取りやすい。
- ・女性だからと仕事を任せられない、時代錯誤な言動がある会社は如何なものかとまだ思います。安心して0才から子どもを預かってくれるしっかりしているサポートがあれば、両親は時間関係なく働きお金を稼ぐこ

とができます。男性、女性で見比べてもやっぱり育児に動き出すのはやはり女性が多々で、そりゃ、時間給で計算したら給料格差でますよね。保育園、学童、駅横や駅構内に託児所があるとかなり便利な気持ちがいっぱいです。もちろん、職場にもあると助かります。

- ・女性だけでなく男性も長期間の育児休業を取れること。また、その間の収入の保障。有給が取りやすい。男女区別なく時短勤務ができること。在宅勤務。昇進を望み、また、それに見合う能力のある人は男女問わず昇進ができるが、家庭に重きを置きたいなど、望まない人が本人が希望しないにもかかわらず昇進させられることがない。

- ・女性であっても能力に合わせて見合った給与がもらえること、休日の確保、子育て中の為、急な病気などやむを得ない事情の時に休める環境、リモートなど柔軟に対応できる環境、ライフスタイルの変化に合わせて雇用形態や就業時間を変化させることができる環境、子供が希望の保育施設にスムーズに入れることが理想(子供が0歳の時保育園を回ったがどこも厳しかった)。保活と就活の両立サポート(保育園が確約できれば就活もしやすい、求職中での保育園内定が厳しい為、就活を諦めざるを得なくなる)。

- ・女性にとってライフステージに大きな変化が生じる時期(主に子育て)と仕事上の責任の変化(昇進など)がある時期が重複しないこと。組織に余白があること。(休業しても代替の正職員がすぐ配置される、突然の休暇でもフォローできる体制が整っているなど。)フレキシブルな働き方が遠慮なくできること(在宅、フレックス、時短など)女性、子育て世代に関わらず全員がフレキシブルな働き方をしていること。フレキシブルな働き方ができるデジタル的な環境が職場、自宅に整っていること(山間地域はネット環境が悪くWEB会議でもちょっと心配なときがあります)。関係良好で健康な姑(または実母)がいること。とにかくなんかあってもすぐ誰かが切れ目なく子供をみてくれる環境や制度があること。外が明るくなる時間に起きて暗くなる前に家に帰りたい。

- ・女性の支援を充実させることはもちろんのこと、男性の働き方も変えないと働き続けることは不可能。いつも自分(女性側)ばかりが子どものために休んでばかりで、夫は全く休まない(休めない)。同じ親であるのになぜ?夫の意識の低さもあるが、働く環境、会社(社会)の意識も低すぎる。

- ・女性は特に子育て、家事、仕事と追われて自分の時間がないと感じます。人手不足だと言われていますが、女性をあまり働かせてばかりの環境ではなく、子供と向き合う時間も大変必要だと思います。今のままでは疲れはてストレスが溜まった母親に子供が育てられて、子供にとっても家族にとっても悪循環でしかないと思います。

- ・女性一般といっても、状況により異なるので一般論は言いにくい。シングルで育てていたので就学前や低学年の頃はなるべく子ども達とられるような働き方がよかった。ファミサポなど利用していたが、そういった補助やサポートがありがたかった。子どもが大きくなってくると教育費がかかるのでなるべく稼げる方が良い。ただ、配偶者がいると控除の関係で調整しながら働いている話はよく聞かすが、政策的に変えていくべき。今の時限的な対応では女性の就労意識も変わらない。個人的には、オンラインなど自宅にしながら働ける環境は体力的にも子育て上も非常に助かる。ただし、一般論で考えればオンライン化できない仕事(サービス業等)についている女性は多く、知識やスキルなどが無いためそういった選択肢がとれない方も多いのではないかと。稼げる金額と子育ての両立がしやすい働き方が増えることがよいと思うが、一方で子育てが落ち着いてからパート以外でそれまでの経験を活かせる仕事に出会っていきける仕組みもあれば良いのではないかと。ひとり親支援やファミサポなども、20時を過ぎると使いづらく、また病児保育も時間的な制約で結局一度も使えなかった。このあたりの使いやすさも両立させるには手厚くなるとよいのではないかと。

- ・女性上司でも理解がない人がいるので、必ずしも女性が上役ならいいというわけではないと思います。企業内に託児所がある会社で就業を始めましたが、助成が無くなるタイミングで閉鎖になりました。表面的な優しさを装う会社でした。一方で、子育て側も育休を長引かせるために敢えて競争率の高い保育園一択にする入園希望など、制度を精査する必要があると思います。とはいえ、自分の子供時代に比べて体制が整いつつあることは自覚しています。そして世の中に感謝もしています。

- ・女性男性問わず、誰もが共通した健康的かつ充実した労働環境・意識を作ること。

・女性働きやすい環境作り、出産後の子育て支援、付き添い学童のサービスもっと増やせること、病気のときの子育て支援、サポート。

・小1の壁というのを聞きます。小学校の放課後で学童習い事などの学年に合った習い事教室の連携や斡旋などで定時まで安心して働ける環境。テレワークがしやすい有給が時間単位で取得できる。中抜け・授業参観の間だけ休める。子供と遊べる場所の割引券などの福利厚生（ベネフィット）の提供など。

・小さいこどもとの時間を確保しながら働ける環境。

・小さい子どもは突然体調を崩すことがある。その時に柔軟に対応できる企業が増えて欲しい。子どもに何かあった時、母親が仕事を休まざるを得ないなど母親に負担がかかりやすい。父親、母親関係なく対応できるようにするべき。

・小さい子どもも一緒に働く場所で見れる会社に勤めれば、もっと早くから社会復帰ができるし、1人で子育てに悩まず、みんなで助け合えて、お母さんも助けてほしいと思います。お母さんが少しでも何かの障害がなくなって、笑顔になったら、子どもに対しても笑顔を振る舞えるし、家庭が明るくなるのではないかと思います。

・小さい子供が居ても保育所に預ける形ではなく職場と一緒に出勤出来る企業が増えて欲しい。

・小学校にあがったときに利用できる地域の学童があれば安心して働ける。あとは病児保育施設もあれば助かる。職場が遠いので奈良市で働きたいと思っている。

・小学校に入っても時短制度がとれる。フレックス制度がある。看護休暇が小学生に入ってもある。夏休みは特別休暇がもらえる。産休が今よりもっと早く入れる

・小学校に入学後の仕事のスタイルを継続できる環境。

・小学校の学童の充実。規則の多い預かり場となっている。保育園のようにのびのびと成長できる場であれば預けたいと思え、仕事時間が取れる。放課後自由に遊べる公園がほしい。禁止事項が多く子供達が遊べない。100年会館など市の施設でもボールもバドミントンも自転車も禁止で困っている。子供の充実した環境確保で初めて仕事との両立ができる。

・小学校やこども園のお迎えの時間に間に合う時間帯で働けること。子供の体調不良のときには休みやすいこと。

・小学校や幼稚園のPTA活動のように、なんの為に働いているのかをモットーに、働く人が役得やキャリアアップにもつながりつつ、チームワークや地域の方々への感謝も生まれる会社、奈良市になることがいい。できるひとができるときにできることを。

・小学生の朝の集団登校（特に1年生の間）小学生の学童について、平日は、習い事など行っているのを通うことは少なくなるが、長い休みの間だけでも、学童の受け入れをしてもらいたい。定時退行、有給がとりやすい環境。

・小学生の壁があり、保育園と違ってしょっちゅう有給をとる必要がある。小学生の預かりサービスがあれば助かる。家の家事を手伝ってくれるヘルパーさんなどがいるとありがたい。

・小学生を安心して預けられる場所が増えたら就労時間を増やすことが出来ると思います。

・小学生以下の子どもがいる場合、病気や警報、学級閉鎖など急な休みに対応してくれる場所の充実。正社員として働くのは難しいが、パートでも一律の時給ではなく、仕事内容やレベルに見合った時給が払われる環境になってほしい。もしくはボーナスや退職金など。

・昇給があり、満足な給与がもらえる。家事分担ができている環境。保育園、学童保育自分以外にお迎えに行く人がいる環境。

・昇給があって、子供の体調不良などの休みを取りやすい。

・昇給があり労働に見合った給与がある。

・昇給が見込める、離職率が低い職場。資格取得制度等、能力開発に理解があり手当がある。参観といった学校行事で有給が取りやすい。

・昇進、有給あり家事も仕事なのできちんと休みたい時に休める環境が整っていれば良いと思う。

・昇進がしやすく、能力に見合った給与がもらえる。遅くまで預かってくれる保育園/学童などのサービスがある。企業内に託児施設がある。夫婦とも定時に帰宅が可能。職場が近い。有給がとりやすい。転居を伴う転勤がない。

・昇進しやすい能力に見合った給料がもらえる。全体的に時給も上げて欲しい。保育園や学童の無償化、遅くまで預かってくれるなどの配慮。

・昇進しやすく、休みも取りやすい環境であること、能力や労働に見合った給料であること、祖父母が助けにきてくれたり体調不良の子どもの面倒を見てくれること、夫の仕事の安定。

・昇進しやすく、能力に見合った給料。夫婦共に定時帰宅が可能。職員が有給をとっても欠けることがなく、とりやすい。

・昭和の男性ルールの働き方ではなく、各個人に合わせた働き方が正社員でもできれば理想。柔軟に時期やその時の状態で自分で調整出来る余地があればいいと思う。

・障害児でも学童同様の時間帯で預かってもらえる環境があれば正社員でも働けるが、現状は厳しい。

・障害児をもったとしても、健常児と同じように保育園に通わせることができる。障害児を診られる病院が近くにある。障害児のきょうだい児を保育園に通わせることができる。保育園に障害児の支援ができる職員がいる。一人で移動できない障害児の通学に付き添ってくれるサービスがある。障害児の習いごとや療育への移動を手伝ってくれるサービスがある。

・上からの圧力の無い、皆んなが伸び伸びした仕事場。土日祝休み。交通費支給。

・条件無しで子供を預けられる所が居住地の近くにある。平日の日中出勤し、定時退勤できる職場で、休みも取りやすい。

・職種による基本時給の最低賃金を決めて時給を上げて欲しい。

・職場・託児所が近い、残業が無い。

・職場が、子育ての苦労や急な休みに理解がある。遅くまで預かってくれる学童や保育園がある。習い事もその時間に選択できる。金額的に気軽に利用できる家事サービスがある。

・職場がわりと近い。子供の急な病欠でも休みやすい。残業なく帰宅できる。土日祝も子供を預ける事が可能な保育園

・職場が家や学校の近くにあり、子どもが急な病気になっても、休みや早退等がしやすい職場だったら良いと思う。

・職場が近い(2)。

・職場が近い。休みをとりやすい。託児施設がある。

・職場が近い。子供が登校してから出勤し、子供の下校までに帰宅できる仕事が理想。小学校終了までは時短勤務できたら正社員を続けられたかも。

・職場が近い。短時間勤務でも保育園・学童に預けられて子どもがいない時間に家事をできる。

・職場が近い、成長できる、未来の仕事に繋がるスキルを身につけることができる、心身健康である。

・職場が近い、またはリモートワークが可能。有給がとりやすい。定時帰宅可能。現在得ている給与と同等以上がもらえる。

・職場が近い、もしくは公共交通機関で通いやすい立地にあること。勤務時間は子供が学校にいる間で、子供が帰宅する前に自分が帰宅できること。学校行事に合わせて休みが取りやすいこと。

・職場が近い、急な欠勤にも快く対応してもらえる、時短勤務が長く取得できる。

・職場が近い、急な早退や欠勤に対応してもらえる、こどもを預けられる施設がある。

・職場が近い、給料が安定している、有給を取っても文句を言われたい、家事代行に市からの補助がある、訪問型の病児保育システムがあり市からの補助がある、民間学童が充実している。

・職場が近い、子供が病気の時や学校の行事等で仕事が休みやすい職場、学童が遅くまで開いている、自分は義父母に家事や子育てのサポートを受けており常勤勤務が継続できているので、サポートが受けられる体制があると仕事と両立しやすいと考える。特に家事サポートでは、晩御飯の支度、買い物などサポートがあれば、

仕事から帰宅後に家事以外に時間を費やすことができる。

- ・職場が近い、充実した学童保育、夫婦とも定時に帰宅、休みがしっかりとれる
- ・職場が近い、定時であがれる、完全週休2日、保育園が近い
- ・職場が近い、有給がとりやすい、有給がある、給与が低くない、短時間でも働ける等
- ・職場が近い、有給が分単位で取れる、企業内保育園がある、気兼ねなく在宅勤務ができる。
- ・職場が近い、有給をとりやすい、やりがいがある、学童など子供のあづかり先の充実、子育て支援（年収制限の解除をしてほしい）。
  - ・職場が近い(2)
  - ・職場が近い。休みがとりやすい。
  - ・職場が近い。休みが取りやすい。サービス残業がなく帰宅しやすい。小学校の長期休暇に合わせて休みを取りやすい（学童に預けなくても働ける）。一月の勤務日数が少なくても働ける、など。
  - ・職場が近い。子どもたちが下校する時間には終わる仕事。昇給が年に一回はある。有給が取りやすい。
  - ・職場が近い。子どもの予定などに合わせたシフトが調整しやすい環境。
  - ・職場が近い。人間関係がつかうところ。
  - ・職場が近い。病児保育・学童サービスがある。
  - ・職場が近い。夫婦共に有給がとりやすい。能力に見合った給与。社会保険の加入。配偶者特別控除の適応範囲を上限をあげてもらえたら。
  - ・職場が近い。リモート勤務が可能。夫婦共に定時帰宅が可能。休みが取りやすい。保育園や学童、学校が自宅から近い。
    - ・職場が近い。学校行事や急な休みにも柔軟に対応してくれる。残業がない。
    - ・職場が近い。学童で遅くまで預かってくれて料金も安い。職場が子供や自分の体調不良等で休みやすいところ。子供を朝起こす必要があるため、?日朝からの仕事は出来ない。
    - ・職場が近い。企業内に託児施設がある。
    - ・職場が近い。休みを取りやすい。
    - ・職場が近い。個人の裁量が大きく、仕事の調整がしやすい（突発的な休みもなるべく他の人の負担にならない）。同じ立場の方が多い。
    - ・職場が近い。残業がない。
    - ・職場が近い。子どもが下校するまでに帰宅できる。子どもの体調不良の際休むことができる。有給が取りやすい。
    - ・職場が近い。子どもが幼稚園、学校に行っている時間（延長保育、学童なし）のみの就労。有給がとりやすい。有給が多い。暦通りの休暇。子どもの長期休暇中は短時間勤務や休暇がとれる。時短勤務がしやすい（勤務時間に見合った仕事量にしてもらえる、昇進に影響が少ない、時短勤務で働くことに肯定的な風土）。食事の準備をしてもらえる（食べるだけ、温めるだけで食べられる状態）。スライド勤務ができる。子どもを夜は早く寝かせたいため、16時頃には帰宅できるような生活サイクルが理想。
      - ・職場が近い。子ども関連（育休）で休むのと昇進が直結しない。子どもの都合で休みやすい。会社を数時間抜けるなど時間単位の有給がある。基本的に定時に帰れる。企業内に託児施設があり、職場復帰したいタイミングで確実に子どもを預けて復帰できる。又は保育園やこども園に入りたい人がいつでも入れる。
      - ・職場が近い。子育て期には、病児含めて子どもを預けられる環境。急な早退や遅刻が可能な職種や勤務形態。リモート勤務が可能であることが望ましい。
      - ・職場が近い。子供が急病の時休める。
      - ・職場が近い。時短勤務ができる。扶養内の収入制限が緩和されれば、もっと働く女性の労働時間が長くなると思います。
      - ・職場が近い。集団登下校の為、時間の自由がきかないので、短時間労働可能な職場（事務職で）。不登校の子どもがいるので、在宅ワークできる仕事。



・職場が近い。男性がきちんと定時に帰宅する（いつまでも帰らない人がいるから皆が帰れない）。女性が起業した場合、育休が取れないため出産育児が難しいので、何かサポートがあればいい。保育が7時までしか延長できないので、家族の協力が得られない人はキャリアを追求しにくい。

・職場が近い。遅くまで預かってくれる保育園、学童がある。

・職場が近い。能力に見合った給与。有給がとりやすい。福利厚生が充実。

・職場が近い。有給がとりやすい。夫婦とも定時に帰宅可能。

・職場が近いこと有給がとりやすいことそれに対し理解が得られること家庭環境に対して理解があること

・職場が近いこと、保育園が近いこと。病児保育があり、病院と提携して受診などしてくれていたら助かります。が、そういう時は休める職場が理想です。保育所のお迎えから自宅に送ってくれるサービスがあれば、夕食など早く食べさせてあげれたと思います。やる事が多く、大変だった記憶が強く、子どもの成長まで記憶できていません。大きくなった今、子育ては貴重な時間だったな一と感じます。もっとゆったり接したかったと思います。もう遅いですが...子どものことで休むと、子どもを理由に休めていいなと言われたことがありました。経験者の方が冷たいなと感じていました。子ども看護休暇という名前がダメなのかもしれません。職員に平等に休みが与えられれば良いのかもしれない。

・職場が近いことが理想。子供の行事、発熱、予防接種等両親ともにどちらとも休みやすい環境であること。夫婦ともに定時帰宅が可能。テレワークと出勤がハイブリッドで可能。

・職場が近いのは本当にありがたい環境だと思います。日勤帯の勤務時間でも、15分単位で働く時間が選べる、シフト制などのように、総時間で時間管理ができるなどは助かっています。日祝の保育サービスなどがあれば嬉しいです。

・職場が近く、こどものことで休むことに理解がある。同一労働同一賃金が守られる職場である。土日に休みやすい。子どもを同じ保育園に入れることが可能な環境。

・職場が近く、企業内に託児所があれば働きやすい。近くに頼れる身内や知人がいると安心。・職場が近く、急なお休みが取りやすい。定時あがり、18時には帰宅できる。子供の成長とともに、希望すれば非正規から正社員への転換ができる道がある。

・職場が近く、裁量労働制である。企業内に子供を預かってくれる施設があり、安価に利用できる。時短勤務やテレワークが主流。ダブルワークができる。

・職場が近く、子どもがいる事への理解がある。多様性のある働き方（勤務時間や勤務日数）への理解がある。

・職場が近く、子育てに関する有給制度がほしい。

・職場が近く、子供が病気になった時に休みやすい。

・職場が近く、子供の帰宅時間内で働ける。休みがとりやすい。

・職場が近く、子供の急な体調不良でも考慮してもらえるとありがたい。時短勤務可能。

・職場が近く、週2、3日くらいで、子どもが小学校や幼稚園に行っている時間だけ働けて、土日や子どもの長期休みは仕事が休みで、学校行事や子どもの急な体調不良の際にも休めるのが理想。幼稚園の預かり保育や学童の時間が朝夕長くなったり、保育園が利用しやすくなれば、仕事の選択肢は増えると思っはいる。

・職場が近く、職場に子育てに対する理解がある。

・職場が近く、直行直帰が可能であり、能力に見合ったお給料がもらえるとというのが理想。また、帰宅後に、翌日の予定を変更せざるを得ない状況になった場合の、就業時間の変更手続きを容易に出来るようになるのが望ましい（管理職等の許可申請を不要とするなど）。

・職場が近く、夫婦ともに定時に帰宅可能（子どもたちの保育園滞在時間を減らしてあげたい）。でも生活をしていくのに困らない収入がある。有給がとりやすい。奈良市にそういう職場があれば、喜んで転職します。

・職場が近く、夫婦共に定時に帰宅可能。有給等休みでも保育園に預けることができる。

・職場が近く、扶養など縛られずもう少し働きたい。

・職場が近く、平日勤務、土日祝休み、9時～17時の残業なし。

- ・職場が近く、有給、休みがとりやすい。昇給があるといい。
- ・職場が近く、有給が取りやすい。保育園が遅くまで子供を預かってくれる。
- ・職場が近く、有給が取りやすい会社。
- ・職場が近く。有給が取りやすく、働く時間を自分で決めれる。
- ・職場が近くて、学童のサービスが長期の休みの時にあるところ。有給が取りやすい。
- ・職場が近く休みが取りやすい。
- ・職場が近く有給が取りやすい。また子供を見てもらえる環境があることが就労につながると思います。
- ・職場が自宅から近い。会社に子を連れて行ってもいい環境。有給がとりやすい。
- ・職場と家保育園が近く、出勤時間が固定である仕事。
- ・職場と提携した保育園がある。時短勤務が小学校卒業まで利用することができる。時短勤務であっても、給料やボーナスに影響が出ない。朝は9時から出勤など時間に余裕を持った働き方が良い。
- ・職場と保育園、家が近い。プライベートや子どものペースに合わせて働ける。
- ・職場と保育所が自宅近く、通勤時間や送り迎えに時間がかからないことが理想です。復職の際に自宅近辺の保育所・子ども園に入れず大変困りました。小学校職員ですが、今の職場は子育て職員に理解があり、急な欠勤や早退は取りやすいのが大変有り難いです。ただ時短勤務が取りにくく、できれば朝は9時半など遅く出勤できるフレキシブルな勤務体制がとれるようにしてほしいです。
- ・職場によって、育休の取りやすさに差がすごくあるのが凄く困る。うちの夫に、男性育休の取得をお願いしたが、会社側に断られてしまった。うちは実家に頼れないので結局、夫には有給休暇を使ってもらい、産後2週間ほど育児してもらった。その後、色々大変だったし、会社の規模によらず、誰もがまとまった期間の育休を必ず取れる社会になってほしいと思う。
- ・職場に託児所があり、残業を断っても罪悪感がわからない程度に人員が足りている職場が理想です。また家事代行サービスが気軽に使えるよう補助があると良いかもしれません。
- ・職場に病児保育園がある。
- ・職場に保育所と病児保育所の両方があり、保育環境が良ければ安心して働くことができるのではないかと思います。私は保育士として、子ども小学校に上がったタイミングで働きたいと考えましたが、子どもの登校～下校の時間には家に居たい希望もあった為、時間が合わずに諦めました。短時間で時間に融通が効く、職場があれば働きたかったです。
- ・職場の人手不足解消。
- ・職場の理解と子供が義務教育終わるまでは時短など柔軟な働き方ができる長期休暇（夏休み等）時の充実した学童サービスや共働き前提での保護者会活動制度。
- ・職場は、近いに越したことは無い。私の職場は、昇進しにくく、時短勤務といえど、仕事量は通常と変わらないので、結局残業させられているのが現状。勤務年数10年ということもあり、子供が病気で迎えの連絡あったときなど、休みやすいのが利点。
- ・職場まで30分程度、年間休日120日程度で、能力や業務量に見合った給与が理想。看護師だが奈良は勤務条件が悪いと感じる。保育園には大変お世話になり感謝しているが、遅くまで（22時頃とか）、できれば土日祝も預かってくれると仕事の選択肢は増えたと思う。ジェンダーギャップの問題やワークライフバランスをもっと考える社会になってほしい。とはいえ雇われでは解決しないと思うので起業を考えている。
- ・職場や家の近くで保育園に預けることができる。夜遅くまで子どもを預かってくれるところがある。有給や時間休をとりやすい職場環境。休日出勤や残業が少ない職場。
- ・職場環境子育てに理解がある、人手に余裕があり休みが取りやすい、フレックス、就業時間ではなく仕事内容で評価されるなど。家庭環境夫婦内の役割分担が納得のいくものであること、経済的に余裕があることなど。
- ・職場環境がよく、能力に見合った給与がもらえる。給与に不平等がなく福利厚生がしっかりしている。家庭と仕事が両立できる状況が保てる。
- ・職場近い。週3くらい。朝10時くらいから4時までに帰れる。休みやすい。

- ・職場内に託児施設（病児保育も併設）がある。夫婦とも定時に帰宅可能。職場が近い。
- ・職場内もしくは近くに保育園があること。保育園等がたくさん選択できること。短時間でも働きやすい、理解がある職場。
- ・新卒で就職した正社員の職を出産を機に退職しました。その会社では子どもを育てながら働いている女性は管理部門にひとりしかおらず、営業職だった私は辞めざるを得ない状況でした。出産後はすぐにパートで働くつもりでしたが、保育園に入れず諦めました。この時、職に就いていない状況でも子どもを預かってくれる環境があれば、就職できたのではと思います。キャリアが絶たれてしまい、今までの努力が無駄になってしまったように感じたのを覚えています。子どもを育てながら時間の融通をきかせて働くには資格が必要だと考えました。大学に行き直さなくても取れる税理士を目指して、10年間専業主婦をしながら勉強し、合格しました。今でいうリスキングでしょうか。でもこれは、夫に稼ぎがありすぐに働かなくても生活できたこと、両親が健康で子育てを助けてもらえたことがあって達成できたと思います。10年以上ぶりに社会復帰してみれば、リモートワークが浸透しフレックス制度の導入や男性の育児休暇の取得などとても働きやすくなっていました。今働いている会社は特に、子育てだけでなく介護や自身の病気など、あらゆる状況の人にとって仕事を続けやすいような制度がたくさん用意されています。このような経験から、会社が変わることがいちばん必要だと感じました。子育て世代だけでなく、みんながワークライフバランスを実現できるような会社でないと、少子化の日本で優秀な人材を確保することができないと気付いてくれたらと思います。
- ・親や兄弟などのサポートがあれば就労可能かも？とおもいます。我が家のようなサポートを得られない家庭は、子供の急な病気の際に誰にも負担をかけることなく休むことができる、またはリモートの作業ができること、職場、保育園が近い、残業が少ない（多い場合はリモートで対応可）などの条件が必要でした。
- ・人員に余裕があり、家庭の事情による休みなどが取りやすい。定時帰宅が可能。
- ・人間関係が円満であること。子どもが体調不良などで休むことになっても、イライラされるのはしんどい。女性は陰口も多いし、振り回されたりしてつらい。
- ・人間関係のストレスがなく心身に無理がない程度に働くことが理想。自分の仕事の皺寄せが子供にいかないようにしたい。一番大切なのは子供にきちんと目を配ることができる状態で就業すること。
- ・世の中の共働きの男性には家事育児自主的に行動を起こす教育が足りていない。男子厨房に入らずとか亭主関白気取りの男性が多すぎる。口を開けて待ってたらご飯が出てくると勘違いしている（雛か）。家事育児の家庭内の協力がある上で仕事に出れる。当たり前のことなのに現状ではフルタイムで仕事をし家事育児と女性の負担だけが増えている。男性の意識の改革をしないとフルタイムで働きたいと思える女性は増えないのではないか。お金の面では男性の給料が上がらないため女性が働く。それなりの分担はするべきである。世の中の男性に聞きたい。親になったのは母だけなのか？
- ・世の中の役に立っていると思える仕事、会社側が理念を共有して従業員を大切にできる会社だと頑張っ働くことと思う。
- ・成果を重視しながらも、時間や勤務スタイルが可能な限り自由に選べる。子供の託児施設がある。有休を取りやすい。子供や家庭の有無で、不公平さが生じない仕組みがある。職場が近い。
- ・正社員でなくても能力や勤務年数に見合って給料が上がる。保育料の減額。病児保育の充実。有給が取りやすい。
- ・正社員でも気軽に有給が使えて、子供の参観などの行事にも参加させてくれる。基本は土日休みで、定時に帰りたい。
- ・正社員でも毎日16時に子どもを迎えに行ける。短時間勤務になる分給与は減るが、代わりにこっそり育児手当や応援金がもらえる。小学校卒業まで看護休暇が子ども1人につき8日もらえる。子育て中の親同士で助け合いやすい職場。
- ・正社員でリモートワーク、同一労働同一賃金、有給が取りやすい、子育て中の従業員に対しての優遇制度（参観などで休みを取るときに肩身の狭い思いをしたり謝らないといけない空気があるが、未来の年金を支える世代を教育費・時間・エネルギーをかけて育てている訳で、未婚や子どものいない同僚・上司等から感謝さ

れこそすれこちらが申し訳ないと思わせられる社会の空気を腹立たしく思う)。

- ・正社員で職場が近く、学校行事や通院時にフレキシブルに勤務を変更できること。有給が取りやすく、定時に帰れて、性別問わず能力に合った職種と給料が貰える。

- ・正社員で働くならば回答例にある通り。私の現実には就職氷河期で派遣社員、アルバイトばかりで正社員の職歴なし。1回目の結婚はDV夫。2回目の結婚で遅まきながら子供に恵まれたが、小さい時は療育が必要な子供だった。幼稚園から低学年まで6時間ほどのパートをしていたが、子供のメンタルに影響しだして仕事するのにとても悩んだ。それでも収入は必要で、今は週20時間以内の勤務をしているが、50代近くなり気力体力ともに毎日精一杯という感じ。子供が中学生になればフルタイムで働きたいとも思うが、夫はますます忙しくなるので自分が持たない気もする。女性の就業についての事を考えると辛くなってくる。質問の回答になっていなくてすみません。

- ・生活に合わせて勤務形態が選べ、パートであっても職務内容が同じであれば賞与、昇給などが充実されていれば継続して働こうと思える。

- ・生活圏内に勤務地があり、子ども体調等で欠勤しても差し支えない職場環境であればよい。

- ・声をあげやすい、声の通りやすい企業。少しでも就労時間を過ぎると残業手当をつけてくれる。暗黙の了解がなくクリア。子どもが長期休暇の時は一緒に休め、園や学校に行ってる間に働ける。

- ・前職は体力的に難しくなってきたので、新たな仕事をしたいと思うが、年齢的にも未経験だと応募しにくい。子どもがいるから、時間も短時間しか出来ない中で、未経験でもできる仕事はないかどうか知りたいです。

- ・全体的な賃金アップ。安心して働ける福利厚生。女性が働きやすい環境(急な休みがとりやすい、代わりの人がいる)。気持ち的にも時間的にも誰もが余裕をもって暮らせる生活。

- ・早い時間から保育園があいている。自分が体調を崩した時に休めるよう、子供をみてくれるところがある(土日でも)。夫婦とも定時で帰ることができる。有給が取りやすい。

- ・早朝や深夜、土日祝も預かってくれる保育所があれば、前職をやめずにシフト制の仕事を続けることができたいと思います。また、急病の時の子どもの対応は私になるので、急でも預かってもらえる病児保育所がたくさんあれば助かります。あと、配偶者にはパートだからと言って、簡単に仕事を休めるとは思わないでほしいです。

- ・体力的にも精神的にも人間らしい生活を送りたい。市が取り組んで解決できるのか疑問。生活保護の家庭の保障などを見直して欲しい。

- ・待機児童がなく、行きたい所に入れて学童施設も整っており、かつ時間の融通が効く所。定時帰宅や有給が我慢なく取れ、急な休みにも対応可能な状況だと良いなあと思います。

- ・託児が出来る、小学生の子供には学童のような施設がある、シフトに融通がきく

- ・託児付きの職場。子供の急な熱などで休む際に、休みやすい職場。

- ・託児環境を整えば就労したい。子どもに持病などがあると託児できる場所はほとんどないか、希望どおり託児はできない。

- ・託児施設がある、もしくは提携している保育園などがある。時間に融通がきく。フレックスなど在宅勤務可能が一番働きやすいと思う。夫とその時々で出来ることを分担して柔軟に対応できると助かる。

- ・託児施設のある企業、病児保育の充実、休みの取りやすい職場、同じ境遇の方が多く働いている職場。

- ・託児施設のある企業。子どもが病気になったときに休みを取りやすい。

- ・託児施設のある職場。急なお迎えにも対応してくれるサービス。

- ・誰かの理想を叶えるために誰かが苦勞するので意見を述べることは不毛。女性が働きやすい職場の男性は働きにくいし、子育てしやすい職場の未婚や子供がいない人は働きにくい。就業環境や生活サイクル以前の問題。

- ・短時間でも預かってくれるところが欲しい。パートで時給であっても、能力に合わせた給与にしてほしい。子どもの学校行事や体調の変化で融通のきくような配慮がほしい。

- ・短時間で高収入（子どもにも時間を取りたいので）、ボーナスなど正社員と同じ待遇。
- ・短時間勤務や、看護休暇をとっても、フォローできるだけの人員配置があると、取りやすい。夫の有給がとりやすくなってほしい。
- ・短時間勤務やリモートワークが充実している企業。
- ・短時間勤務や勤務日数が少なくても、正社員として就業でき、生活できる程度の収入が得られる。短時間勤務でも保育園に預けられる。子どもの体調不良や学校行事などで休みを取りやすい。夫婦ともに在宅勤務や早く帰るなど融通がきく。たまには自分の自由な時間が確保できる。
- ・短時間労働、無理のない業務の配分柔軟なテレワークの実施、通勤時間が短い。
- ・短時間労働ができ、休みが取りやすい。両親が共に遠方のため子供の病気、長期休業のときに休み対応できる職場が理想的。実際にそんな企業はないこともわかります。ワンオペ育児のため幼稚園、小学校に行っている間で勤務できる職場。
- ・男女の収入格差が大きく、夫の月収が私の正社員時代の年収に相当することもあり、私のほうが仕事を辞めて育児や家事をするしか選択肢なかった。でも、社会との接点はほしいので、家事に影響しない範囲で働いている。短時間や家でもできる仕事があれば、ありがたい。
- ・男女の労働時間の差や収入の差を減らすと、子育てに夫や男性に参加してもらえと思う。うちは収入格差があるので、パートである程度の労働時間があっても、夫に協力を求めにくい
- ・男女や既婚単身に関係なくワークライフバランスを重視し尊重される環境が理想。長時間労働がなく、過剰なサービス提供は不要とできる社会。
- ・男女同等にやりたい仕事を思い切りできる。働き方にもう少し自由度があればいい。休みをもっと増やし、取りたいときに取れる。保育園も入りたい時期に入りたい園に入れる。ワークライフバランスを考えて会計年度職員に転職したが、本来であれば子育てにも十分関わることができ、かつ正社員でありたかった。ただ現実には両立はスーパーウーマンしかそれは無理じゃないか。もっとゆとりを持って生活したいと思い正社員は諦めた。
- ・男女平等で教育を受けて来た世代。もはや親世代も、家を守る覚悟や伝統を受け継いでいない。子育てや介護は、社会で担うという認識を高め、専業主婦や中年男子の意識改革が必要。
- ・男性が育児や家事へ参加することを積極的に推し進める企業風土、仕事と個人の生活（健康、家庭）のバランスが大事だという認識が社会全体に広まればいいと感じます。モデルケースとなる会社やその仕組みを紹介し、企業に意識改革を促す取り組みを進めていただきたいです。
- ・男性の意識改革。再教育。共働きでもまだまだ家事育児は女の仕事と思っている男性が多い。例えば女性が専業主婦であっても育児は夫婦2人でやるものだというのを義務教育のうちから教育カリキュラムにいれるべき。
- ・男性の育児家事率が低すぎる。残業が多い。働きすぎ。残業代が出ない。社会から変えていかないとダメだとおもう。
- ・地域で子供を見守り育てていくような環境。新しい住宅地でもあり、フルタイムで働いているのもあり、地域の方々との繋がりがほとんどなく、近所で見かけてもどこの誰かをお互いに知らないことが多いので、お互いに声かけができるようになればいいと思う。今のままでは、ただ家がここにあるというだけで、子供たちも地域への愛着が湧きにくいし、自分たちが高齢になったときや、災害発生時などに支え合いができるのか、不安。
- ・地域の協力があり、働く女性に理解のある環境です。富雄北小学校は集団登下校の保護者の負担が大きく、働く母が増えてきて当番がどうしても立てられない日もありますが、地域ボランティアさんによっては「昔は母親が自分の子供をみていた。母親が働くなんてワガママだ」と小学校の集団登校役員の集まり（平日午前中）で全員の前で話されたり小学校の入学説明会でも教頭先生が「皆さん誤解しないで頂きたいのは、本来であれば自分の子供は親がご自身で見守るべきであり、働く母が増えてきてそれが難しくなってきたことで、地域ボランティアさんの力をお借りしたり、保護者全員で当番制にして少しでも負担を減らしているだけで、本来の

登下校の見守りは保護者皆さんがご自身ですべき仕事です」と堂々と話されていて、富雄北小学校以外の近隣の小学校では1年生から当然のように子供だけで登下校しているのにも拘らず、あまりにも視野が狭く時代錯誤な考え方を立場ある人が入学式という場でご自身の価値観を押し付けるように話されたことで、この小学校に入学して良かったのかなとモヤモヤとしました。

・地域的にパートタイマーで働く家庭の子供を預かる施設（重に夏休みや冬休みなど長期の休みの間安くて預かって貰えるところ）があればありがたい。鍵っ子は何かあった時困るので働けないという方も居るし、誰か見てくれるだけで助かることは多いと思います。あるいは仕事場に子供を見てくれる場所を作って貰えたら。

・遅くまで、年末年始やお盆も関係なく預けられる保育園がほしい。育休を取得しても、昇進期間が伸びないようにしてほしい。

・遅くまで子どもを預かってもらえるサービス。

・遅くまで子供を預かってくれる施設やサービス。出来れば安いと続けやすい。有給で時間給が取りやすい職場でリモート出来る。配偶者の理解があり家事育児を一緒にしてくれる。

・遅くまで預かってくれる、教育の充実した学校（学習塾と学童がセットになったような場所）。今の学童は、預けても遊ばせてもらうだけなので。後もう少し申し込みを簡単にしてほしい。働いているから学童に預けたいのに、手間がかかる。兄弟で同じ事を、何度も書かされる意味が分からない。マイナンバーで就労を調べたら良いと思う。申し込みや書類で聞きたい時に、市役所へ電話しても不親切。対応したく無いなら、こちらにも手間をかけさせないよう、法整備等行って市役所で全部調べてくれたらいい。

・遅くまで預かってくれるサービス。職場の近さ。有給休暇が取りやすい。

・遅くまで預かってくれる学童がある。

・遅くまで預かってくれる学童サービスが家の近くにある。職場に託児施設がある。子どもが急に病気になってもすぐに早退、休める職場環境。親の介護と両立できる職場環境。家の近くに安くて信頼できる介護施設がある。職場から近い。

・遅くまで預かってくれる学童などのサービス。病児保育が利用しやすい。家事を家族全員で分担。有給がとりやすい。学校の授業参観や個人懇談をリモートで行う。

・遅くまで預かってくれる学童のサービスがある（小1の壁が不安です）。子供が病気の際に、家に育児をしに来てくれるヘルパーさんが来てくれる。月に数回、家事や育児をしてくれるサービスがあると嬉しいです（割引でもいいです）。在宅勤務・フレックス勤務が可能。

・遅くまで預かってくれる学童や、近所に働く時間帯に融通がきく職場があれば、就労可能かな。・遅くまで預かってくれる託児施設が近くにある、病児保育が必要なとき利用できるようなあったらいいと思います。

・遅くまで預かってくれる保育園。気軽に預かれる託児施設。企業内に託児施設。子供に何かあった時休みやすい職場環境。有給が取りやすい。

・遅くまで預かってくれる保育園、学童サービス。子供が病気の際も預かってくれる場所。近所での就業。

・遅くまで預かってくれる保育園。土曜日も特別な申請なく預かってくれる保育園。病児保育のある保育園もしくは職場。何か急な用事の時に（子供の体調不良でお迎え申請があった時、自分が事故などで動けない時など）、頼れる距離に両親がいること。有給が取りやすい、スタッフの人数に余裕のある職場。

・遅くまで預かってくれる保育園。急な発熱などによる早退や有休の取得。警報や、学級閉鎖などによる保育園休園時の有休取得。時短勤務。残業なし。職場が近い。

・遅くまで預かってくれる保育園／学童などのサービスがある。子どものお弁当を作らなくてよい（給食・バンピーランチ）。何かあったときに頼れる実家が近くにある。夫婦とも定時に帰宅が可能。職場が近い。有休がとりやすい。子どもが登校してから出勤できる。終業時刻が早い。リモートワークが可能。子どもが小学生でも時短勤務が可能。

・遅くまで預かってくれる保育園や学童（多少の迎え時間の遅れで延長料金がかからないようにして欲しい）。急な土日出勤に対応してくれる保育園や学童。安心して利用でき予約が確実にとれる病児保育園。子どもの体調不良や行き渋りの際に職場に子どもを連れて行くことができるなど、臨機応変を受け入れてくれる職

場の環境と同僚や上司の理解。

- ・遅くまで預かってくれる保育園や学童がある、残業が少ない、有給がとりやすい、産休・育休後の復帰がしやすい（部署異動などの負担が少ない）、夫婦とも定時帰宅が可能。

- ・遅くまで預かってくれる保育園や学童がある。有給をとりやすく、自宅から職場が近い。夫婦で家事育児分担する。共働き夫婦で補いきれない育児を周りの人の助けを借りれる環境をつくる。

- ・遅くまで預かってくれる保育所もしくは学童がある、急な用件でも休みやすい、小学生に上がった際に放課後に学校や施設がこどもの面倒を見てくれる、集まれる場所が近くにある

- ・遅くまで預かってもらえる保育園・学童定時帰宅希望常勤でも、日勤だけや、時間調整できるなど、家族の状況により、勤務体制を選べる制度。

- ・遅くまで預かってもらえる保育園がある。職場の時短勤務の期間を長くしてもらえる。時短勤務中も昇進や昇給が可能になる。リモートワークやフレックスタイム勤務を選択出来る。

- ・中学校でも給食の提供がある。子どもが安心して過ごせる場の提供。近隣での就労か定時で帰れること。子どもが病気の時や行事の時の休暇取得がしやすいこと。

- ・朝が少しゆっくりめ子供の学校の間だけ働けることが理想

- ・朝の渋滞の緩和（通勤時間の短縮）、小学校低学年児童の習い事への送迎（学校から公文へ安全に連れて行く）

- ・通わせている幼稚園が特殊で、預かり時間が短く、延長保育も人数が限られています。園行事も多く、父兄の参加がとて多い園です。そんな幼稚園なので、専業主婦でないとお迎えや行事に行けなくなります。でも、家計はやはりしんどいので働きたいのですが、とても働きに出る事は出来ません。在宅ワークで時間に縛られずに空き時間に仕事が出来たらどれだけ助かるかと思いながら求人情報を見ているのですが、なかなかそんな条件の良い仕事はないんですよね。条件が合えば直ぐにでも働きたいです。

- ・通勤しやすい（時間がかからない）。時短勤務できちんと帰ることができる。時短でも収入は元の金額と同額支給される。有給が取りやすく、休みの日に仕事の連絡がない。時短でない場合も定時で帰ることができる。

- ・通勤のしやすさ、職場環境の良さが一番です。子供の体調不良などで急な休みでもオッケーな職場でシフトが自由に組めるところ。時給が仕事に見合っているところ。事務職希望ですが、奈良は時給が安すぎる。

- ・通勤距離が短く、子どもが急病でもすぐに駆け付けることができ、休みやすい環境で在宅勤務にも対応できること。子どもが不登校でも母親が仕事を諦めずにすむ環境。周りに頼れる人がいる環境。

- ・通勤経路に保育園がある。時短勤務であっても成果が出せる業務への従事。帰宅後夕飯の準備などの間子どもを見てくれる人手。ファミサポより急でも気軽に頼めると嬉しい。

- ・通勤時間が45分未満でリモートワークができること。正社員での年収が400万円程度、手取りは最低でも20万円あればありがたいと思います。また、自宅と職場が近いこと、家賃補助などがあればうれしい。

- ・通勤時間が短い。

- ・定時が17時台。定時で帰れる。能力に見合った給与がもらえる。職場が近い。有給が取りやすい。子どもの看病のための休暇がある。持ち帰り仕事がない。

- ・定時で帰れる

- ・定時で帰れる。子どもの体調不良で子育て中の親が帰っても、びくともしないような仕事場の豊かな人員。

- ・定時で帰れる。子育てに理解があり、勤務時間を調整してくれる。休みを希望すればちゃんと取れる。能力に見合った給与がもらえる。

- ・定時で帰宅できる仕事量、時短しても仕事量は変わらない。勤務地への通勤時間考慮（1時間は遠い）。女性だけでなく男性も帰れるような配慮。保育園は延長で20時まで預かってもらえるので助かっている。帰宅後の家事負担軽減。大和西大寺駅近駐輪場（北側）。

- ・定時にあがれる、有休がちゃんとある、制服がある（またはリモート）、集まり（宴会など）がない.....あたりが個人的な理想ですが、正直まだ子どもが小さいので就労の意思は全くありません。夫が頑張っていてくれるため、金銭的にも困っていないのもあり、一生のうちで限られた、我が子どもとの蜜月の日々を誰

にでも代わる仕事（わたし程度の能力ですとこうなります）で手放す気持ちもありません。が、末子が中学生くらいになるまで家庭にいと、わたしもいい年なのでそこからの社会復帰も厳しいかな？とも思います。この時勢、死ぬまで専業主婦は現実的でないと思うので、時期やタイミングが来ればパートや非正規の職などに就き、死なない程度に生きられたらと考えます。

- ・定時に帰れて、有給が取りやすい。通勤に時間がかからない。18時半までには帰れる。
- ・定時に帰れる。子育てと両立しやすい仕事。
- ・定時に帰れる。職場が近い。子供を預けやすい子供が楽しめる学童サービスがある。
- ・定時に帰宅授業参観などのための有給がとりやすい
- ・定時に帰宅職場が近い有給がとりやすい
- ・定時に帰宅したい
- ・定時に帰宅できて、家でゆっくり家族と会話できる時間が持てること。
- ・定時に帰宅できる急な休みに対応してくれる時短勤務可能
- ・定時に終わることができる業務量であること、社内が定時退職することが普通である環境、在宅などでも残業可能であること、リモートワークが可能なこと。

・定時に上がれて、子供の病気やイベントの時に有休を快く促してくれる環境。職場が近く、自家用車での通勤ができること。

- ・定時帰宅
- ・定時帰宅子育て支援が手厚い子ども優先で休みやすい有給がとれる
- ・定時帰宅。子どもの急な発熱時に代替が頼みやすい職場環境。
- ・定時帰宅。職場が近い。有給取りやすい。子どもを育てる人のことを考えてくれる。
- ・定時帰宅ができる、残業がない男性でも急な休みでも取りやすい有給が取りやすい宅配や宅食の充実化・低料金化就業時間の見直し勤務形態の多様化

・定時帰宅ができる。希望すれば保育園に入れる。

・定時帰宅が可能子育てに理解ある環境（突然の早退や休暇）

・定時帰宅が可能。（その場の雰囲気にもまれない）私1人が抜けても余裕のある人員配置標準保育が18時半までの保育園

- ・定時上がりが可能（残業なし）在宅勤務が可能有給が取りやすい（突発的な休みを含む）
- ・定時退社、看護休暇あり、給与に見合っている業務内容
- ・転勤のない社会。地方にも学歴に見合った職業の選択肢があること。
- ・転勤や引っ越しなどで身内が近くにいない場合は母親のみの負担が大きくなるバンビに通わせてもお迎えは母親なら正社員で働くのはほぼ無理いつ転勤で奈良を離れるか未定で定職に就くのが難しいパートやアルバイト勤務で長期休み（夏休み、冬休み、春休み）のみバンビに通わせたいバンビには通わせず母親が在宅で仕事ができる仕組みを作るなど各家族の生活スタイルに合わせて保護者が選択できる仕組みをもっと現実を見て考えていただきたいです。

・田舎なので子供の習い事にしても必ず送り迎えがいる。そうすると正社員で働くのは厳しいし主人は仕事休めないで子供の病気などは私が仕事を休むのでやむを得ずパートになる。学童費も3人入れれば高くなるし、1ヶ月の学童費はかかるのに病気で仕事を休むと収入は減る。なのでせめて学童費は日割りにする。子供の教育設備が整ってる。近くに大型スーパーがある。などが必要。この土地の生活環境を考えての就労なので、まず第一に職場環境云々より生活環境を整えてほしい。

・登園、降園時間が融通の効く保育園。保育園の送迎がある限り、女性教員が担任を持つことは現実的になり難しく、他の教員と同じように働けないのが現実。この環境はたとえ異動したとしても変えることは難しいと思います。教員専用の保育園などが近くに設置されたら環境はガラッと変わるのではないかと思います。

・都合の良い時間に働けて、子どもの行事や休みに合わせた休みが取れる。または、子どもの学校が休みの日だけ預けられる施設（学童の短期利用）が、1日、月の就業時間に関わらず、希望日に使用できる環境。特



に長期休みのみ利用できる仕事しやすい。

- ・土日が休みで、尚且つ、子供達が帰ってくる頃に自分も帰宅できる、このような職場が理想です。
- ・土日に快く休みをもらえる。学校行事等のときに休みをもらえる。職場が近い。夕方から夜の時間はシフトに入らなくてもよい。
- ・土日に子供を預かってくれるところがある。
- ・土日に小学生を預けられる環境
- ・土日は休み学校の夏休み春休み冬休みに合わせて休み 9 時入社 14 時退社
- ・土日祝が休みである。同一の仕事量であれば、時間内に終わろうと時間外までしていようと、同額の給与をもらえる事。
- ・土曜日でも時短ではなく平日と同じような時間で保育園で預かってほしい。
- ・土曜日でも夜遅くまで預かってくれる保育園子どもと過ごす時間が減ってしまうので、早く帰宅したい人もいると思う。実際、夜間の方が時給が高かったりするので、昼間の給料を上げると働き易いと思う。
- ・働いていても、安心して子育て支援が受けられる環境が欲しいです。特に新一年生になる子供がいますが、通勤と登下校の両立な難しいです。今は施設看護師をしていますが、リモートワークやフレックスがなく、正社員を継続した上で、一時的に時短勤務を維持させてもらうなど、サポートが欲しいです。子育てと就労の継続は難しい現状です。特に看護師は夜勤がないと正社員になることができず、病院勤務が理想でしたが諦めました。子どもの看護休暇も無給で申請はできません。隣の大阪の方が働きやすいので、スキルアップ後リモートワークで転職も検討しています。
- ・働いている人をもっとわかりやすい形で尊重してください、働いている人が税金を納めることをバカらしく思わないようにしてください。専業主婦が働いていくようにしないと、奈良県も日本も経済力が上がらないはず。色々ばら撒いて、働かなくてもいい暮らしを提供してしまってるのは地方自治体なのでは？
- ・働きたい人が働き、働きたくない人は扶養に入っても十分生活できるだけの給与水準の引き上げ
- ・働きながらスキルアップ。職場近く。休みやすい。補助が充実
- ・働きやすい環境（持病ありなので休みやすい等）
- ・働きやすさ仕事場の人達、会社の理解
- ・働き方改革が進んでる中でもまだまだ働きにくい。やはり母である以上子育てを一番に優先しながら仕事をしたい。病気で休んだり、早く帰ってあげたい。けどそんな中自分のスキルアップも大事。もっと各それぞれに合った働き方が出来る社会になればいいと思う。子育ても仕事も大事。けど子育ては長いようで短い。だから自分の子育てが終われば今の倍頑張り、逆に子育て中の部下がいたら助けてあげたい。気軽に子供の為に休める環境を作ってあげたいと思う。
- ・働く以外での子供への手当、母子家庭だけが収入困難ではない。共働きでもこの物価高で収入に支出が見合っていないこともある。ひとり親以外でも支援は必要
- ・働く事は大事だと思うが子供が安心して帰ってこられる家をつくることも大事だと思うので子供が行く時間には見送ってあげられ、帰ってくる時間には親がおかえりと言ってあげられる環境や急なお迎えや早退にも迷惑をかけず対応できる就業形態（在宅ワークなど）と安定した収入子育てしながらの就労は必ず誰かに負担がかかると思うので、必ずしも外で働くことを前提としない就労方法やもっと自由な枠組みが必要だと思う
- ・働く時間、休み、子どもの長期休みを融通してくれる
- ・働く時間を選べること。
- ・働く上で必要なのは家族の協力。主人が病気で約 4 年間休職していた為、私が正職員で介護福祉士として働いていた。ただ、仕事に加えて家事も育児も全て自分の肩にかかっていた為、休みは殆どなく、朝も昼も晩も働く生活だった。夜勤は月 7 回～9 回入っていた。約 5 年は続けたが、からだの方が先に参ってしまい、めまいが頻繁に起こるようになってしまった。合わせて介護の人手不足による業務内容や人間関係の劣悪さもあり、介護の仕事に心底嫌気がさってしまった。主人の病気が回復し、普通に働けるようになったタイミングで、自分の仕事を変えた。今現在は、からだに無理のない範囲で保育園で働いている。保育士はまともな方も多い

為、普通に会話ができる。人間関係に煩わされず、仕事に集中出来るようになり、理想の環境になったといえる。仕事を週一回だけに減らした為、子どもの急な病気にもすぐに対応出来ることや、子どもとの時間が増えて満足している。主人が仕事だけでなく、家事や育児も分担出来るようになれば自分の仕事の時間を徐々に増やしていきたい。私は、勤める職場の人間関係の良さを一番に希望したい。仕事が生んどくても、人間関係が良ければ頑張れることもある。

- ・働く場所、時間の裁量権がある。有給を制約（物理的・精神的）なく取得できる。転職に有利なスキルを伸ばせる。やりがいがある。リモートで働ける。職場が近い。高年齢でも就職できる。

- ・働く日数、時間が自由に組めることが理想。勤務時間が固定であっても、終業を15時にするなど、子どもの迎えや買い物に行く余裕がある。短時間勤務でも収入が良い。急用などでやむを得ない場合に、事前申込みがなくても利用できる預け先も必要。

- ・働けば収入は得れますが、幼稚園の預かりにお金がかかるので、何のために働いているのかわからなくなります。補助もありますが、条件が厳しく、幼稚園行事や子供を主体に考える生活スタイルでは働けないなど思っています。

- ・働けるだけ働きたい。給料も欲しいけど、社会の一員として自分の居場所が欲しい。収入の壁が邪魔でしょうがない。昇進して認められる喜びがある一方、働く時間が減るのがつらい。

- ・動ける医ケア児、気切子を預ける場所を作って欲しい送り迎えを代わりにして欲しい動ける気切子の医ケア児をスクールバスに乗せて欲しい医ケア児。障がいのある子の書類が多すぎるから少なくして欲しい動ける気切子、医ケア児の将来のこと、道すじを作ってくれば、イロイロ考えて動いたり活動しなくて良くなり時間が増える上の質問で回答した不満を解消してほしい医ケアのとりまく環境を変えて欲しい動ける気切子の親への負担を軽減して欲しい融通のきいてくれるところ賃金が高いとこのほうが望ましい通いやすいところがいい

- ・同一労働同一賃金、能力にあった賞与余裕のある職場

- ・特になし(3)

- ・特になし。女性だとか男性だとか、特に考えたことはない。自分のしたい仕事もしくは、今の自分自身の生活スタイルにあった仕事を選べばいいと思う。優先したい条件は様々あると思うが、全てが叶うわけでもないと思う。これだけはというものもあれば、妥協しないといけない点もあることを考えて就労していくべきだと思う。

- ・突発的な子供の病気や通院が起きた場合に休みづらくない様な環境。

- ・奈良の最低賃金が上がったのはうれしいが、扶養内で今の仕事を続けたいと思っても103万以上は稼げない所を改革してほしい。せっかく子どもも大きくなり時間に余裕ができたのに、収入を計算し働く日数をセーブしないといけない。

- ・奈良も最低賃金を大阪並みにしてほしい。ひとり親家庭以外にも収入に応じて支援が欲しい。

- ・奈良市で保育士をしていた時は、仕事に見合った給料が支給されず1日働く事は非常にしんどかったです。今は、自分の健康や気持ちを維持するためにも、奈良市以外の地域で3.5時間と言う働き方をしています。奈良市は保育士が足りないと言う事ですが、もっと働く時間や給料等、考慮していただけると働き手も見つかると思います。

- ・奈良市の公立の小中学校のいじめ防止、どこの学校も先生がダメ熱心ではないと聞きます。子供がまず学校でゆっくり落ち着いて机に向かって勉強に集中出来る環境をまず作って欲しい。保護者にも責任がありますが、道を広がって歩いたり当たり前の事ができない子供が多いです。子供が安心出来る学校と学童等の場所がある事。職場の人間関係が一番です。同僚と休みがかぶらない。子の看護で連続して休みたいが、同じような家族構成の同僚と勤務すると休みがかぶって休めない。子供の習い事のお金が高額になるので補助金があれば助かる。

- ・日によって、働く時間がかえられる。通勤時間が1時間以内。有給がとりやすい、もしくは子育て世代独自の有給制度がある。(子供との時間確保など)希望するタイミングでの職場復帰(兄がいると1年以内に復帰

という制度の撤廃。子供が一歳前後は復帰してもご飯などが手がかから時期で、親の負担が大きすぎる。) Q57が複数選択できませんでした。

・日祝が休みでも正社員として働ける環境、保育園が土曜日のみ預かり時間が短く有給を使って退社するしかなないので保育園の預かり時間がきちんと平日と同じになる状況が理想。

・日本人は同調圧力が強いので、国や役所、上に立つ方々がかわる教育を受けなければならないのではないのでしょうか。身体にしみこんだ、昭和世代の考えが、私自身もなかなかとれず...仕事の休みを取るのに追い目を感じてしまう。。有休は消化して当たり前、子育てで休むのはあたりまえ、介護で休むのは当たり前のよの中になるには、上司からかわってもなわなければならないですし、何より人で不足を解消しなければならない。少しずついい方向に向かうことを切に願います。

・日曜日に預けることができる施設。

・入りやすい保育園があり、遅くまで預かってくれる

・年功序列、男性優位ではないフレキシブルな職場

・年次で昇給するのではなく、能力や勤勉手当で給与は考えるべき。それにより、フレックスや自由勤務で、それぞれに見合う給与にすれば、欲しい人は頑張るし、そうでない人はそれなりに。それなりの人が頑張っている人よりもらうこともなくなる。

・年齢制限ない社会保険に入れる

・能力が合う給料、営業主が主婦にの理解できる。有給がほしい

・能力が発揮できる環境でありつつ、家庭の事情を優先し、子どもの体調不良時等に休める。人間的にギリギリではなく、ある程度の余裕がある職場がいい。

・能力と仕事内容にあった給料がもらえる。急な休みでも快く受けてくれるママさんにも働きやすい環境。

・能力にあった給与学童が遅くまで預かってくれる定時帰宅子育てに理解のある職場買い物代行、お迎え代行、家事代行など細かいサービスの充実子育てを休憩していいムード

・能力にあった給与がもらえる有給が取りやすい

・能力にあった給料民間学童の充実民間学童を駅近くに作ってほしい国立小学校にも学童を作ってほしい

・能力にあった給料がもらえる。急な休みにも対応できる人材がいて、有給をとりやすい。定時に帰るのが当たり前の社風。定期的にリモートワークができる。

・能力にあった給料がもらえる。子供が熱を出した時に預けれる場所。

・能力に見合った給与休みが取りやすい近い職場

・能力に見合った給与がもらえる、残業がない、土日祝休み、有給がとりやすい、夫婦ともに定時。奈良県の給与が安いので大阪等に出なければならないのがつらい

・能力に見合った給与がもらえる、時短業務の充実、週休2日以上以上の休暇。有給休暇やリフレッシュ休暇の使用のしやすさ。子どもの体調不良等急な欠勤への対応配慮。職場が近い、交通の便が良い。親の休暇日でも預かってくれる保育園(親の通院等を考慮して)。

・能力に見合った給与がもらえる(2)

・能力に見合った給与がもらえる。子育てに優しい理解のある会社。お互いに助け合える。職場が近い。休みが取りやすい。定時に帰宅可能。

・能力に見合った給与がもらえる。看護休暇等の福利厚生が充実。夫婦共に残業が少ない。

・能力に見合った給与がもらえる。企業内に託児施設がある。職場が近く、有給が取りやすい。緊急時の病児保育などが利用しやすい。看護休暇や子の行事休暇などが充実している。

・能力に見合った給与がもらえる。時短の人もフルタイムの人もお互いに負担なく働けること。男性も育休や時短が取りやすく、収入面でも安定すること。

・能力に見合った給与がもらえる。柔軟な在宅ワークが可能か、家の近くで就業できて定時に帰宅したら、子どもの習い事の送迎など、家族のことに関われると思う。今は、夫が早く入社して早めに帰宅してくれるから成り立っていると思う。お気づきかと思いますが、57番が複数選択できない仕様になっておりました。

・能力に見合った給与をもらえる。裁量労働制でノルマをクリアしたら帰れる仕事が良い。(子供と過ごす時間を増やしたいが、労働時間が不足するのも避けたい。時短勤務だが、もっと早く帰れる方法があればベスト) 参観や学校、園行事に中抜けという形で自由にいけて、仕事に戻れる仕組みを構築して欲しい。

・能力に見合った給料、通勤時間が短くなる(リモートなど)、定時で帰宅

・能力に見合った給料、有給が取りやすい、遅くまで利用できる保育園等の施設の充実、子どもが体調不良時などに帰宅しやすい職場環境

・能力に見合った給料。子供の熱などで帰りやすい。

・能力に見合った給料。休みたい時に休みが取れる。塾などに自分で行ってもらえる交通手段がある。(バス路線の拡充)

・能力に見合った給料がもらえて、子育て家庭の現状を考慮してくれる。職場が近い。

・能力に見合った給料がもらえる。管理職になっても定時に帰宅できる職場環境の見直し。休みが取りやすい職場環境。

・能力に見合った給料がもらえる。子育てに必要な休みをとれる。子育てや体調不良で休んだ人のサポートをした場合、特別手当が欲しい

・能力に見合った給料がもらえる。遅くまで預かってくれる学童職場が近い子供が病欠の時など急な有給がとりやすい

・能力に見合った給料がもらえる。職場が近い

・能力に見合った給料がもらえ遅くまで預かってくれる保育園や学童のサービスがある。企業内に託児所施設がある。

・能力に見合った給料が得られる。こどもの体調や行事に臨機応変に対応して貰える職場。企業内に託児所がある。習い事までの送迎、学校の送り迎えをしてくれる。学校に習い事などが隣接している。イオンみたいな保育園、学校、習い事、病院などを揃えた複合施設。一ヶ所ですべて完結してほしい。

・能力に見合った給料を支給して頂きたい。

・能力に見合った昇進ができ、給与が保障されている。子育てのサービス(ファミリーサポート)。

・能力に合う給料がもらえる。リモートワークが進んでいる。遅くまで預かってくれる保育園。病児保育の充実。定時に帰宅できる環境。職場が近い。有給がとりやすい。

・能力に合った給与がもらえる。嫌な顔されずに有休や、急な休みが取りやすい、融通がきく環境。

・能力や仕事量に見合った給与がもらえる。長期休暇期間中(春夏冬休み中)学童の預かり時間を7時からにしてほしい。

・能力を認めてもらえたら正社員雇用してくれる職場。派遣であっても能力に応じて時給を検討してくれる職場。企業内に託児所がある又は日曜日も働いてるので土日両方預かってくれる保育園。病児保育のある保育園。

・配偶者が定時で帰ってくる。祖父母が徒歩圏内に住んでいる。在宅ワークができる。

・配偶者の時短勤務、及び給与アップ。私自身の仕事は好きな事をマイペースに出来ているので特に不満はないが、その分収入は安定しない。また子どもたちが通っているのは子ども園で、働いていないお母さん達もいる中でよく聞く意見が、働こうと思っても、今は1号枠で仕事を見つける事が難しい。仕事の目星がついたとしても、2号枠に行けるか分からず、時期を合わせたり手続きやらの大変さで就活の難易度が高くなる。もっと気軽に預けて働こうという意欲が出る環境でることが理想。

・配偶者はもちろん、配偶者の家族、奈良県の社会全体が女性の就労に理解がある環境。父親の会社の理解。生活と仕事のバランスをその時々で柔軟に自身の理想に合わせて変化させられる先のサポートの設問(57)で1人しか選べない設定でした。

・発熱時に有給がとりやすい、やりがいがある、PTAや自治会、ゴミ当番などボランティア休暇への公的機関から企業へ支援がある病児保育の拡充、発熱時に自宅からテレワークができる、子供が小さい頃、夫がコロナ禍より遥に前から日頃から週一度はテレワークの日があってとても働きやすかったです。また自営やフリ

ーランスの方が融通がききやすいので起業支援や資格支援はよいと思います。

- ・費用がかかってもいいので、学童で外部カリキュラムを受講できるようにしてもらいたい。学童が狭いし、プログラムも少ないので長期休暇に預けようと思うと躊躇する。

- ・必要なときに有休がとれる。ワークライフバランスがとれる。工作上必要があればメリハリをつけて打ち込むことができる。(一律な働き方改革ではない就業環境)

- ・必要な時期まで短時間勤務が利用できる。病児保育が家の近くにある。自分と子供が心身ともに健康である。仕事で成果を出した分、正当に評価される。

- ・氷河期世代です。子育てのため、正社員の職を退職しました。子供が大きくなってきたら、また正社員で働きたいと思う人が多いと思います。氷河期世代の正社員採用の機会を増やしてほしいです。給与は少し低めで構わないので、短時間正社員という形態を増やしてほしい。

- ・氷河期世代の私はキャリア形成に失敗してしまいました。運良く結婚できて安定した生活ができていますが、十分な稼ぎがない自分のことを恥ずかしく思っています。年齢を問わず、能力があれば積極的に採用されるチャンスがある世の中になってほしい。

- ・病気でも簡単に預かってもらえる病児保育があるといい。どちらかの実家が近く余裕があれば見てもらえるが、子供が熱や病気の時がいちばん困る。子供の人数が多いほど、病気を移し合い仕事にも影響する。職場については保育園の送り迎えをしながらでも30分以内に通勤できるような場所だと思いたい。単純に自宅から職場の距離ではなく、保育園を経由した上でどのくらい時間がかかるのか配慮してくれる職場だと働きやすいと思う。また子供の病気や行事で休んでも、自分の休みがしっかり取れるような理解のある職場だと働くモチベーションも上がると思う

- ・病気でも働ける企業

- ・病気の子供をお迎えして預かってくれる

- ・病気の時に預かってくれる保育園が増えてほしい。定時に帰宅できる環境。

- ・病児保育保育料金の減額学費免除子ども手当の期間延長と増額

- ・病児保育が気軽に利用しやすい環境。(必要書類の簡略化、施設の増加・拡大、預かり可能人数の増加など)

- ・病児保育が近くにあり気軽に利用できる配偶者の帰宅が早い

- ・病児保育が要所にあり預けやすいと、半休とかで仕事を済ませてとかも出来る。

- ・病児保育の施設を増やす放課後に預かってくれるサービスを増やす休日夜間診療の病院の充実など

- ・病児保育の受け入れ柔軟性台風を伴わない大雨警報での学校閉鎖廃止インフルエンザ等での学級閉鎖等廃止男性の家事育児教育の義務化

- ・病児保育の充実

- ・病児保育の充実。保育園に預けられる時間にもう少し柔軟性があってほしい。(今は繁忙期や急な残業に対応できない) 障害児へのデイサービス支援の充実(奈良市では放課後等デイサービスの利用可能日数が少なく、障害児を持つ親がフルタイムで共働きをすることができない。我が家の場合、障害のある子供がいるため将来仕事をやめざるを得ない) 夫婦共に定時に帰宅が可能。

- ・病児保育を含め子供を安心して預けられる環境があることや、家事代行などがもっと手軽に(料金や予約のしやすさを含め)頼める環境が必要だと思います。

- ・病児保育施設や遅くまで預かってくれる施設がある。(フリーランスでも利用しやすいサービス。) 子供や自身の急な病気や学校行事での都合がきく。定時での帰宅が可能。

- ・夫が、保育園の送迎ができるくらいの、通勤や勤務時間が短くなり、私の平日の負担が減ればよいと思う。夫、もしくは私の職場近く、自宅近くの保育園にスムーズに入園できること。結局、女性がメインで普段の送迎や、参観、PTAなど、子供関係のこまごました雑用で時間が取られてしまう。子どもの病気で休む時も、当然のように母親が多い。

- ・夫が家事と子育てにもっと協力的になってくれること。子供の急な発熱などのために仕事を休んでも良い雰囲気。家事子育てに理解のある職場環境。

- ・夫が家事や育児を当たり前にする個人事業主でも、賃金や有給、パワハラなど法令や規則を守る
- ・夫が協力的であること夫の職場に、理解があること両親に頼らなくても子育てが出来る環境
- ・夫が早く帰り、育児休暇や有休がとれやすい環境。
- ・夫が転勤のある専業主婦の私の場合の意見です。子供や自身の急病時にも早退欠勤に理解がある、人員に余裕のある職場が理想です。生活サイクルについては、家庭内の役割分担を明確にすることによる家族全員の負担軽減を重視しているので、子供が学校に行っている間に短時間働ければと夫婦で話しています。
- ・夫の介護しながらフルタイムで働いています。何とか夫も復職でき、1人での通勤が不可能なので、同じ建物内で働ける様調整してもらっていますが、これは同業だから出来ること、民間同士の組織が違うのでこういった配慮はなく、どちらかが仕事を辞めるか時短を取るしか方法がない。核家族で、介護者が1人の場合、何らかの優遇措置があってもいいと思う
- ・夫の協力なくして、フルタイムで働くのは、女性側の負担が大き過ぎる。実母若しくは義母の協力なくして、夫婦共に正社員（時間の制約が大きい）は女性側の家事・育児の負担が大き過ぎる。子供が小学校高学年になるまでは、働いていたとしても、ある程度子育てに集中出来る環境（時間的自由）があり、その間も能力をきちんと評価される、又はブランクがあっても再度挑戦しやすい環境が望ましい。
- ・夫は子供が風邪をひこうが、平日休む、育休をとる、時短で働く等柔軟な対応が出来ないので、子供の熱等で休んだり、時短も出来る柔軟な会社が増えるといい。転勤族なのでどこへ行っても家で仕事ができるスキルを身につければ子供に合わせて柔軟に働けると思う。
- ・夫以外の家族の助けは不可欠。気軽に話せる友人がここの支えになるでしょう。とにかく孤立・孤独にならないように。また、安定した就労に就くには、本人が子供の頃から適切な教育を受けてきているかどうか重要です。今の働くママに目を向けるのも重要ですが、次世代のママになる女学生等にも何が必要か考えたいくべきです。
- ・夫婦2人揃っていても、すぐに保育園が見つかる環境。慣らし保育は不要。なぜなら、就職してすぐに、数時間で帰れる環境は難しい為。例題にあるような、理想的な環境は難しい。会社や社会の制度に理想は求められない。自分自身が、環境を選べるような職種につけるよう、資格をとるべきと考えています。公立保育園は融通がきかないので、他府県のように民間の学童が色々選べて、お金で解決できたらいいと思う。時短は保育園が休みだと、働けない。土日祝もある民間保育園の充実があれば、働きやすかったと思う。病児保育園も増やしてほしい
- ・夫婦で育児取得が基本で当たりの会社有給がまとまって取れる子どもの看護休暇がある
- ・夫婦ともに、育児を優先できる職場が理想。私は子どもが産まれて、任される仕事も極端に減った。夫は男性だから仕事優先という職場の雰囲気、休日出勤も多い。
- ・夫婦ともに、同程度の育児参加を認める形で夫が勤務をする、もしくは、一緒に会社を起こして、すべての家事・育児など、共有できる形をとっていききたい。ここから正社員として働くことは、全く考えていないので、可能な限り自分で作り上げていくようにしたい。そのためにも地域とのつながりも事業拡大につながったり、地域活性の一環にもなり得る可能性を見出していけると、より安心して社会進出していけると考える。
- ・夫婦ともに8時30分出勤、17時定時退勤できる環境がある。有給がとりやすい。残金代が出る。
- ・夫婦ともに休暇や時短勤務を取ること、仕事量のコントロールに理解のある職場に勤めていること。保育園に遅くまで預けられたとしても、その後の家事育児に時間的余裕がないとしんどいため。職場が遠いのはネックに感じており、今の職場環境と同等条件で働けるのであれば、奈良の職場に転職も考えたいと思う。
- ・夫婦ともに残業がなく、勤務時間が守られている。リモートワーク可。平日に休みが取りやすい。参観等で休みが取れる。夫婦共に勤務地が自宅から近い。時短勤務が小学校入学後も使える。
- ・夫婦ともに残業がなく、職場が近い。遅くまで子どもを預かってくれる施設がある。
- ・夫婦ともに残業がなく、有給が取りやすく、在宅勤務可能な労働環境。
- ・夫婦ともに子どもが風邪を引いた時に休みが取りやすい。子どもが幼稚園や学校に行っている間に働ける求人が豊富にある。夫婦とも、幼稚園などの送迎を分担できるような環境（残業が少ないなど）

・夫婦ともに自宅から勤務地が近く、定時に退勤できる。また、休日出勤がない。時短勤務や、フレキシブル制などが可能な勤務体系。看護休暇が充実していて、急な休みに対応してくれる。

・夫婦ともに朝の出勤時間が遅めで定時に帰宅が可能。（朝が早いと小学校低学年に鍵を閉めてもらわないといけない。）公務員の育休は3歳の誕生日前日までだが、4歳前日までにしてくれたら、年少から確実に入れる保育園や子ども園があるからそうしてほしい。時短を取ったとしても、仕事量が減るわけではないから、時短を取っても働きやすいように人件確保してほしい。どの仕事も人手不足で困っているから、人手不足を解消してほしい

・夫婦ともに通勤時間が短い。時短勤務の延長ができる。夫婦ともに定時に帰宅できる。夫婦ともにリモートワークができる。

・夫婦ともに定時に帰る時間単位で有給を取れるようにする職場が近い

・夫婦ともに定時に帰れる環境病児保育を公立の保育園でも頼めるところが増えてほしい子育てと仕事の両立をどう進めたらうまくいくか情報提供がほしい。仕事を時短勤務にすると給料が下がるが固定給自体を一般社員もすべて底上げしてほしい家事サービス、育児サービスを公的サービスで気軽に頼めるサービスがほしい

・夫婦ともに定時に退勤できる。

・夫婦ともに定時に帰れる、出勤日数を選べる

・夫婦ともに定時に帰宅ができる。能力に見合った給与がもらえる。職場が近い。有給がとりやすい。急な早退や休みをとりやすい。経営者が子育てに理解がある。仕事後から保育園のお迎えまでの間に30分ほど（夕食の準備等ができる）時間がある。

・夫婦ともに定時に帰宅が可能、子供の体調不良時などに有給がとりやすい、遅くまで預かってくれる保育園・学童などのサービスがある、小学校低学年の間は時短勤務可能、リモートワークができる

・夫婦ともに定時に帰宅が可能。能力に見合った額かつ、余暇に外食や家族旅行ができるだけの余裕ができる給与

・夫婦ともに定時に帰宅が可能。夫婦ともに職場が近い。有給がとりやすい。時短勤務がとりやすい。残業がない、しない職場環境。ファミリーサポート、エンゼルサポート等の社会資源の更なる充実。（援助会員を増やす、すぐに利用できるようにする、オンライン面談、申請を可能にする、エンゼルサポート利用時間の拡充）病児病後児施設の拡充。ベビーシッターの補助金制度の拡充、啓発。

・夫婦ともに定時出社

・夫婦とも休みが取りやすい、能力に応じた収入が得られる、雇用者も被雇用者も柔軟な考え方が必要

・夫婦とも残業がない。時短を取りやすい。

・夫婦とも職場が近く同じ時間に夕食をとることができ、残業代がなくても生活、子育てが可能なレベルの基本給が保証されていること。欲を言えば子供のレジャーや習い事もさせてあげられる余裕がほしい。子供の前向きな希望を「お金がないから諦めなさい」と言わなければならないことが心苦しい。

・夫婦とも定時に帰宅が可能(2)

・夫婦とも定時に帰宅が可能、習い事の機能を備えた学童サービスが利用できる

・夫婦とも定時に帰宅が可能。有給が取りやすい。

・夫婦とも定時に帰宅が可能であり、育児による短時間勤務などが取りやすい。能力、勤務時間に見合った給与がもらえる。勤務時間内に休憩時間が確保されている。リモート勤務が可能である。職場内に託児所がある。土日出勤がない。有給がとりやすい。職場に何でも話せる人がいる

・夫婦とも定時に帰宅可能。職場が近い。有給が取りやすい。在宅勤務可能な職場。自宅近くの保育園に通わせたい

・夫婦とも定時退社、年休が取りやすい、給料が高いかそれ相応、職場が近い、管理職でも定時退社可能、保育園が職場に近い

・夫婦のどちらかが在宅勤務

・夫婦共に、フレキシブルに働ける環境と、保育園や学童以外に、何かサポートがあれば、仕事と生活のバ

ランスがとれると思います。理想ですけど...

・夫婦共に、子育て中は、できる限り、定時に帰宅できる。子どもの病気の時の看護休暇や学校行事参加のための休みが取りやすい。ただ、これについては、当人の意識も大切。制度としてあるのなら、割り切って休むという意識をもつ、引け目を感じる必要はないと思うので...ただ、意外とそれが難しいと実感。短時間勤務や部分休業などあっても、実際に利用するところまでの勇気が持てず、悶々としていた。長く働くためには、人的な余裕があることが大前提。周りには、長く専業主婦という人もいるが、個々素晴らしい能力があり、自分に合った仕事を是非してほしいと思う。

・夫婦共に、通勤時間軽減のためのリモートワーク整備。病児保育の整備、フレックス制度、裁量労働による柔軟な勤務時間

・夫婦共に定時での帰宅が可能なこと。またリモートワークが気兼ねなく臨機応変に可能であること。  
・夫婦共に定時で帰宅できて、家族での時間が過ごせる。  
・夫婦共に定時で帰宅できる。旦那がフレックスタイム制で働いているため、結局1日休みがほぼない。  
・夫婦共に定時で帰宅可能。リモートでも仕事ができ、週に数回の勤務でも保育園に預けることができ保育料の補助もあること。

・夫婦共に定時に帰宅が可能職場が近い  
・夫婦共に定時に帰宅が可能。  
・夫婦共に定時に帰宅でき、子供が病気の時は休める。  
・夫婦共に定時帰宅が可能。子どもが小さいうちの時短勤務 → 制度はあるが、誰も利用しておらず利用しにくいし、仕事上内容利用が難しい。子どもの体調不良等で仕事を休むときに、自分の代わりに仕事を務めてくれる人がいる人間的余裕。

・夫婦共に定時帰宅が可能。保育園が休みの土日祝日は出勤免除。有給、子の看護休暇が取りやすい。病児保育が利用しやすい。いざという時に頼ることのできる人やサービスがあること。

・夫婦共に定時帰宅が可能。有給がとりやすい。職場が近い。  
・夫婦共に定時帰宅が可能である。子どもの体調不良などで休みやすい環境。  
・夫婦共に定時退社前残業しなくてよい環境  
・夫婦共に定時退社が出来、有給も自由にとれる環境。フレックス、リモートワークが更に推進されるような職場環境。

・夫婦共に有給がとりやすく、家事育児に専念できる働き方。  
・夫婦共々、定時に帰宅でき、どちらも有給がとりやすいこと。  
・夫婦共職場が近く子どもの急な休み等に合わせて休みがとれる。能力に合った給与がもらえる。男女平等。旅行に行ける休みが取りやすいとなおいい。

・夫婦共定時に帰れる。子供が病気の時に気兼ねなく休める。土日子供を預かってくれる施設がある。職場が近く。家事を頼れる人がいる。

・扶養控除を気にせずに自由に働きたいが、子供がまだ小さいので、正社員は難しい。  
・扶養内で働けるのが Best。頑張りを認められて時給が上がっても、扶養内で働けなければ、働きがいがない。扶養控除を無くして、社会保険を払うのは良いが、負担が高すぎる。働く日数を増やしても、結局社会保険料等、高額を引かれるので、扶養内で働いていた時と手取りが変わらず、働くモチベーションが下がる。  
・扶養内など考えずに働いた分だけきちんと手取りでいただける。企業内に学童や託児施設がある。  
・扶養内の制限がなければもう少し働けるのにといつも思っている。  
・扶養範囲でいられる金額を130万ではなくもっと増やして欲しい、有休が取りやすい、パートや正社員でも同じように利用できる保育園や学童があればいい、

・父親が単身赴任、出張族である場合は、子どものケアは母親に全てのしかかります。その上で、仕事をすればなら定時で帰ることができる、子どもが体調を崩しても融通が効く、週末は子どもたちと向き合いたいので、土日が休みであることなどの条件を鑑みると、パートなどの時間を切り売りするような仕事になりがちです。



かろうじて社会と繋がることと、きちんと子どもたちに向き合うことを天秤にかけ私は後者を選択し今に至ります理想は男女問わず、給与、育休、就業時間、家事育児などが半々であることと思います

- ・父母共にゆとりのある時短勤務が可能である・小さい子供がいる家庭への急な休みの取得をサポートできる体制がある・保育料の負担がない・遅くまで預かってくれる保育園がある

- ・部活の、外部委託を早急にお願いしたいです。

- ・風邪など子供の病気や自分の病気でやむを得ず休むときに休暇をとりやすい職場がよいです。

- ・復職したいタイミングで保育園に入ることができる。平日7時~18時半の保育が可能な園に入る。定時で帰宅できる。子の看護休暇を必要ときに取得できる等、夫婦共に福利厚生がしっかりしている職場である。必要に応じて時短勤務ができる。相談しやすい上司がいる。保育園と職場が近い。

- ・福利厚生がしっかりしており、家から近い。人間関係ご良い。子育てに理解がある有給が取りやすい

- ・福利厚生が充実して、子供が体調不良で仕事を休まなくてはいけなくなっても融通が効けて、社員同士が互いにフォローし合える環境が理想的だと思います。

- ・平日、子供が学校に行っている間（理想は9:00から12:00）に働きたい。扶養控除内で働きたい。学校が春休み、夏休み、冬休みの時に民間ベビーシッターに子供を見てほしい。家庭の都合で仕事を休めたりシフトを組んでくれる。定時で帰宅可能。有給が取りやすい。自宅から職場まで30分以内。

- ・平日育児をほぼ担う為、出来るだけ自由のきく就労形態にしたい在宅ワークや自営業でも簡単に入れるくらい保育園が充実してくれると助かる（短時間でも良いので）実家に頼ることの出来ない家庭は子供を預けることも出来ず面接なども行けないこともあるのでやはり保育園を充実させることが子育て中の女性の就業率を上げることに必須なのではないかと思う（育休中の女性の保育園問題も解決するのでは？）

- ・平日午前中...週二日ほど働きたい。夏休み等長期休み子供の行事や病気など臨機応変に休めると助かる家から近くで車通勤

- ・平日午前中のみ週3日から。シフト制で急でも休める環境。←我が家は完全分業の専業主婦なので子供達が成長し働く余裕も出てきましたが、上記のような条件でないと家族に新たな負担が発生する事になります。そんな都合の良い仕事はなかなかないので、無職です。

- ・平日時短勤務、週3~4日。また、両親と別居で家事に追われなければよい。

- ・平日小学校の子の放課後の習い事サポートができていないため、学童が色々な経験学びができる環境がほしい。夫婦とも定時帰宅。

- ・保育園、学童サービスの充実

- ・保育園、学童の拡充と、病児保育利用が容易になったらとても働きやすい。

- ・保育園、学童の充実【先生の給与向上、保育料の補助、習い事サポート送迎等】男性の育休休暇支援の充実会社の定時退勤推進

- ・保育園が受かれば現状で働くことは出来る。問題は小1の壁なので、就学児童を預かってもらえるサービスの拡充が最重要。6年後この問題が解決出来なければ、離職予定。

- ・保育園と就職をセットにするべき。有給が取りやすい。職場が近い。

- ・保育園と小学校では子供の環境が大きく変わるため（自宅をでる時間が遅くなる。親が就業時間に間に合わないことも出てくる。等）そのギャップがカバーできれば、働きやすくなるのではと思います。高学年になれば、授業も6時間となり、留守番等にしても短時間ですみませんが、低学年は留守番は難しく、必然的に学童にいる時間も長くなってしまいます。学童はありがたいとおもっていますが、子供が楽しいと思って通うというよりは、我慢をして通う所になっています。（楽しいと思うお子さんもいると思いますし、先生方にはよくして頂き感謝しています）そこまでして母親が働いていいのかと葛藤した時期もありましたが、経済的な理由とともに、仕事を通じて自己実現をする、やりがいを感じる「自分」と、親としての「自分」両方があるからいいと思うようになりました。長くなりましたが、子供の安全や楽しさが確保できる状況があれば、親も働きやすいと思います。

- ・保育園などで子どもを預かってくれる定時に帰られる職場が近い職場が急な休み（発熱など）にも理解が

ある休んでも何とか代わりのスタッフで仕事がまわる小児科がある

・保育園については、残業して働いているのに時間を過ぎたからと延長料金が発生するのはあまり納得がいかないです。もう少し安心して働けるような保育園のシステムを整えていただきたいです。でも保育園の先生方の待遇はより検討していただき、より良いものにしていただきたいです。

・保育園には、看護師がいて、熱が出てもお迎えに呼ばれないこと。呼ばれたら場合はほとんど母がお迎えに行くパターンが多く、修学前までは責任のある仕事をまかされにくい。遅くまで預かってもらえないと、残業もできず、やはり責任のある仕事をまかせてもらえない。

・保育園に通っている子供がいることを理解してくれ、融通を聞かせてくれる職場

・保育園に入りやすくなること。(うちは第7志望でやっと入ることが出来ました)保育園が長く預かってくれる、休みの日も預かってくれること。病児保育の定員が増えること。子供の体調不良等で急な休みを取りやすい職場であること。夫婦でしっかりと会話をして、心の安定を保つこと。上記の内容は働く上で重要だと思います。うちは旦那が夜勤なので、平日は全ての家事?育児を1人でやっています。親元も近くないので支援も受けられません。自分の機嫌を上手く取ること(欲しい物を買う、美味しいものを食べる、旅行など)で、頑張っています。我慢しないこと、ストレスを溜めないようにすることが最重要だと思っています。

・保育園に入れやすい、遅くまで預かってくれる、安心して預けられる子供の体調不良時に気にせず有給がとれる(夫婦ともに)、夫婦ともに定時退社ができる、病児保育が多い

・保育園に入園できなければ復職できないので保育士、保育園を増やしてほしい。子育ては楽じゃないので、保育士の給料は上げるべき。少子化だとかほぎながら、待機児童が発生。これからの将来を担う子どもの命を預かってくれる人、場所を後回しにしてるのがおかしい。

・保育園の延長料金などかからないようにして欲しい。フルタイムで働いて、社会保険料と延長料金など払うものばかり増えて手取りは減るばかり

・保育園の送り迎えが母親に偏らず、どちらも同じ日数だけ送り迎えを行う。またそれに伴い、朝食や夕食の準備等もそれぞれが分担して行う。

・保育園の標準時間の基準がハードルが高すぎる。市役所の保育園科のスタッフさんを変えた方が良い。お局が新しいやり方や考えを封じている様に感じる。連携が取れていない。もっと働きたいし、給料の見合ったところ、子育てしながら働きやすいところを探したいが、転職すら認めない雰囲気が市役所から感じるの、簡単に転職もできない。

・保育園は待機することなく、また必ず自分の希望の園に入所できること。共働きであっても子どもの学校や保育園の送迎、家事など、女性だけに負担がかかっていることが多過ぎると感じる。時短などの制度を男性も容易に取得できるような環境が整うことを希望する。

・保育園や学童の預かり時間内で働ける、子供の体調不良時にすぐ帰らせてもらえる、(有給で)休ませてもらえる、職場の人間関係が円満で仕事やそれ以外の話がしやすい環境、扶養内で働くため週3日程度。

・保育園や習い事の送迎を任せられる人が近くにいる環境。託児施設が近くにあり、いつでも使うことができる。夫婦共に育休、時短が取りやすい。子供の病気の時に休みやすく理解のある職場。子供関係で休んでも有給が使える。

・保育園や小学校が合わない子供が安心して楽しく長時間過ごせる環境がある。男性でも子供の突然の迎えや短縮授業での帰宅に対応できる。夫婦ともに定時に帰宅が可能。職場が近い。有給がとりやすい。

・保育士の賃金をあげてほしい働きやすい職場、子ども熱を出しても休みやすい職場

・保育所や学童などが充実していること。定時に帰ることが可能であること。仕事を持ち帰らずに済むこと。

・保育料の一律化。一生懸命働いて給料が上がると保育料が高くなるのは不公平。働く気がなくなります。病児保育の充実。シッターの補助。夫の育休が取れる環境。

・報告連絡相談が行なわれ、常にアップデートした情報の共有が出来る環境。

・放課後、19時ごろまで子供が宿題をしたり身体を動かして安全に遊べるような、学校でも家庭でも習い事でもない「第三の場所」が欲しい。特にコロナ禍から子供たちは自宅に籠りがちになり、ゲームやYouTube

などに費やす時間が増え、そのことが毎回学校の懇談会で話題に上るほど親を悩ませており、子供自身もストレスを溜めている。第三の場所が増えれば、親も安心して働くことができると思う。

- ・豊かな自然の中で、子育てができる。生活を犠牲にすること無く、子供が複数人育てられる収入が得られる就職場所が近隣にある。

- ・望んだ保育園に難なく預けられ、職場から家が近く、週3くらいのペースで在宅勤務ができる。子供が急に体調を崩しても、早退などがしやすい職場。子供が小学生になってからは、土日休みの職場。

- ・北欧のように男女とも育児休業を取り、日々の子育てや家事を共同で行う事が当たり前という意識が社会に根付く。男女とも子供の有無に関わらず定時帰宅が普通で、残業は例外であり、ワークライフバランスをとる事が出来る。病児保育室に預けてまで出勤しなくても、子供が病気の時は気兼ねなく休暇を取れる等、仕事優先ではなく家庭も大事にする事が当然という社会全体の意識が醸成される事。

- ・毎年昇給し能力に見合った給料がもらえる。子育て世代も正社員として働けるよう短時間正社員を取り入れる。ボーナスあり。パートであっても寸志あり。子どもの体調不良や行事だけでなく自分自身のリフレッシュの為に休みを取りやすい職場。仕事量の負担が偏らず分担する職場。

- ・未経験からも正社員になれて、家事育児と両立しやすいようリモートワークも週何回かなど選べる働き方ができる職場が理想。ほぼワンオペなのでフルタイムはしんどいです。

- ・無料キャバ嬢にしてくる上司及び客がいない、ロボットでのリモートワーク（会社移動中のつきまとい対策にもなる）

- ・免許や車がない家庭もあるため、地域に病児保育所が増える。元気が家族や自身が保菌者になった際や、学校や園の学年学級停止のリモートワーク強化。核家族や子どもが小さいとうつつ可能性などが多大のため、飲食店に勤める選択肢は取れない。フルワーク勤務でも、子どもが体調を崩しやすい子だと、月の半分も仕事に行けない時期が続く月もあると標準保育申請に引っ掛かる。

- ・夜ご飯の作り置きを誰かがやってくれ、保育園を遅くまで預かってくれさえすれば、メンタルを崩さずに生活ができそう。（育休中）

- ・夜に子供を預かってくれるサービスがある/園から直接習い事や預かりサービスへの送迎サービスがある/子供がいる女性フリーランスへのサービス（確定申告代理・広告掲載欄の優遇等）がある/病児保育の拡充

- ・有休がとりやすく、子どものことにも理解を示してくれる環境の職場。

- ・有休が取りやすい。子供の急返時等すぐに対応できる会社の環境。子供の休みに伴い土日祝は休みが取れる。

- ・有休や時間有休がとれて、テレワークをすることができれば、子どもの行事に参加したり、病院や習い事にも連れて行きやすく、また学級閉鎖等で学校が休みになった時にもテレワークができると働きやすい。

- ・有休消化ができる。定時退社。休憩時間に仕事をしないで済む。人員確保された職場。仕事内容が多忙すぎない。職場が近い。

- ・有給が取りやすい(5)

- ・有給がとりやすい職場が近い子供を預ける場所がある

- ・有給がとりやすい。会社全体で、育児に理解がある風潮。家事サービスを利用できる。

- ・有給がとりやすい。在宅での仕事ができる。夫婦が定時で帰れるか、フレックスを取り入れている。社内に託児所がある。上司や同僚が子どものいる社員への理解のある。育児休業が小学校入学までとれる。また、育児休業中も充分な人員を確保してくれる。子どもがいると戦力に欠けるのは理解できるので、会社が比較的業務量の少ない部署へ配属を考えてくれる。

- ・有給がとりやすい。女性ばかりの職場でも揉め事がない。鼻真がない会社。

- ・有給がとりやすい。テレワークが可能。遅刻または早退することに理解がある。通勤時間が1時間以内。キャリアモデルとなる存在がいる。能力に見合った給与がもらえる。

- ・有給がとりやすい。子どもが小さい時はリモートワークの形をとらせてもらえる。時短勤務を取りたい時まで取れる。

- ・有給がとりやすい。子どもが熱を出しても気軽に休める職場環境。企業内に託児所がある
- ・有給がとりやすい。時短勤務可。急な休みにも対応してもらえる。職場が近い。持ち帰りの仕事なし。
- ・有給がとりやすく土日祝日はお休みをもらえる正社員で福利厚生がしっかりしてる職場
- ・有給がとりやすく、職場が近い。保育基準がしっかりしていて安心して預けられる保育園が複数ある。保育園を利用できる基準が厳しすぎない。
- ・有給がとりやすく、職場と保育園が近い。もしくはテレワークが可能。残業がない。
- ・有給がとりやすく時間の融通がきく。管理職などが時短でもできる。在宅勤務ができる。子供の行事が平日にかたまらない。夫の職場も育休や子育てに理解があり、休みやフレックス勤務ができ評価も下がらない。
- ・有給が取りやすい、休んでも迷惑のかからない環境、学童の時に何か習い事が出来るといい。
- ・有給が取りやすい。職場が近い。
- ・有給が取りやすい。能力に見合った給与がもらえる。PTA活動がない。職場が近い。残業がない。朝は子供を見送ってから出社できる。
- ・有給が取りやすい。定時で仕事が終わられる。時短が取りやすい。病児保育が遅い時間までである。
- ・有給が取りやすく、何か急用があった時に休んでも周囲がさほど困らないぐらいの職員の充実。
- ・有給が取りやすく、急な早退などでも気兼ねなく対応できる職場環境
- ・有給が取りやすく、協力的な職場である事。性別を問わず昇進出来る。が、管理職等になっても家庭を優先できる。
- ・有給が取りやすく、子どもの急な病気等の時は、在宅勤務に変更可能。子どもを早く産んだため、学び直しをしたい気持ちはあるが、子どもの教育費等がかかり、自分に回す余裕はないため、学び直しできる環境がほしい。
- ・有給が取りやすく、子供の急な病気等にも対応してくれる職場環境。
- ・有給が当たり前が取れる環境時短でも手厚い給料
- ・有給を取りやすい子供が急病でも休みやすい入学式が土日では無いので、休みやすい環境
- ・有給を取る事が可能（仕事の調整が可能）保育園と小学校の行事に参加可能（仕事時間の調整）夫婦で仕事の時間帯をずらす事が出来る。
- ・有給休暇がとりやすい。
- ・融通の効く勤務時間。妥当な賃金。
- ・夕方に帰れる。週の半分程度。
- ・預かってくれる保育園があれば就労可能です。地域の子どもの人数に応じて保育園の数や規模を見直しを定期的に実施していただきたいです。
- ・預かり保育や学童が制限なく自由に取れるかつ無料である。
- ・預けたい時期に希望する保育園に預けられる。時短勤務でも預けたい保育園に預けられる。職場が近い。有給をとりやすい。定時に帰宅できる。給与が多い。
- ・預けやすい場所に学童や保育園がある。夫婦共に定時帰宅可能。夫婦共に産休育休が取りやすい。
- ・幼稚園から帰ってくる時間が早いので、幼稚園以外で預かってくれるところ（幼稚園からそこまで送迎してくれるなどのサービスか職場で中抜けができたら）があれば働けるのになーと思ってます。
- ・幼稚園でも長期休暇中に預りがある。こども園等一時保育利用時に短縮扱いされない。祝日に幼稚園利用の子供も利用させて欲しい。観光業は奈良市の重要な役割だと感じているが、幼稚園児が一時保育や祝日保育を利用する場合の制約がありすぎる為働けない時間や日が多々ある。新2号認定という制度はありがたいが、十分では無い。扶養から抜けて働いている場合はもう少し優遇されてもいいのではないかな。幼稚園利用中に就職した場合、途中で転園することも難しい。この先就学する事になるが、バンビの標準時間が17時だとフルタイムで働けない。延長があるのは知っているが、ほかの他府県と合わせて18時までを標準として欲しいです。
- ・幼稚園教諭をしていたので、復帰をするなら教育関係がいいのですが、自分の子どもを優先にしながら働くとなるとまだ難しいのかなと思っています。夏休み、冬休みなども気軽に休める職場があれば復帰したいと

思います。

- ・理解のある職場、こどもの発熱などのお休みに快く対応してくれる上司や仲間がいること夫が対等に率先して家事をすること

- ・理想の環境は子供のことで助けてもらえる手が近くにあること。病気、学級閉鎖、早退、習い事送り迎えなど。生活サイクルは人それぞれと思いますが、職場が近ければ通勤時間が短く、その分他のことに時間を使えると思います。今の職場に往復2時間半くらいかかるので、これが半分にでも減れば、と思うからです。よその会社で、子どもの学校行事は有給休暇とは別の扱いで無給ですが、査定の対象外としてもらえる聞いたことがあります、子育て中の人には休みやすいと思いました。あと、女性だけに、トイレ掃除（男性用も）させる会社で働いたことがあります。みんなイヤイヤやっていました。掃除は女性の仕事と思っている会社はたくさんあります。率先してやってくれる男性はわずかです。

- ・理想は下の子どもが小学3年生までは時短勤務可。子どもやその家族をことを本当に思うのであれば、遅くまで預かってくれる保育園や学童のサービスではなく、早く帰れる仕組みを社会全体でつくってほしい。

- ・例の通り

- ・労働に見合う公正な評価、給与がもらえる就労環境が理想です。そして、働く子育てパパママを社会が支えて皆が働きやすく雇用が増える社会になってほしいと願います。そのためには子どもの預かり施設を充実してほしいです。

- ・労働環境改善のための値上げに対する世間一般の理解がある環境。市内市外問わず保育園に入りやすい環境。（他市で育休期間内に入園できず退職を余儀なくされたスタッフもいる）遅くまで預かってくれる学童。

- ・労働基準法やコンプライアンスが守られている職場。